

高校教員に対する中途退学者等の状況に関する調査結果

平成27年12月

青森県教育委員会

目 次

I	調査概要	1
II	調査結果	
(1)	中途退学生徒に関する調査	
①	本人(生徒)の課程	3
②	本人(生徒)の性別	3
③	本人(生徒)の学年	4
④	本人(生徒)の学科	4
⑤	本人(生徒)の将来の見通し	5
⑥	本人(生徒)の困難を抱えるきっかけ	6
⑦	本人(生徒)から(教員は)相談を受けたか	9
⑧	本人(生徒)が高等学校以外の誰かに相談していたか	9
⑨	本人(生徒)の家族から(教員は)相談を受けたか	9
⑩	本人(生徒)の家族が高等学校以外の誰かに相談していたか	10
⑪	本人(生徒)の在学中の悩みや不安	10
⑫	本人(生徒)の進路についての悩みや不安	12
⑬	本人(生徒)に対する学校以外からの支援	14
⑭	本人(生徒)の現在の状況を知っているか	16
⑮	本人(生徒)の現在の状況	16
⑯	本人(生徒)が「働いている」と回答した場合[現在の働いている内容]	17
⑰	本人(生徒)が「働いている」と回答した場合[現在同時に行っていること]	18
⑱	本人(生徒)が「在学中」と回答した場合[在籍している校種等]	19
⑲	本人(生徒)の同居家族の内訳	20
(2)	不登校から中途退学に至った生徒に関する調査	
①	本人(生徒)の課程	21
②	本人(生徒)の性別	21
③	本人(生徒)の学年	22
④	本人(生徒)の学科	22
⑤	本人(生徒)の将来の見通し	23
⑥	本人(生徒)の困難を抱えるきっかけ	24
⑦	本人(生徒)から(教員は)相談を受けたか	27
⑧	本人(生徒)が高等学校以外の誰かに相談していたか	27
⑨	本人(生徒)の家族から(教員は)相談を受けたか	27
⑩	本人(生徒)の家族が高等学校以外の誰かに相談していたか	28
⑪	本人(生徒)の在学中の悩みや不安	28
⑫	本人(生徒)の進路についての悩みや不安	30
⑬	本人(生徒)に対する学校以外からの支援	32
⑭	本人(生徒)の現在の状況を知っているか	34
⑮	本人(生徒)の現在の状況	34
⑯	本人(生徒)が「働いている」と回答した場合[現在の働いている内容]	35
⑰	本人(生徒)が「働いている」と回答した場合[現在同時に行っていること]	36
⑱	本人(生徒)が「在学中」と回答した場合[在籍している校種等]	37
⑲	本人(生徒)の同居家族の内訳	38
(3)	不登校生徒に関する調査	
①	本人(生徒)の課程	39
②	本人(生徒)の性別	39
③	本人(生徒)の学年	40
④	本人(生徒)の学科	40
⑤	本人(生徒)の将来の見通し	41
⑥	本人(生徒)の困難を抱えるきっかけ	42
⑦	本人(生徒)から(教員は)相談を受けたか	44
⑧	本人(生徒)が高等学校以外の誰かに相談していたか	44
⑨	本人(生徒)の家族から(教員は)相談を受けたか	45
⑩	本人(生徒)の家族が高等学校以外の誰かに相談していたか	45
⑪	本人(生徒)の在学中の悩みや不安	45
⑫	本人(生徒)の進路についての悩みや不安	47
⑬	本人(生徒)に対する学校以外からの支援	49
III	資料	
○	困難を有する若者等のニーズに関する調査 調査票	

I 調査概要

1 調査の目的

今後の高等学校の中途退学者（以下「中途退学」という）等に対する支援等の基礎資料とするため、中途退学や不登校に至る経緯や現在の状況等の実態について調査を実施する。

2 調査対象

県立高等学校に在籍し、おおむね5年以内に中途退学や不登校の生徒（以下「本人」という）への指導経験がある教員

※ ただし、同一の生徒に対し複数の教員が指導した場合、複数名が回答せず、1名のみでの回答とする。

※ 不登校は、年間30日以上欠席したものとする。

3 調査方法

質問紙法によるアンケート調査

(1) 県教育委員会は、県立高等学校に対し、事前に調査対象数を照会し、回答数及び高校生徒数等を勘案して高等学校ごとに所定の数を定めて調査する。

(2) 各県立高等学校は、調査対象を踏まえ、任意の者に調査票を配布する。
(※調査票は、生徒1人につき1部配布)

(3) 調査対象者は、調査票に記入後、返信用封筒に入れ、県教育委員会に対して返送する。(※調査票は、生徒一人一人について記入する。)

4 調査期間

平成27年4月27日～5月15日

5 調査項目

- ① 本人の課程
- ② 本人の性別
- ③ 本人の学年
- ④ 本人の学科
- ⑤ 本人の将来の見通し
- ⑥ 本人が困難を抱えるきっかけ
- ⑦ 本人から相談を受けたか
- ⑧ 本人が高等学校以外の誰かに相談していたか
- ⑨ 本人の家族から相談を受けたか
- ⑩ 本人の家族が高等学校以外の誰かに相談していたか
- ⑪ 本人の在学中の悩みや不安
- ⑫ 本人のその後の進路についての悩みや不安
- ⑬ 本人に対する学校以外からの支援
- ⑭ 本人の現在の状況を知っているか
- ⑮ 本人の現在の状況
- ⑯ 本人が「働いている」と回答した場合〔現在の働いている内容〕
- ⑰ 本人が「働いている」と回答した場合〔現在同時に行っていること〕
- ⑱ 本人が「在学中」と回答した場合〔在籍している校種等〕
- ⑲ 本人の同居家族の内訳

6 回収結果

○調査票配布数 753部

○回答件数

中途退学生徒に関する回答	374 件	(男子 200 件、女子 174 件)
不登校から中途退学に至った生徒に関する回答	89 件	(男子 47 件、女子 42 件)
不登校生徒に関する回答	109 件	(男子 40 件、女子 69 件)
合 計	572 件	(男子 287 件、女子 285 件)

7 調査結果の取り扱い

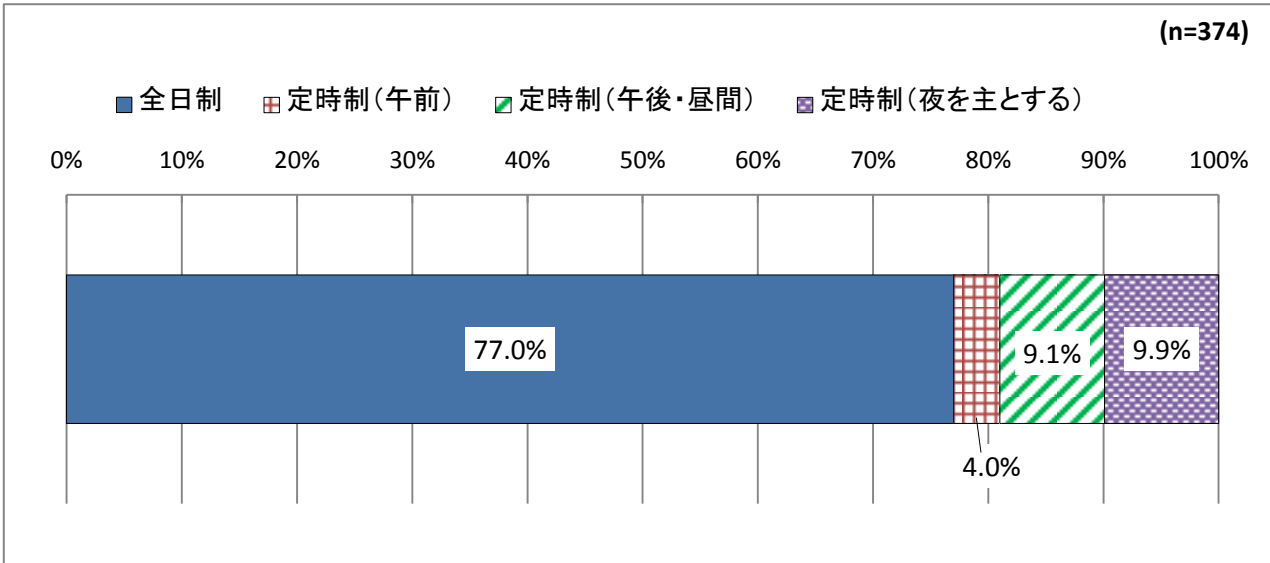
調査結果は、性別・年齢別・支援の必要性などにより集計の上取りまとめる。
個々の調査対象の回答が公表されたり、取材に応じる形で外に出ることはない。

Ⅱ 調査結果

(1) 中途退学生徒に関する調査

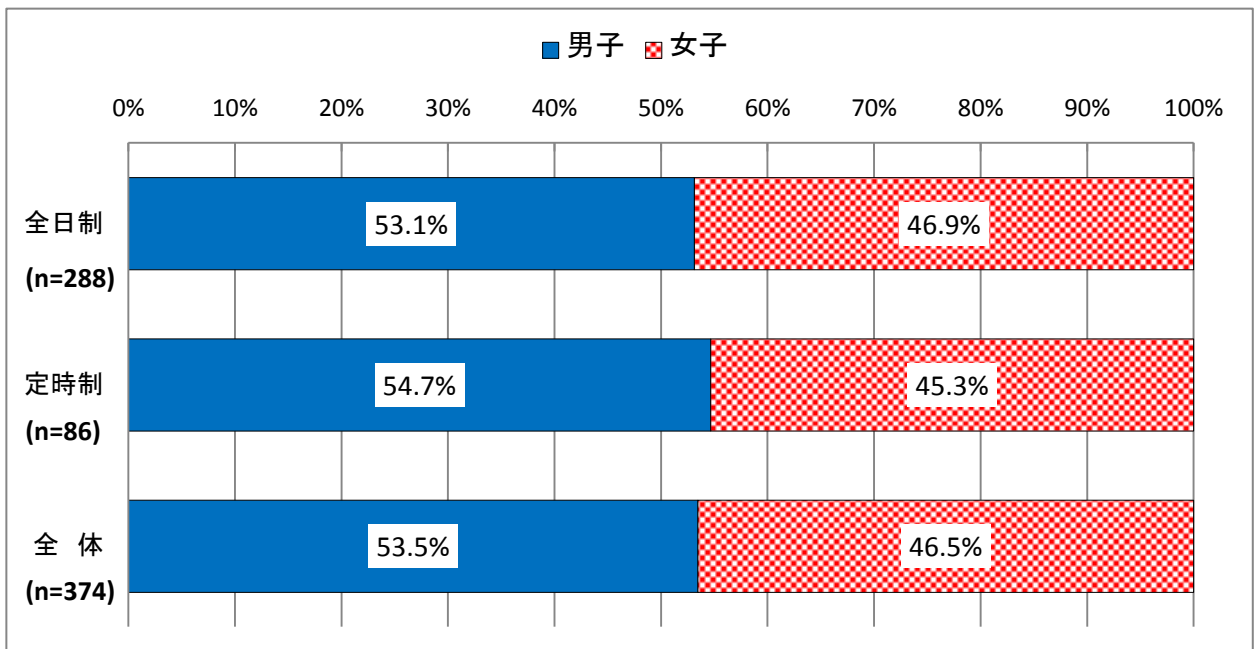
注) 選択肢を一部省略しています。

① 本人(生徒)の課程を教えてください。



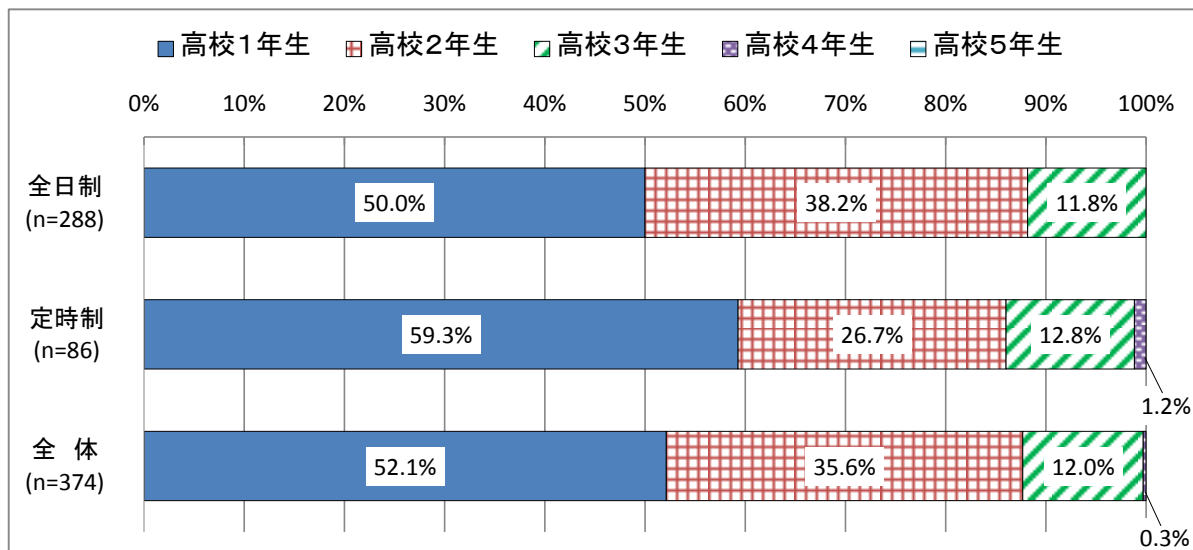
- 中途退学生徒の在籍していた課程で最も多いのは「全日制」で、77.0%となっている。次いで、「定時制(夜を主とする)」9.9%となっている。

② 本人(生徒)の性別を教えてください。



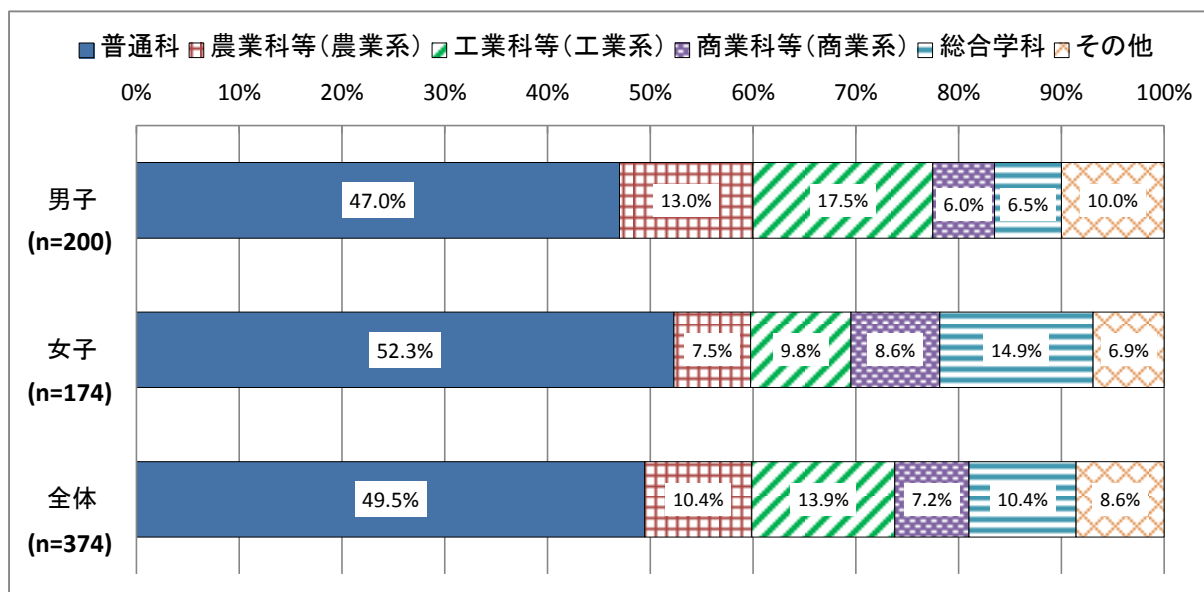
- 中途退学生徒の性別は、「男子」は全体の53.5%、「女子」は46.5%となっている。
- 全日制・定時制別に見ても、全体とほぼ同じ様態となっている。

③ 本人(生徒)の学年を教えてください。



- 中途退学生徒の学年は、「高校1年生」が全体の52.1%となっている。「高校1年生」と「高校2年生」の合計では、中途退学生徒は全体の87.7%となっている。
- 全日制と定時制の「高校1年生」で中途退学する割合は、「全日制」が50.0%に対し、「定時制」は59.3%となっている。

④ 本人(生徒)の学科を教えてください。

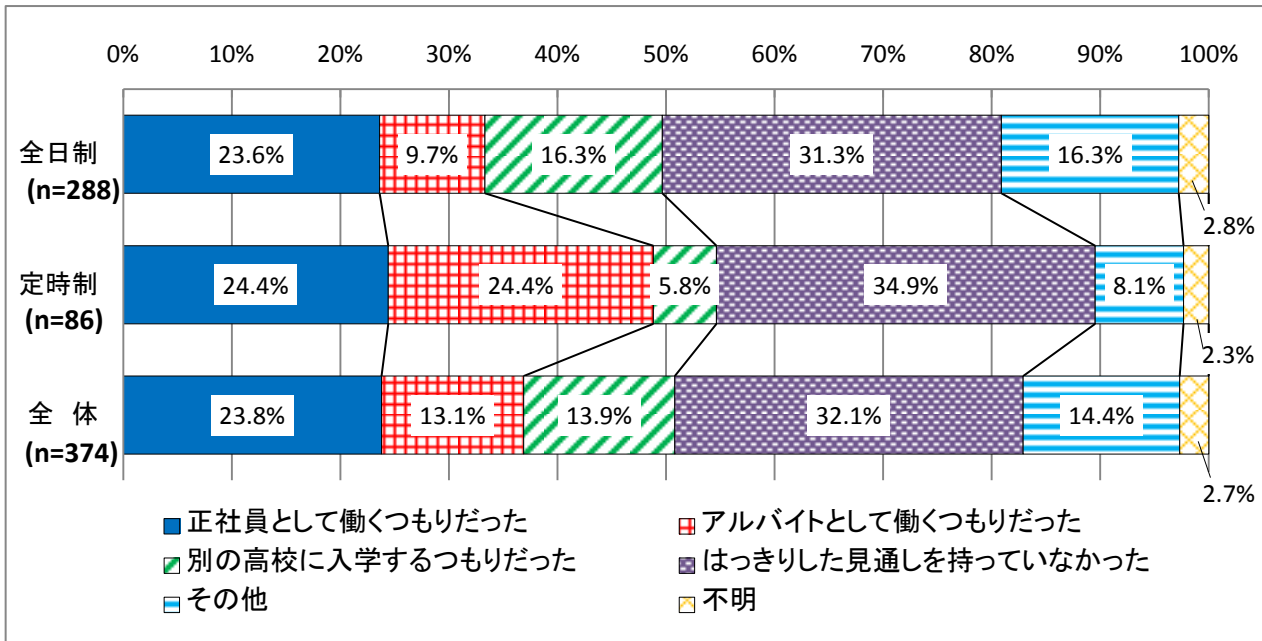


《その他の内容》

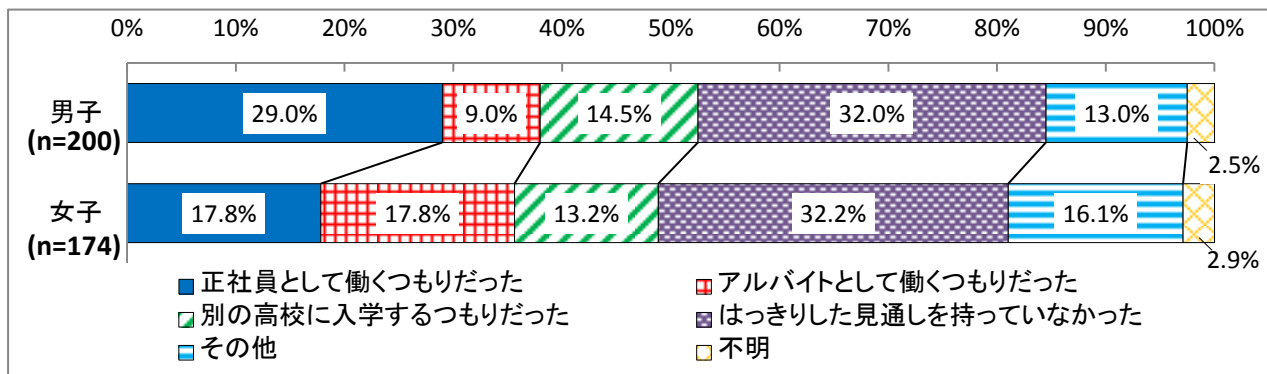
- ・水産系 ・情報処理科 ・スポーツ科学科 ・環境土木系
- ・看護科 ・情報デザイン科 ・英語科 ・表現科 ・家庭科系

- 中途退学生徒の在籍していた学科で最も多いのは、男女とも「普通科」で、男子は47.0%、女子は52.3%となっている。男子は、次いで「工業科等」17.5%、「農業科等」13.0%となっている。女子は、次いで「総合学科」14.9%、「工業科等」9.8%となっている。

⑤ (中途退学した)当時、本人(生徒)は、どのような将来の見通しをもっていましたか。



【男女別】



《その他の内容》

【進学・入学・卒業】

- ・進学(大学、専門学校(美容、お笑い、その他))
- ・再入学(通信制・別の学科) ・高校卒業 ・高卒認定試験を受験

【就職・夢】

- ・美容師 ・体育教員(球技を指導していきたい) ・建築関係の仕事 ・医療系の仕事
- ・看護師 ・保育士 ・農家を継ぐ ・家事従事(漁業) ・自衛隊志望 ・ミュージシャン
- ・公務員試験受験 ・声優 ・エンタメ系の仕事 ・トリマー ・とにかく働きたい

【その他】

- ・病気療養 ・海外留学 ・はっきりした見通しは持っていた

○ 中途退学生徒の将来の見通しについては、「はっきりした見通しを持っていなかった」が全体の32.1%となっている。

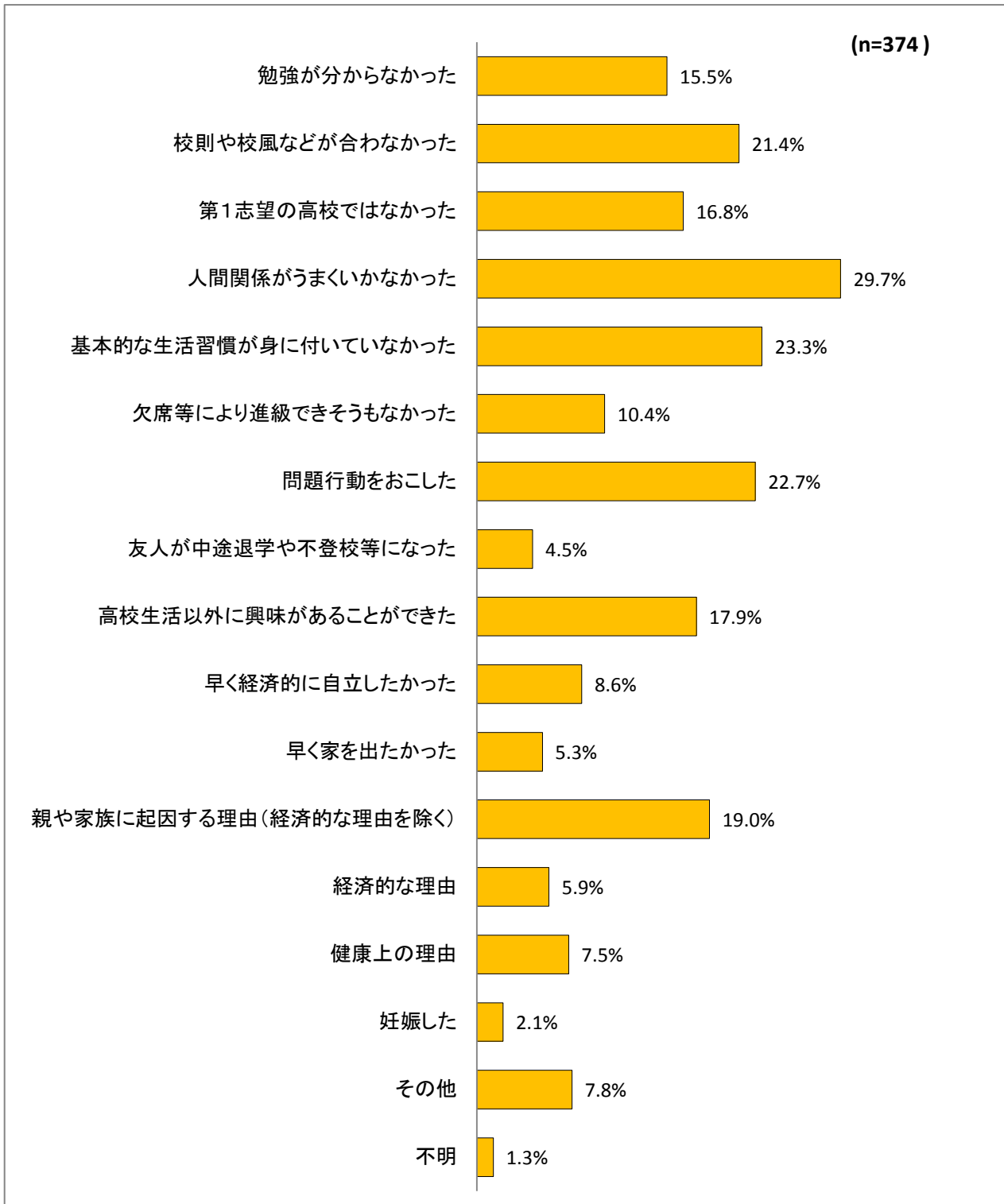
○ 全日制・定時制別の将来の見通し

	全日制	定時制
「はっきりした見通しを持っていなかった」	① 31.3%	① 34.9%
「正社員として働くつもりだった」	② 23.6%	② 24.4%
「アルバイトとして働くつもりだった」	(9.7%)	② 24.4%

○ 男女別の将来の見通し

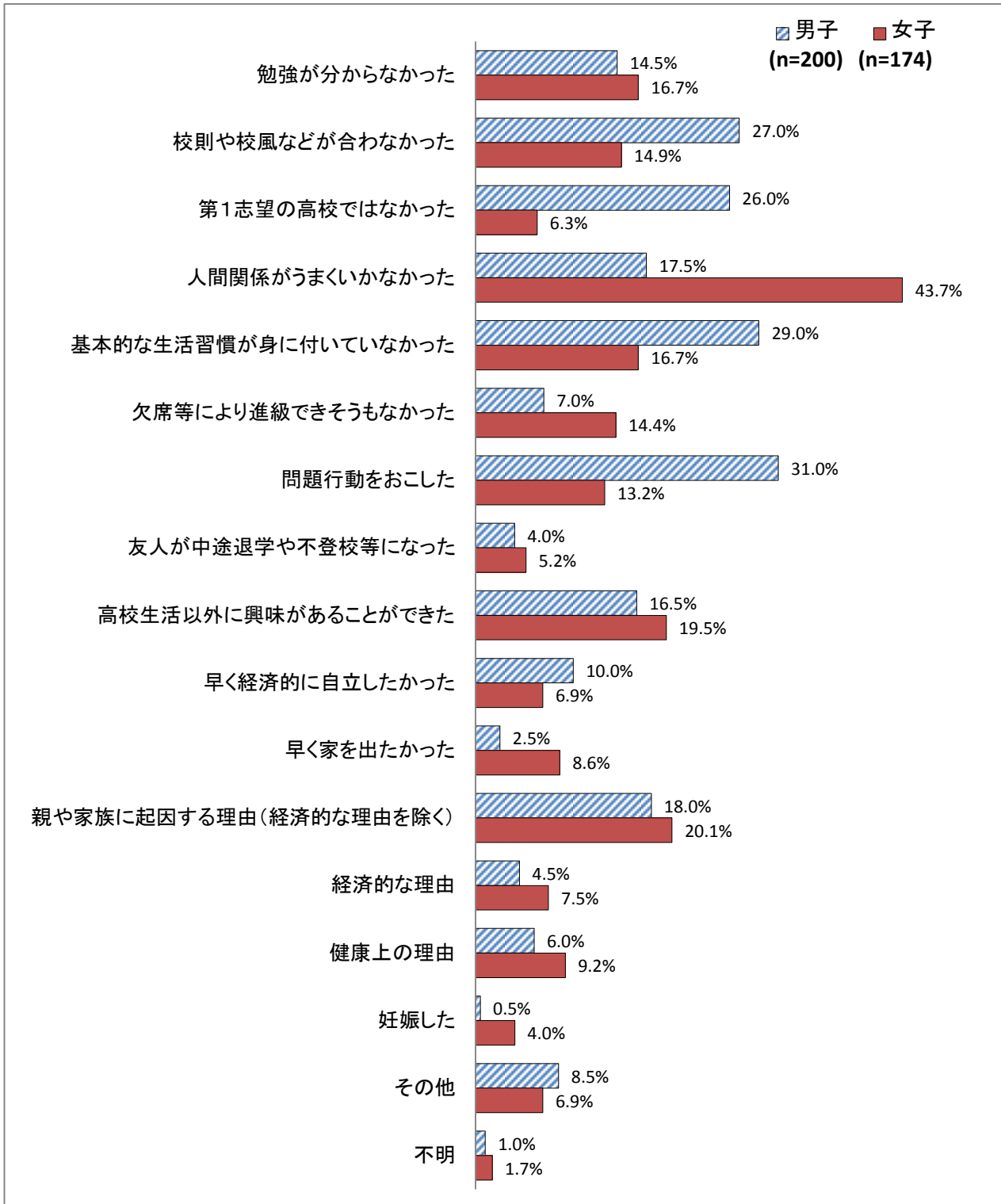
	男子	女子
「はっきりした見通しを持っていなかった」	① 32.0%	① 32.2%
「正社員として働くつもりだった」	② 29.0%	② 17.8%
「アルバイトとして働くつもりだった」	(9.0%)	② 17.8%

⑥ 本人(生徒)が困難を抱えるきっかけになったと考えられること〔複数回答〕



- 中途退学生徒が、困難を抱えるきっかけになったと考えられること
- ① 「人間関係がうまくいかなかった」 …………… 29.7%
 - ② 「基本的な生活習慣が身に付いていなかった」 …………… 23.3%
 - ③ 「問題行動をおこした」 …………… 22.7%
 - ④ 「校則や校風などが合わなかった」 …………… 21.4%

【男女別】



- 男子は、次の4つについて4分の1以上だった。
 - ①「問題行動をおこした」……………31.0%
 - ②「基本的な生活習慣が身に付いていなかった」……………29.0%
 - ③「校則や校風などが合わなかった」……………27.0%
 - ④「第1志望の高校ではなかった」……………26.0%

○ 女子の「人間関係がうまくいかなかった」が、43.7%となっている。

《その他の内容》

【家庭環境】

- ・ 両親の離婚により自分の存在や居場所を失ったことによる不安感やストレス
- ・ 母が再婚し義父との関係がうまくいっていなかった、家出を繰り返していた
- ・ 結婚

【生活習慣】

- ・ 中学生の頃から昼夜逆転生活(パソコン・ゲーム)

【高校入学】

- ・ 本人の意志で高校進学したわけではない
- ・ 志望高校ではなかった
- ・ 元々学校に興味がなかった
- ・ 第1志望の学科ではなかった

【学校生活に起因するもの】

- ・ 20代後半という年齢もあり15歳の生徒と生活することが困難
- ・ いじめを受けていた
- ・ 宿題や課題の量が負担となり無気力になった
- ・ 一日体験入学と実際の高校生活にギャップがあった
- ・ 通学が困難になったため
- ・ 寮生活になじめなかった
- ・ 高校生活に魅力を感じなくなった。
- ・ 文武両道を目指そうと真面目に頑張りすぎた
- ・ 部活動のため入学したが部の環境が変わった
- ・ 部活動で故障、目標を失った

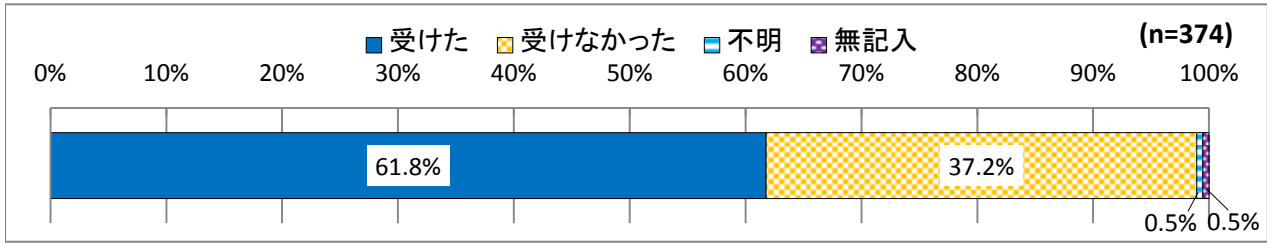
【本人に起因するもの】

- ・ 社会性の欠如
- ・ 発達障害があることを親が知り通院させるため
- ・ スマホ依存
- ・ 精神疾患
- ・ 全てのことを真面目に完成させないと気が済まない性格のため

【その他】

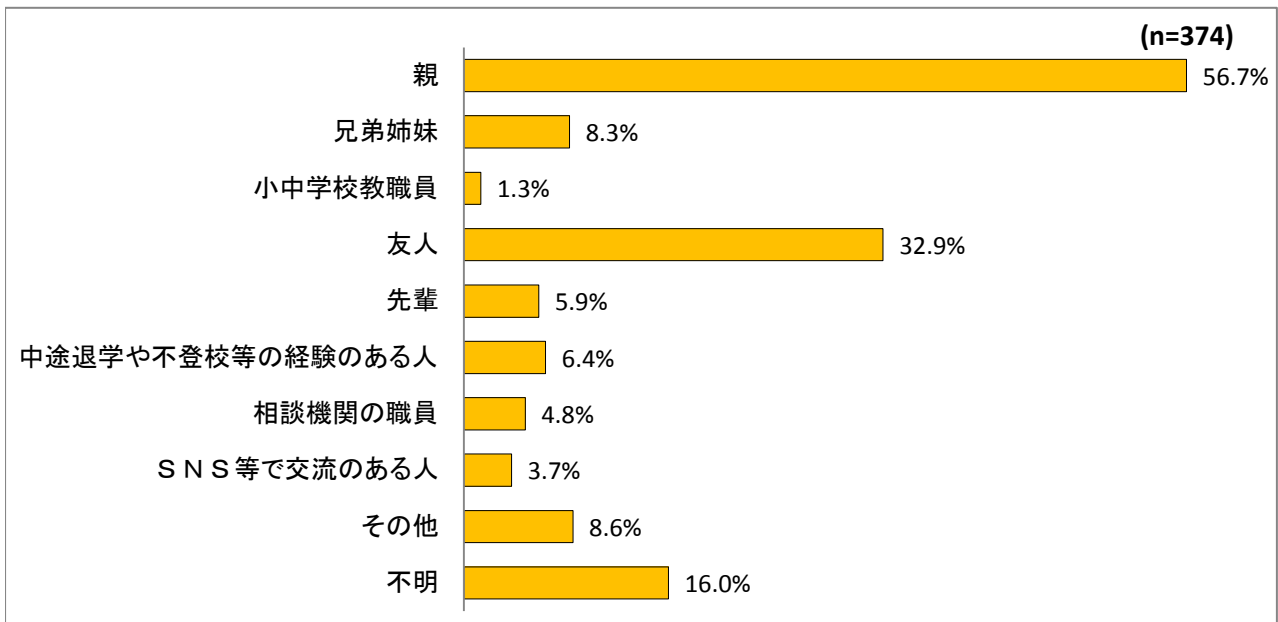
- ・ 成人男性との恋愛

⑦ (中途退学した)当時、本人(生徒)から(教員は)相談を受けましたか。



○ 中途退学した当時、生徒から相談を「受けた」と回答した教員は、61.8%となっている。

⑧ (中途退学した)当時、本人(生徒)は、高等学校以外の誰かに相談していましたか。
〔複数回答〕



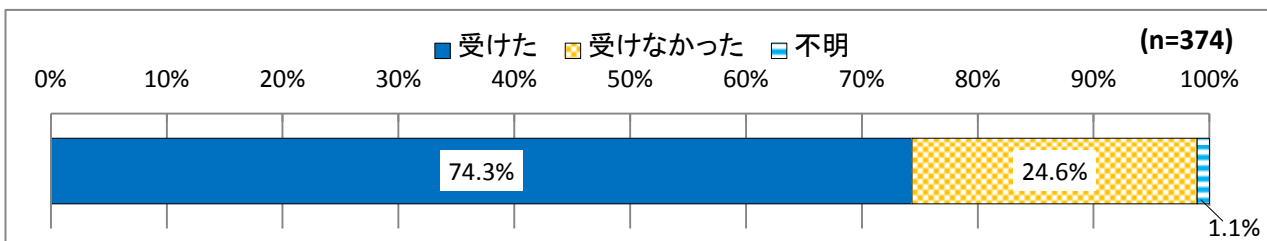
《その他の内容》

- ・医師(4.8%) ・祖母(1.3%) ・祖父 ・親戚 ・叔父 ・叔母 ・交際相手
- ・同僚 ・アルバイト先の店長 ・養護教諭 ・スクールカウンセラー ・相談しない

○ 中途退学した当時の高等学校以外の相談先は、「親」が56.7%、次いで「友人」が32.9%、「兄弟姉妹」が8.3%となっている。

○ 「相談機関の職員」は、4.8%だった。

⑨ (中途退学した)当時、本人(生徒)の家族から(教員は)相談を受けましたか。

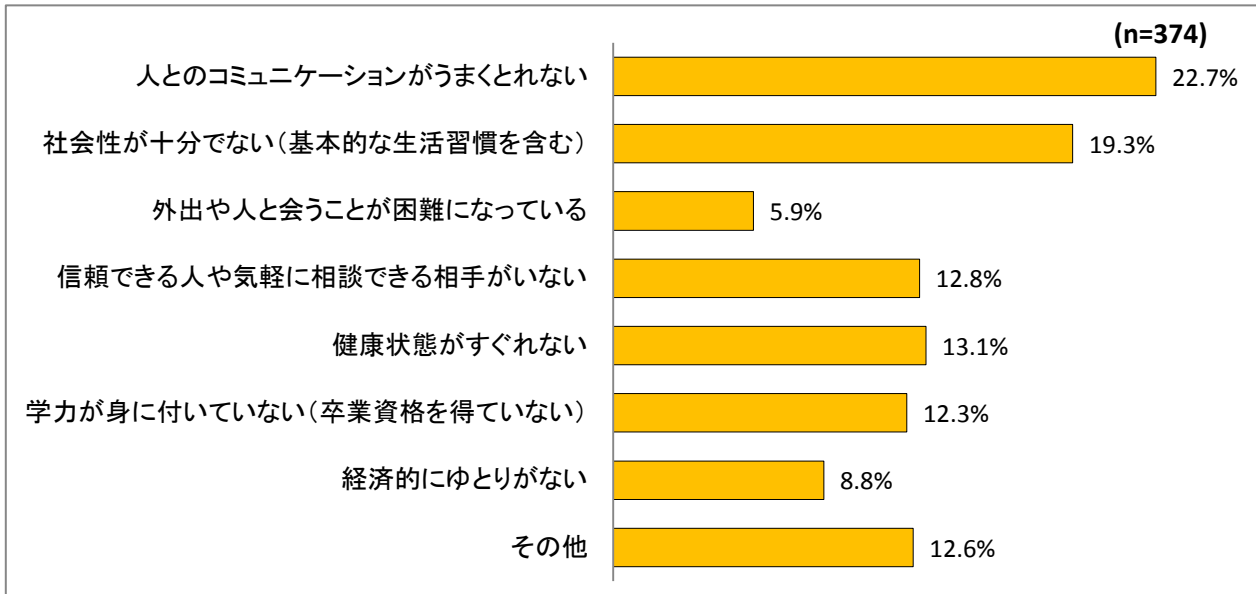


○ 中途退学した当時、生徒の家族から相談を「受けた」と回答した教員は、74.3%となっている。

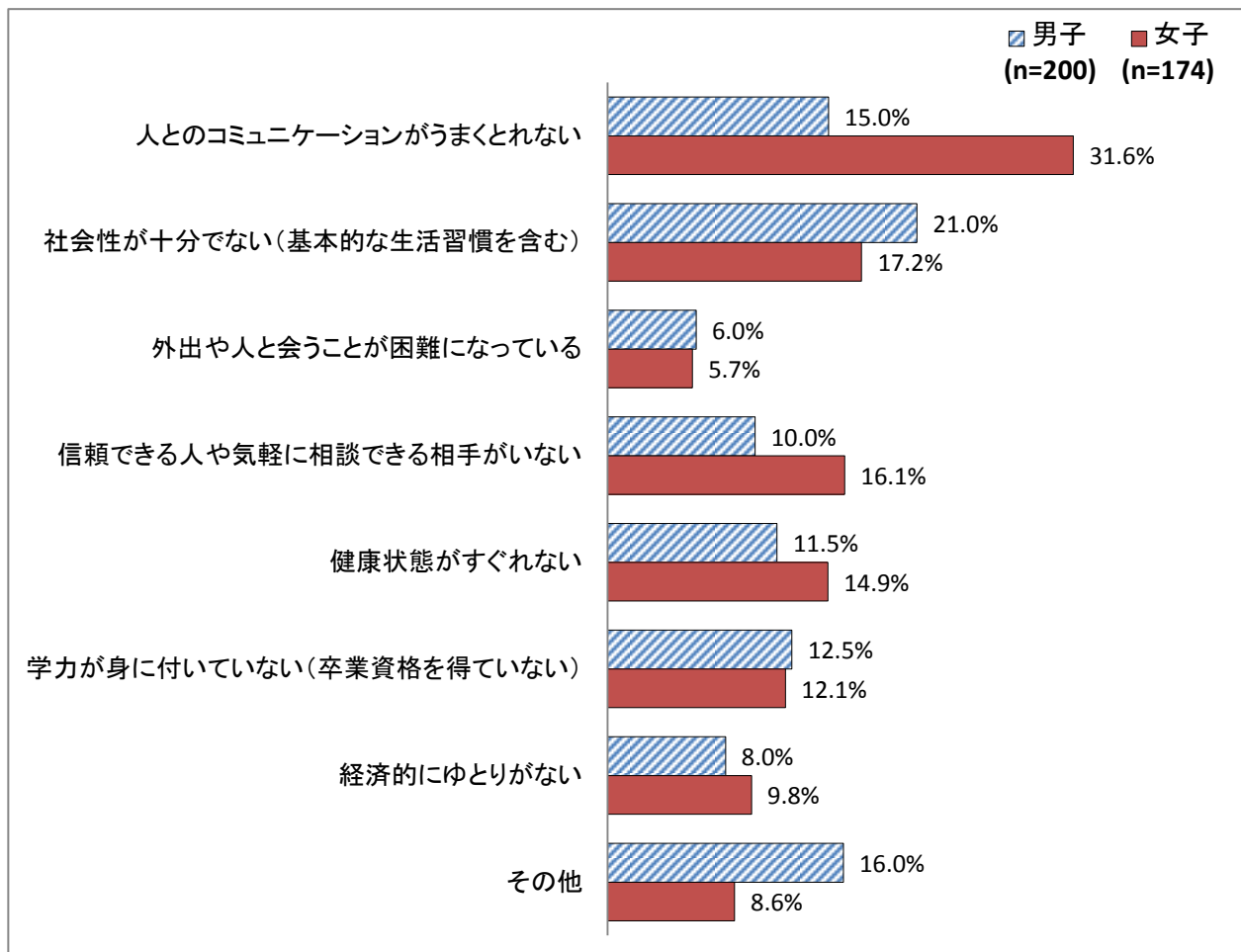
⑩ (中途退学した)当時、本人(生徒)の家族は、高等学校以外の誰かに相談していましたか。〔複数回答〕

※ 設問設計が不適切のため、集計をしないこととした。

⑪ 本人(生徒)は、高校在学中、どのような悩みや不安を挙げていましたか。〔複数回答〕



【男女別】



《その他の内容》

【家庭に関する事】

- ・ 家族との関係がよくない (親、祖父、家族間、里親)
- ・ 学校を辞めたいが親が許してくれない
- ・ 通信制に移りたいが母親が拒否
- ・ 保護者から経済状況を聞き将来の夢を諦めていった
- ・ 兄弟の扱いが不平等
- ・ 家庭の教育力がないこと

【学習・学校生活に関する事】

- ・ 学校に対する不満(校風・校則が合わない、つまらない、服装等への指導がうるさいなど)
- ・ 授業を聞いていられない(45分間着席していたことが今まで無かった)
- ・ 課題をこなすことが体力的・精神的につらい
- ・ 列車通学が負担
- ・ クラスや部活での自分の立場や居場所
- ・ 疎外感
- ・ 高校という枠組みに縛られたくない、規則的な生活に疲れた
- ・ 学習意欲がわからない。
- ・ 勉強がつまらない・わからない
- ・ 学校を休むと授業についていけない
- ・ 友人関係
- ・ 寮生活になじめなかった
- ・ いくつかの要因が複合的

【本人に関する事】

- ・ 無気力、目標や将来やりたいことが無い、生きていてもつまらない
- ・ 気持ちでは高校生活を続けたいが実際の行動では困難
- ・ 中学で不登校だったことを気にしていた
- ・ 周りに対する自分のイメージを壊したくない
- ・ 高い理想の自分になれない
- ・ 中卒で働いている友人に魅力を感じていた
- ・ 多重人格かもしれないという不安
- ・ パニック障害
- ・ 現状を変えたい・ここから逃れたいということで頭がいっぱいだった
- ・ 志望学校ではなかった・やめたい(不本意入学)
- ・ 我慢ができないこと
- ・ 自分の学力について
- ・ 自分の性格が嫌だ
- ・ アルバイトがしたい
- ・ 劣等感
- ・ 精神的なこと

【その他】

- ・ やりたい事が今の環境ではできない
- ・ 悩みは特に無い

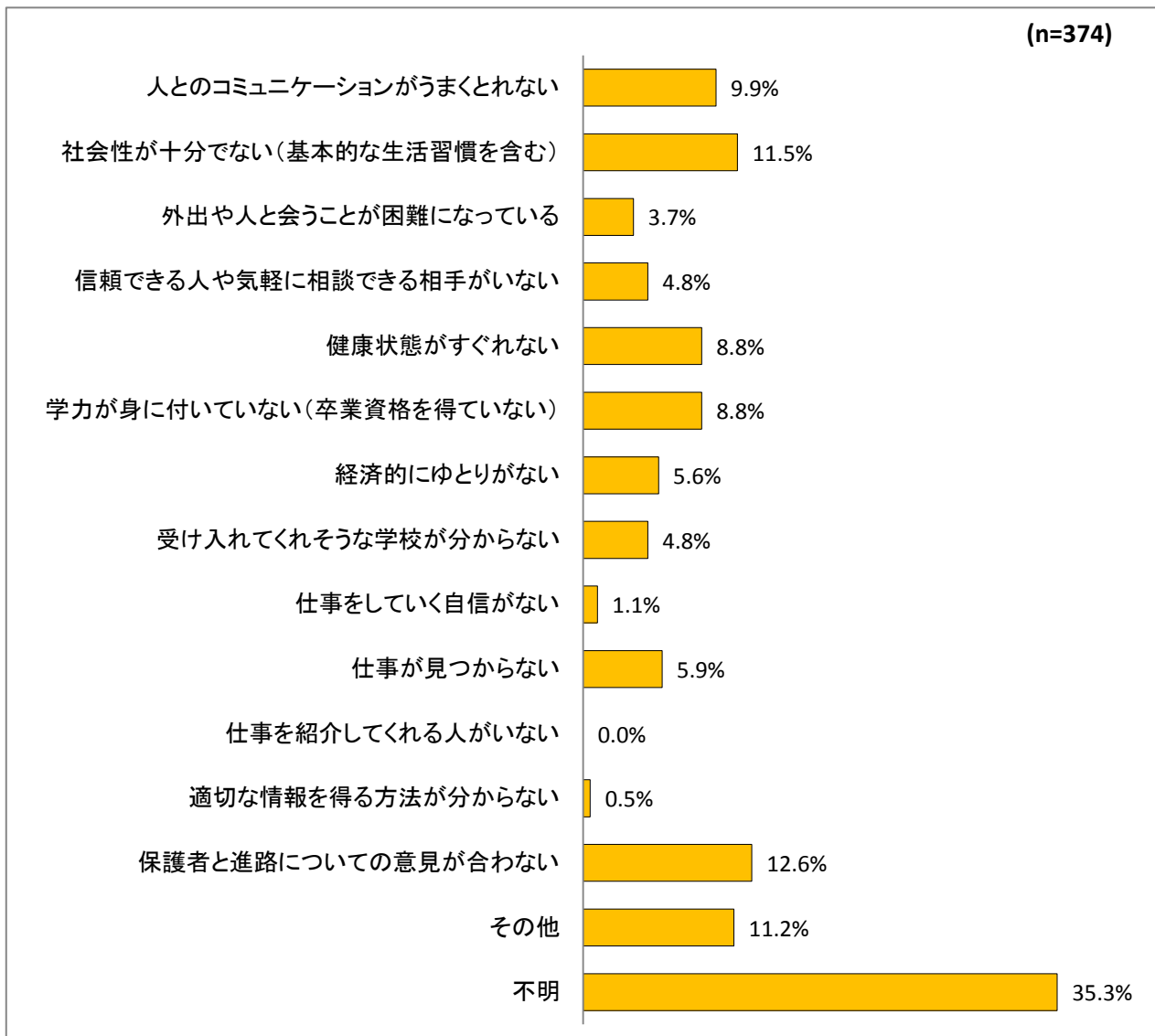
○ 中途退学生徒が高校在学中に挙げていた悩みや不安

- ① 「人とのコミュニケーションがうまくとれない」 …… 22. 7%
- ② 「社会性が十分でない(基本的な生活習慣を含む)」 …… 19. 3%

○ 男女別の悩みや不安

- 男子 ① 「社会性が十分でない(基本的な生活習慣を含む)」 …… 21. 0%
- 男子 ② 「人とのコミュニケーションがうまくとれない」 …… 15. 0%
- 女子 ① 「人とのコミュニケーションがうまくとれない」 …… 31. 6%
- 女子 ② 「社会性が十分でない(基本的な生活習慣を含む)」 …… 17. 2%

⑫ 本人(生徒)は、中退後の進路について、どのような悩みや不安を挙げていましたか。
〔複数回答可〕



《その他の内容》

【家庭に関する事】

- ・ 母親が転居するため別居していた父親と同居になること
- ・ 早く家を出たい

【学習・学校生活に関する事】

- ・ いずれ高校卒業資格を得たいと考えている
- ・ 再受験しもう一度1年生になることが苦痛
- ・ 他校の定時制に編入できるのか
- ・ 進学への学力を維持できるかどうか

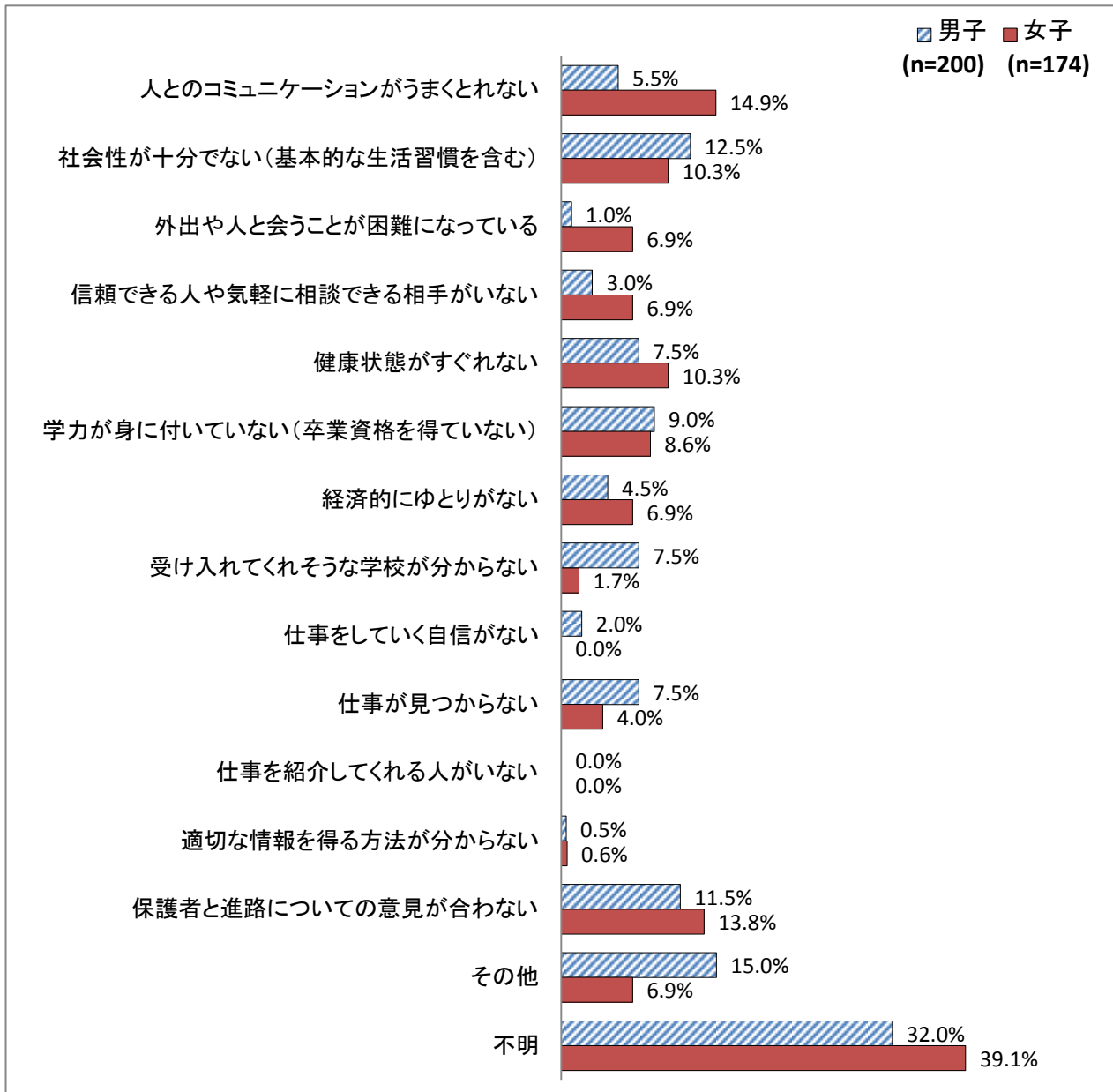
【本人に関する事】

- ・ 中卒では就ける仕事がないのではないかと不安
- ・ 将来は農家なので今のうちに遊びたい
- ・ 自分でもよく分からない
- ・ 窃盗をやめられる自信がない

【その他】

- ・ 悩み、不安無し
- ・ 無記入

【男女別】



○ 中退後の進路についての悩みや不安について、35.3%が「不明」と回答している。

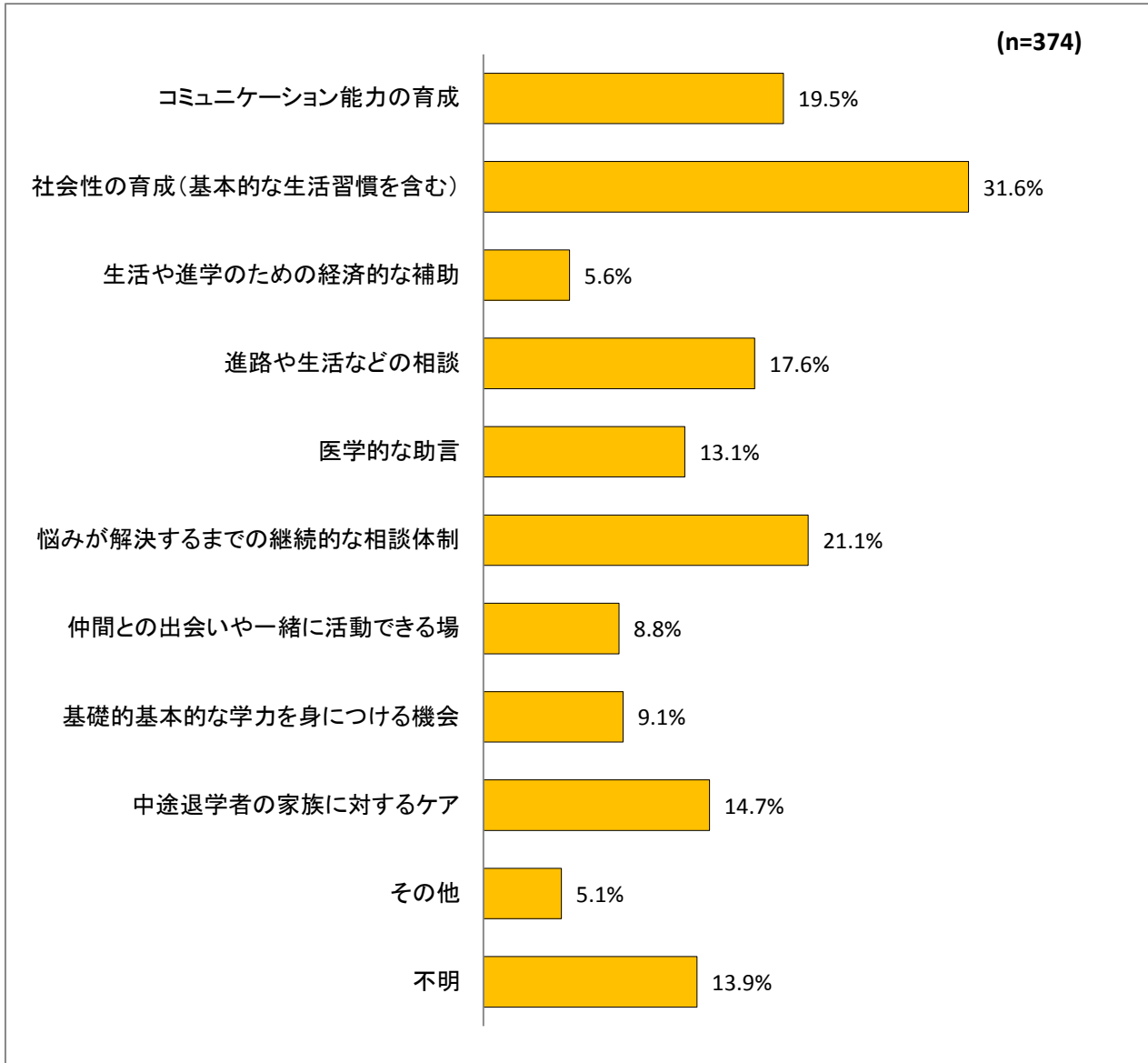
○ 中退後の進路についての悩みや不安

- ①「保護者と進路についての意見が合わない」……………12.6%
- ②「社会性が十分でない(基本的な生活習慣を含む)」……………11.5%
- ③「人とのコミュニケーションがうまくとれない」……………9.9%

○ 男女別の悩みや不安

- 男子
 - ①「社会性が十分でない(基本的な生活習慣を含む)」……………12.5%
 - ②「保護者と進路についての意見が合わない」……………11.5%
 - ③「学力が身に付いていない(卒業資格を得ていない)」……………9.0%
- 女子
 - ①「人とのコミュニケーションがうまくとれない」……………14.9%
 - ②「保護者と進路についての意見が合わない」……………13.8%
 - ③「社会性が十分でない(基本的な生活習慣を含む)」……………10.3%
 - ③「健康状態がすぐれない」……………10.3%

⑬ 本人(生徒)に対して、学校以外からどのような支援があればよいと(教員として)思いましたか。〔複数回答〕



《その他の内容》

【本人への教育・支援】

- ・ 進路選択を慎重に行うことの大切さを学べる機会
- ・ 専門機関によるケア
- ・ スマホ依存から脱却するプログラム
- ・ 学業への取り組みせ方の改善

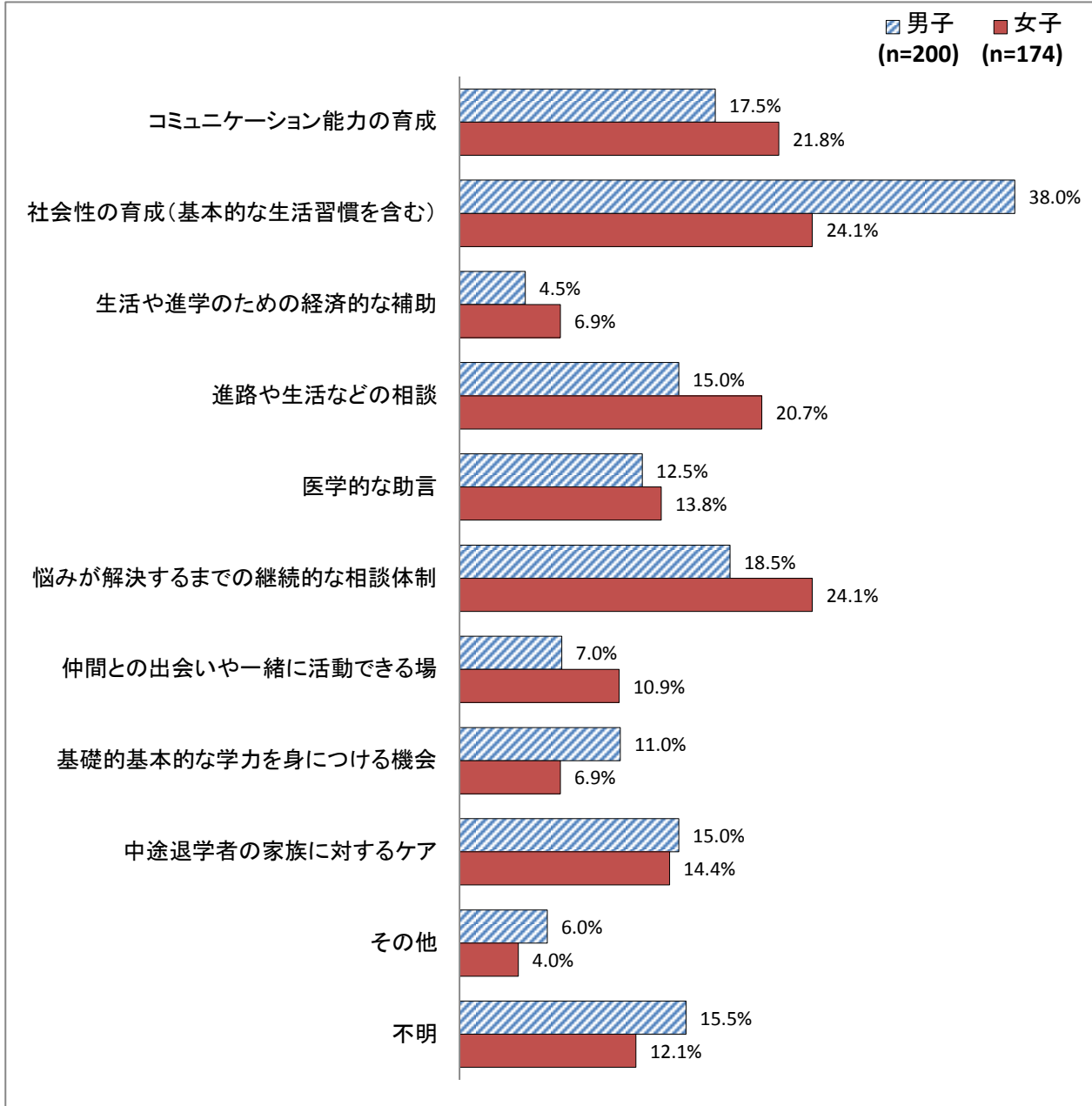
【保護者への教育・支援】

- ・ 家族の在り方教育
- ・ 家庭での教育・しつけ
- ・ 保護者への支援
- ・ 幼少期からの生活環境支援
- ・ 親子で話し合いができる・仲を取り持つ支援

【その他】

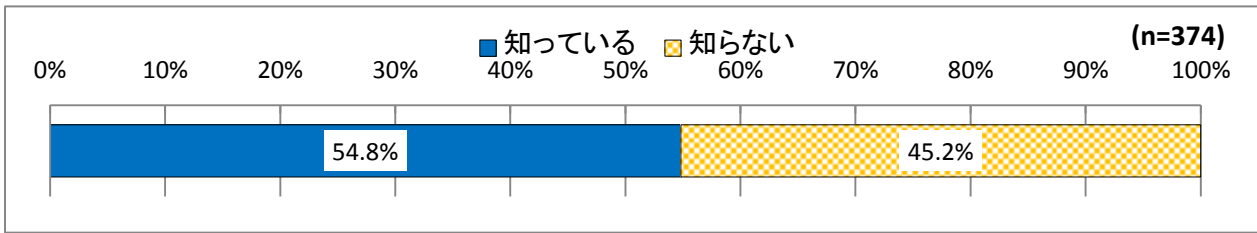
- ・ 本人も保護者も支援を必要としていなかった
- ・ 機が熟さない限りどうにもならない。本人次第

【男女別】



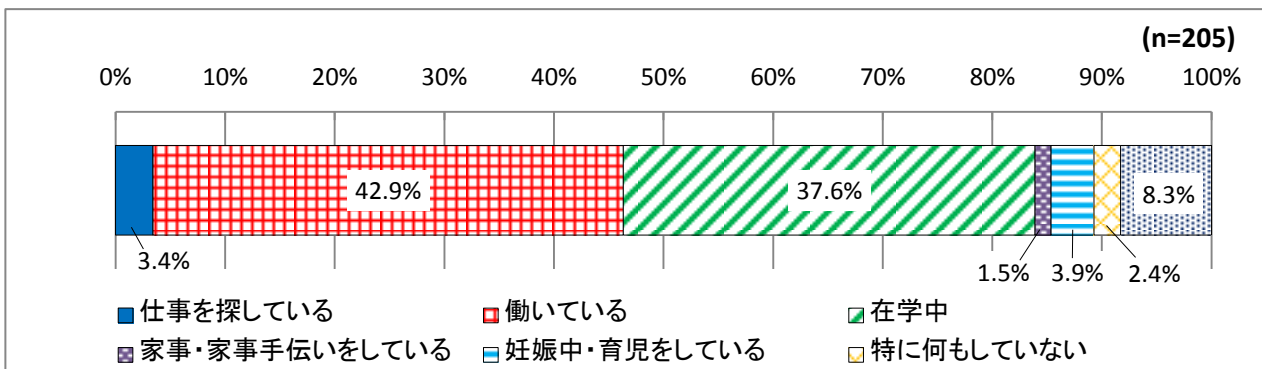
- 高校教員としてあればよいと思う学校以外からの支援
 - ① 「社会性の育成 (基本的な生活習慣を含む) 」 …… 31.6%
 - ② 「悩みが解決するまでの継続的な相談体制」 …… 21.1%
 - ③ 「コミュニケーション能力の育成」 …… 19.5%
 - ④ 「進路や生活などの相談」 …… 17.6%
- 男女別のあればよいと思う学校以外からの支援
 - 男子
 - ① 「社会性の育成 (基本的な生活習慣を含む) 」 …… 38.0%
 - ② 「悩みが解決するまでの継続的な相談体制」 …… 18.5%
 - ③ 「コミュニケーション能力の育成」 …… 17.5%
 - ④ 「進路や生活などの相談」 …… 15.0%
 - ④ 「中途退学者の家族に対するケア」 …… 15.0%
 - 女子
 - ① 「悩みが解決するまでの継続的な相談体制」 …… 24.1%
 - ① 「社会性の育成 (基本的な生活習慣を含む) 」 …… 24.1%
 - ③ 「コミュニケーション能力の育成」 …… 21.8%
 - ④ 「進路や生活などの相談」 …… 20.7%

⑭ 本人(生徒)の現在の状況を知っていますか。

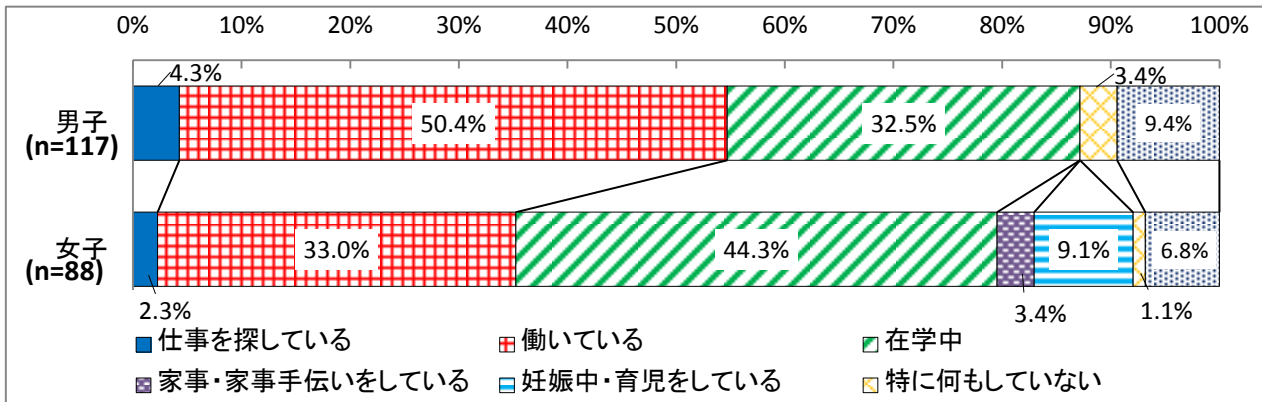


○ 中途退学生徒の現在の状況について、54.8%の生徒について「知っている」と回答した。

⑮ 本人(生徒)の現在の状況を教えてください。(※⑭で「知っている」と回答したものについて)



【男女別】



《その他の内容》

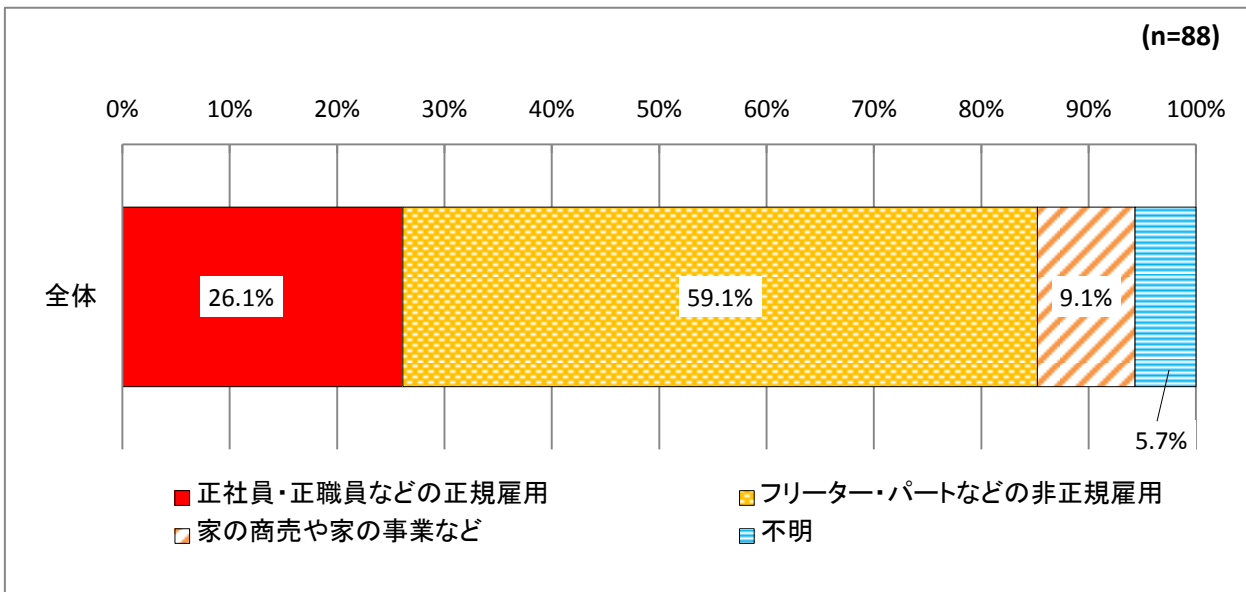
- 【学業】
 - ・ 高卒認定試験に向けて勉強中
 - ・ 定時制へ転学後、私大へ進学したが不登校
 - ・ 高卒認定試験に合格し大学生
 - ・ 大学進学へ向けて準備中
 - ・ 進学を目指し浪人中
 - ・ フリースクールに入校
- 【就職】
 - ・ 就職先が内定
- 【治療】
 - ・ 病気療養中
- 【その他】
 - ・ ボランティア
 - ・ 海外在住

○ 中途退学した生徒のうち、高校教員が把握している現在の状況については、「働いている」が42.9%、「在学中」が37.6%となっている。

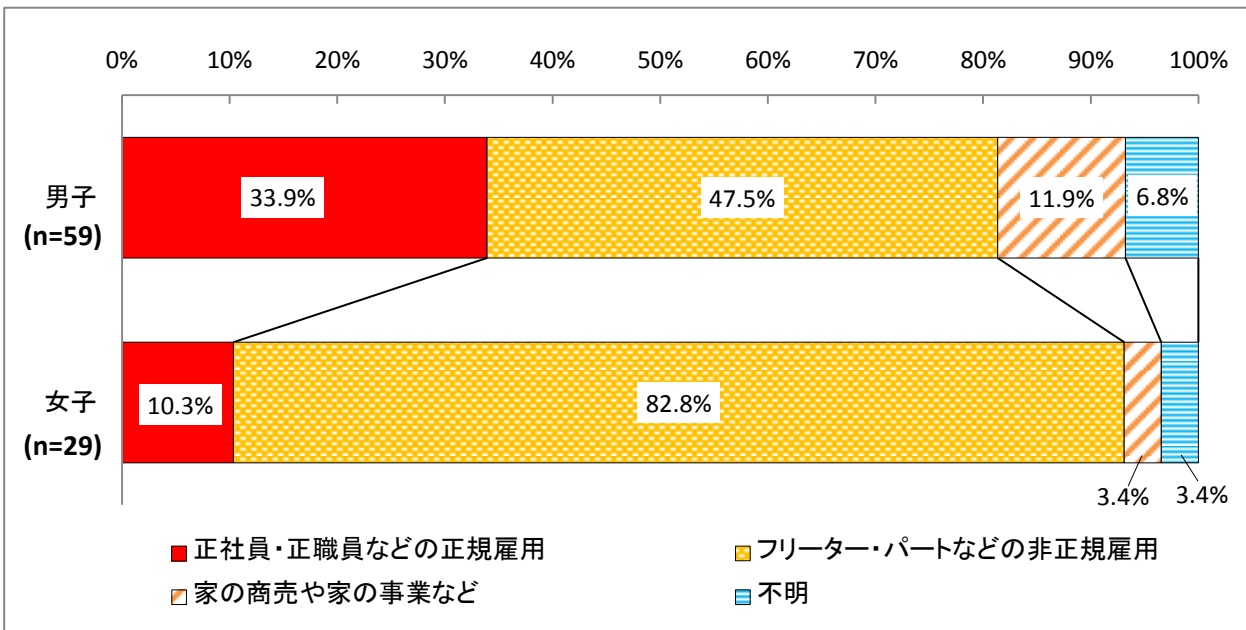
○ 男女別の現在の状況

- 男子 ①「働いている」……………50.4%
- ②「在学中」……………32.5%
- 女子 ①「在学中」……………44.3%
- ②「働いている」……………33.0%

⑩ ⑮で「働いている」と回答したものについて
本人(生徒)の現在働いている内容を教えてください。



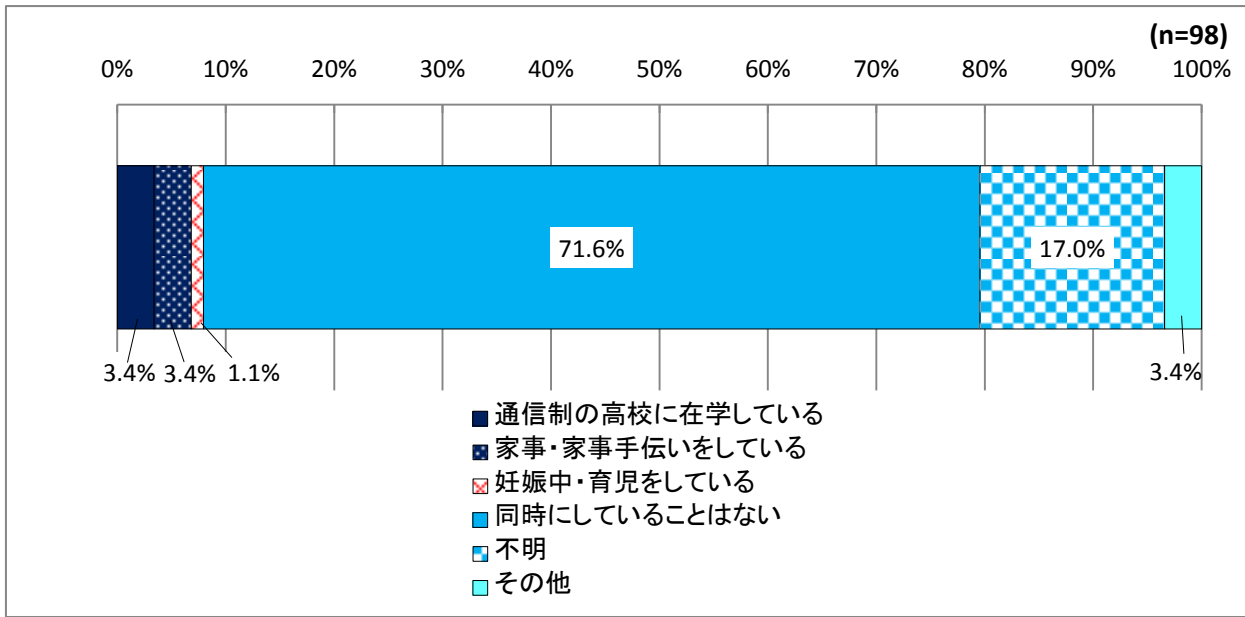
【男女別】



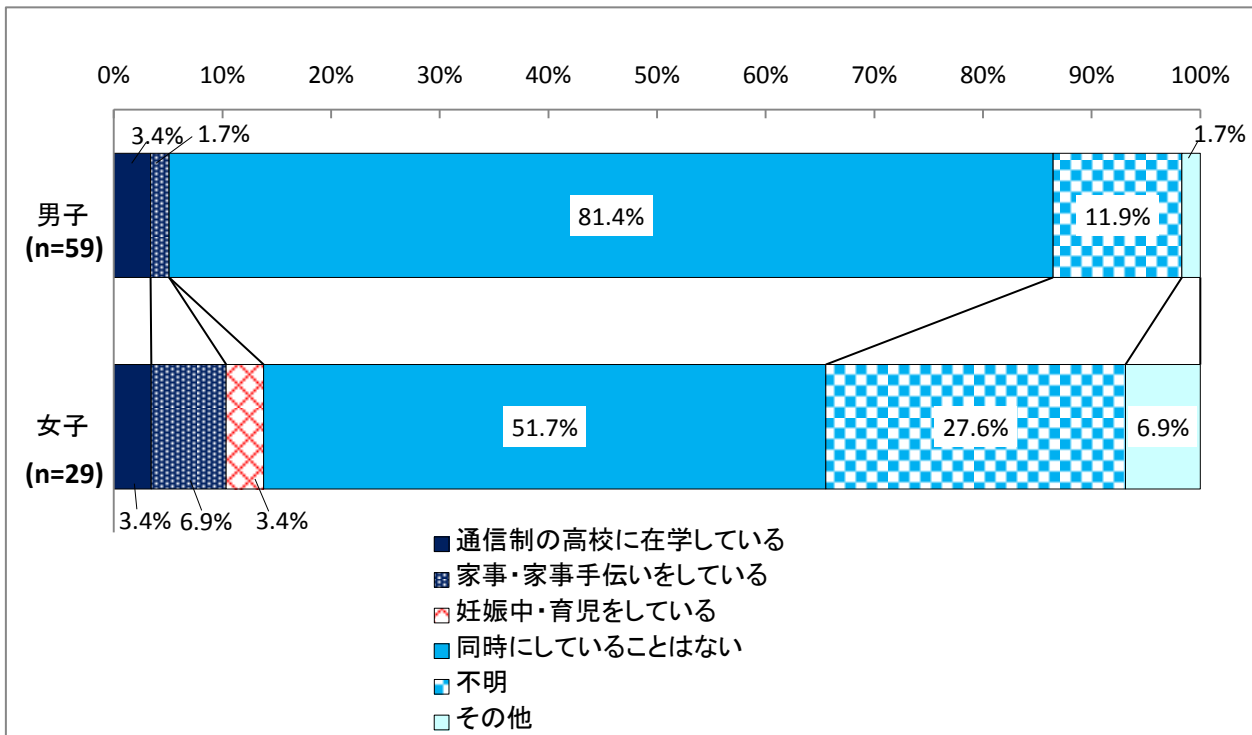
- 中途退学した生徒のうち、高校教員が把握している「働いている内容」
 - ① 「フリーター・パートなどの非正規雇用」…………… 59.1%
 - ② 「正社員・正職員などの正規雇用」…………… 26.1%
 - ③ 「家の商売や事業など」…………… 9.1%

- 男女別の「働いている」内容
 - 男子
 - ① 「フリーター・パートなどの非正規雇用」…………… 47.5%
 - ② 「正社員・正職員などの正規雇用」…………… 33.9%
 - 女子
 - ① 「フリーター・パートなどの非正規雇用」…………… 82.8%
 - ② 「正社員・正職員などの正規雇用」…………… 10.3%

⑰ ⑮で「働いている」と回答したものについて
現在、本人(生徒)が同時に行っていることを教えてください。



【男女別】

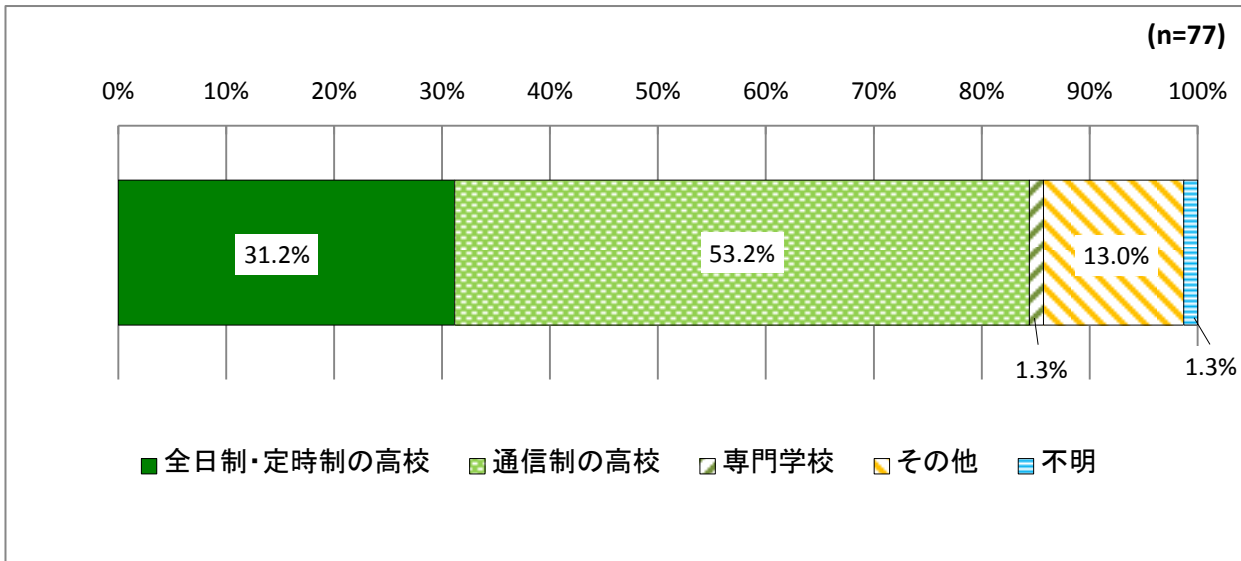


《その他の内容》

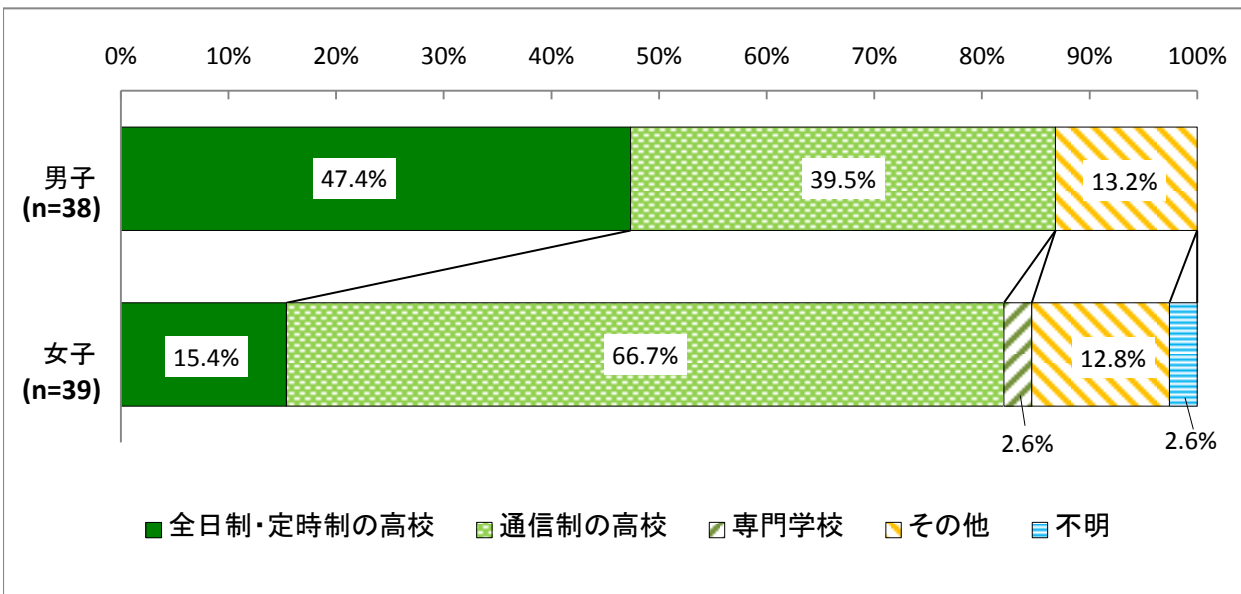
- ・ 高卒認定試験の受験準備
- ・ 運転免許取得
- ・ 母親の看護

○ 中途退学した生徒で、高校教員が把握している現在働いている者のうち、「同時にしていることはない」が71.6%となっている。
男女別に見ると、男子は81.4%、女子は51.7%となっている。

⑩ ⑮で「在学中」と回答したものについて
本人(生徒)が在籍している校種等を教えてください。



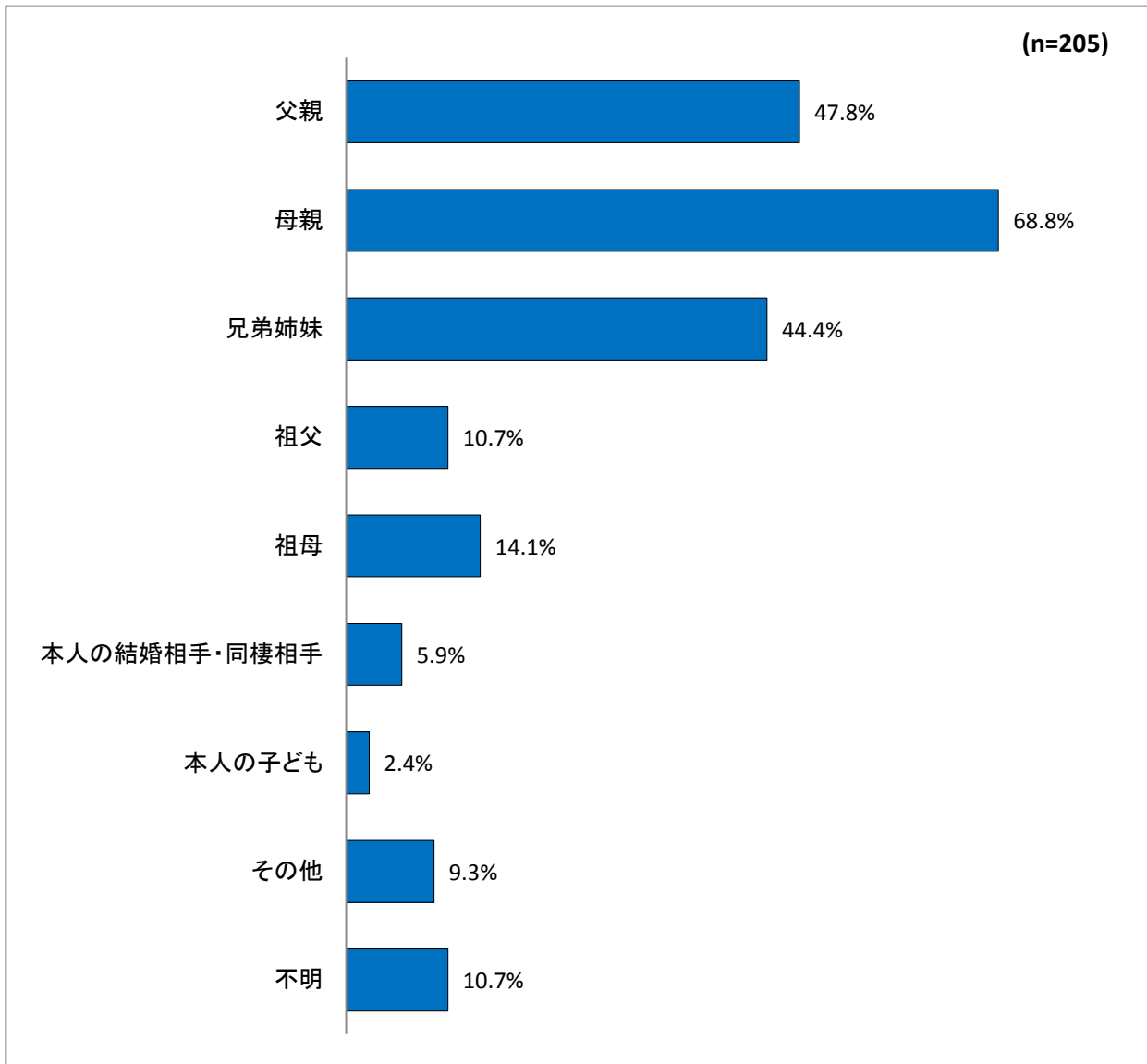
【男女別】



《その他の内容》
・大学 ・看護系大学 ・短大 ・高卒認定試験を受験し進学

- 中途退学した生徒うち、高校教員が把握している「在籍している校種」
 - ①「通信制」…………… 53.2%
 - ②「全日制・定時制」…………… 31.2%
 - ③「専門学校」…………… 1.3%
- 男女別の「在籍している校種」
 - 男子
 - ①「全日制・定時制」…………… 47.4%
 - ②「通信制」…………… 39.5%
 - 女子
 - ①「通信制」…………… 66.7%
 - ②「全日制・定時制」…………… 15.4%

⑱ 現在、本人(生徒)が同居している家族の内訳を教えてください。(複数回答)



《その他の内容》

・独り暮らし ・寮 ・親戚 ・叔父 ・叔母 ・姪 ・父親の内縁の妻と子ども

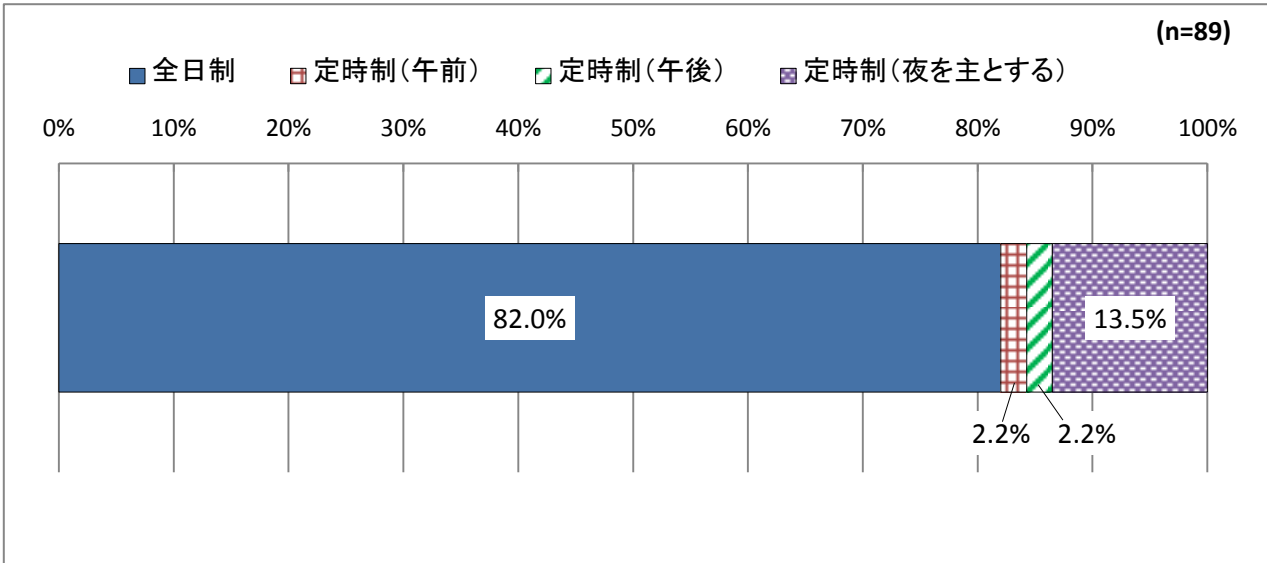
○ 中途退学した生徒のうち、高校教員が把握している同居している家族の様態

- ① 「母親」 …………… 68.8%
- ② 「父親」 …………… 47.8%
- ② 「兄弟姉妹」 …………… 44.4%

(2) 不登校から中途退学に至った生徒に関する調査

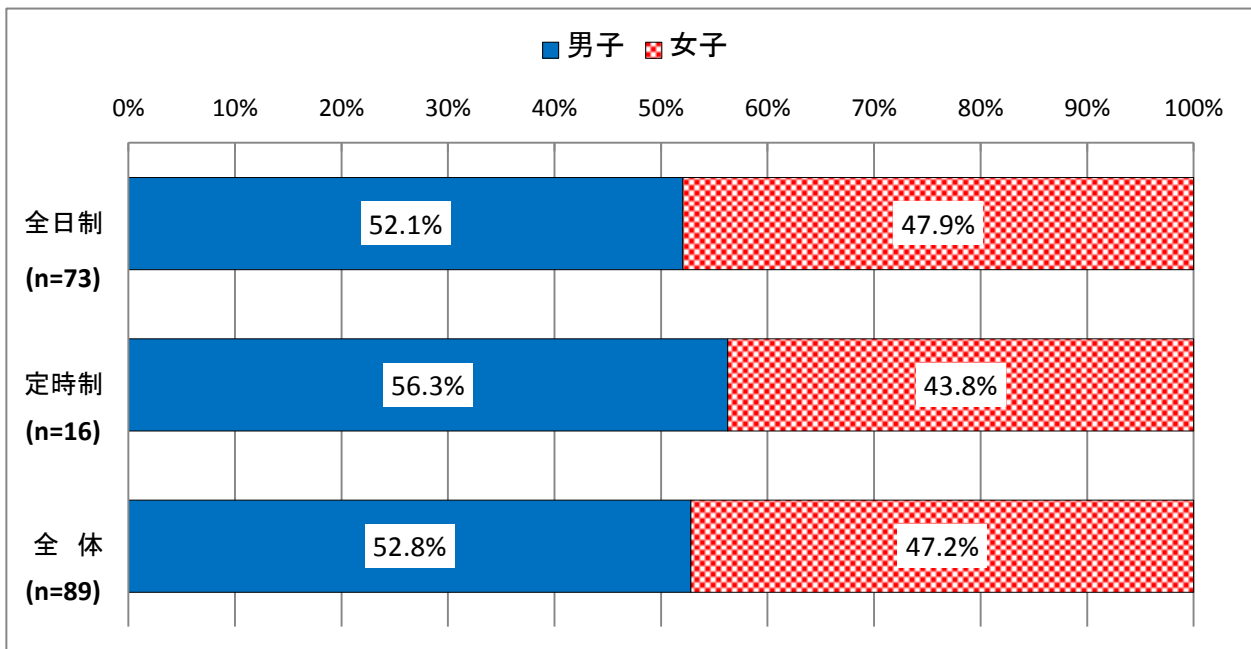
注) 選択肢を一部省略しています。

① 本人(生徒)の課程を教えてください。



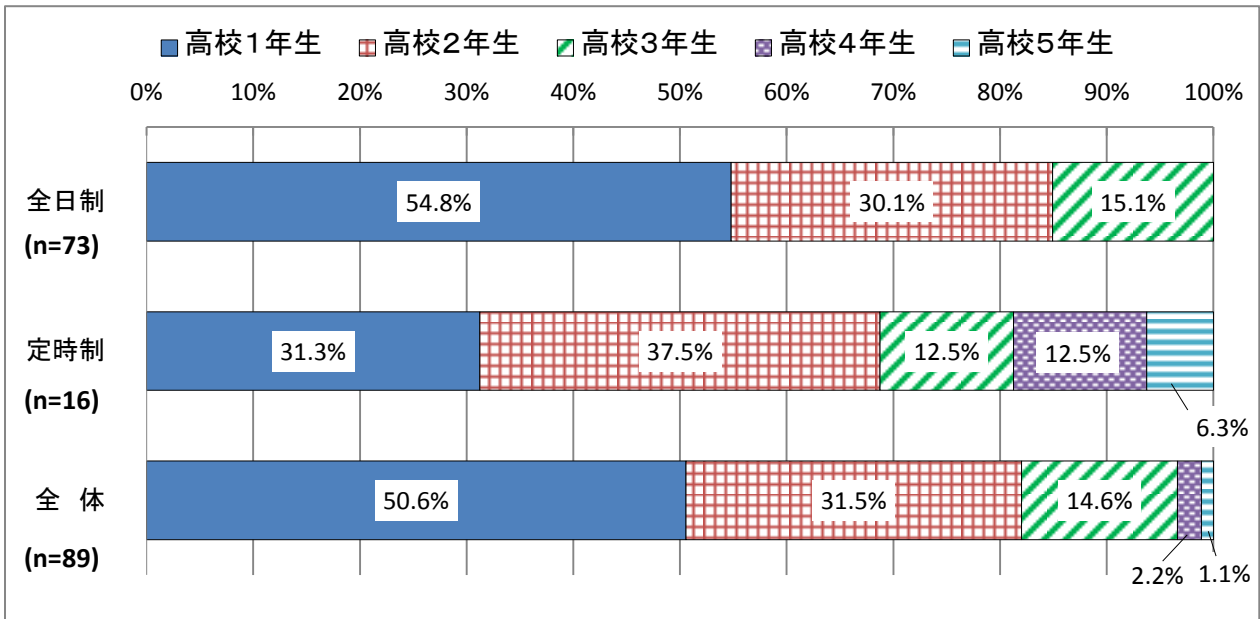
- 不登校から中途退学に至った生徒の在籍していた課程で最も多いのは「全日制」で、82.0%となっている。次いで、「定時制(夜を主とする)」13.5%となっている。

② 本人(生徒)の性別を教えてください。



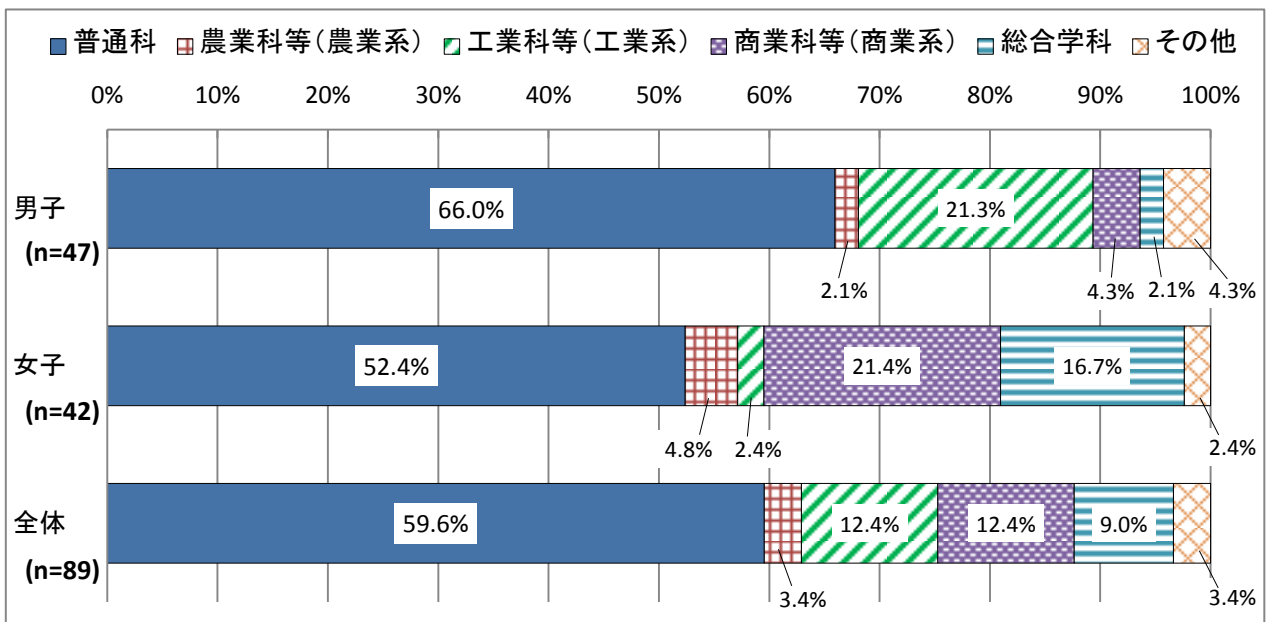
- 不登校から中途退学に至った生徒の性別は、「男子」は全体の52.8%、「女子」は47.2%となっている。
- 全日制・定時制別に見ると、全日制については「男子」は52.1%、「女子」は47.9%となっている。定時制については、「男子」は56.3%、「女子」は43.8%となっている。

③ 本人(生徒)の学年を教えてください。



- 不登校から中途退学に至った生徒の学年は、全体では「高校1年生」が50.6%、「高校2年生」が31.5%となっている。
- 全日制については、「高校1年生」が全体の54.8%で最も多く、「高校2年生」が30.1%、「高校3年生」が15.1%となっている。
- 定時制については、「高校2年生」が37.5%で最も多く、「高校1年生」は31.3%、「高校3年生」と「高校4年生」が共に12.5%となっている。

④ 本人(生徒)の学科を教えてください。

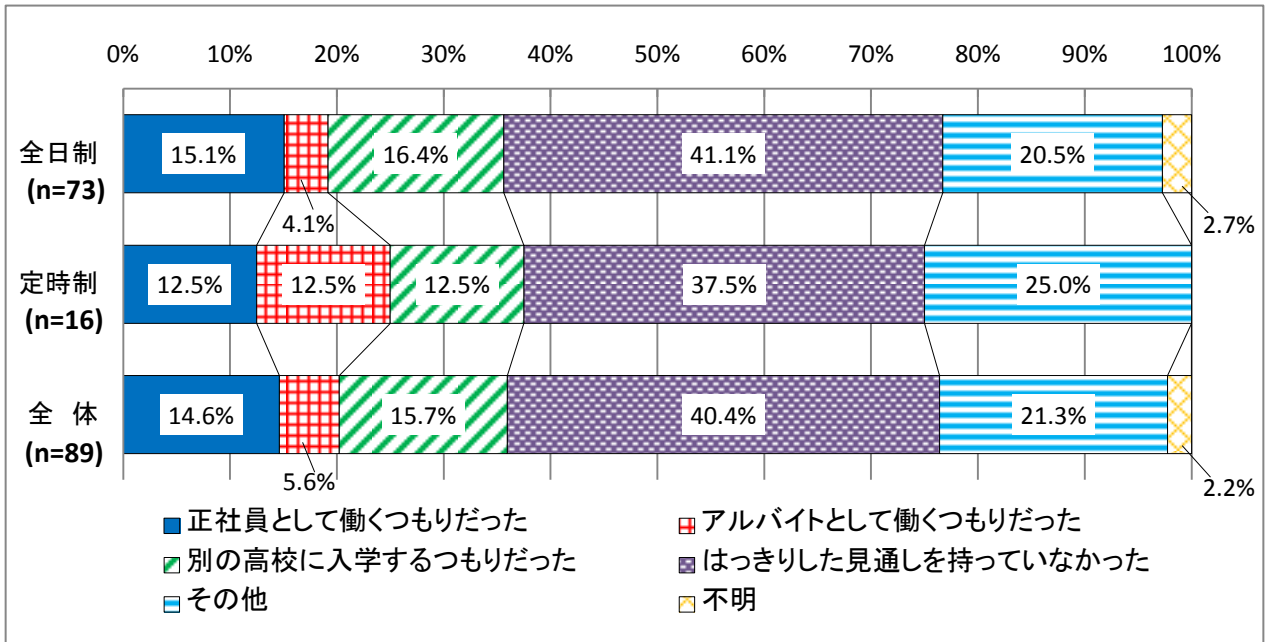


《その他の内容》

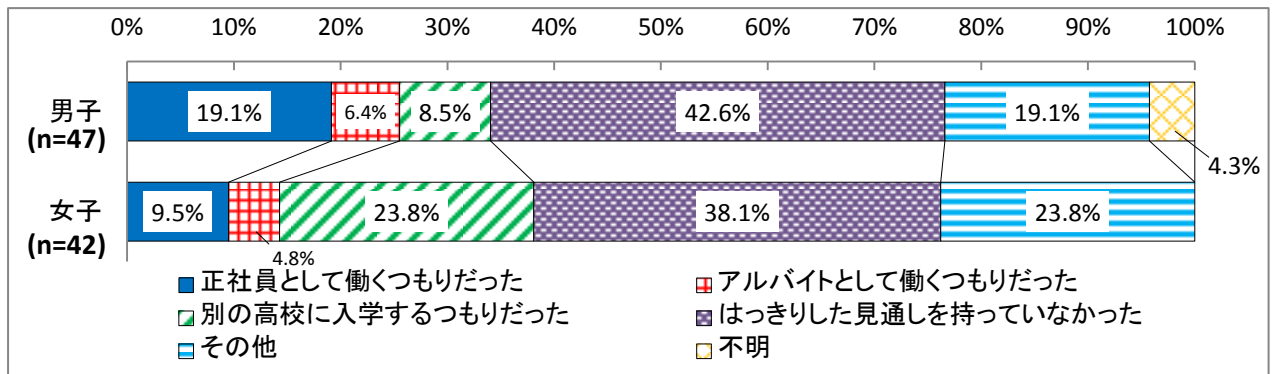
- ・水産系
- ・国際経済科

- 不登校から中途退学に至った生徒の在籍していた学科で最も多いのは、男女とも「普通科」で、男子は66.0%、女子は52.4%となっている。
男子は、次いで「工業科等」21.3%となっている。
女子は、次いで「商業科等」21.4%、「総合学科」16.7%となっている。

⑤ (不登校から中途退学に至った) 当時、本人(生徒)は、どのような将来の見通しをもっていましたか。



【男女別】



《その他の内容》

【進学・入学・卒業】

- ・進学(大学、専門学校(美容、その他))
- ・再入学 ・高校卒業 ・高卒認定試験を受験

【就職・夢】

- ・ミュージシャン ・漫画家 ・声優

【その他】

- ・病気を治す

○ 不登校から中途退学に至った生徒の将来の見通しについては、「はっきりした見通しを持っていなかった」が全体の40.4%となっている。

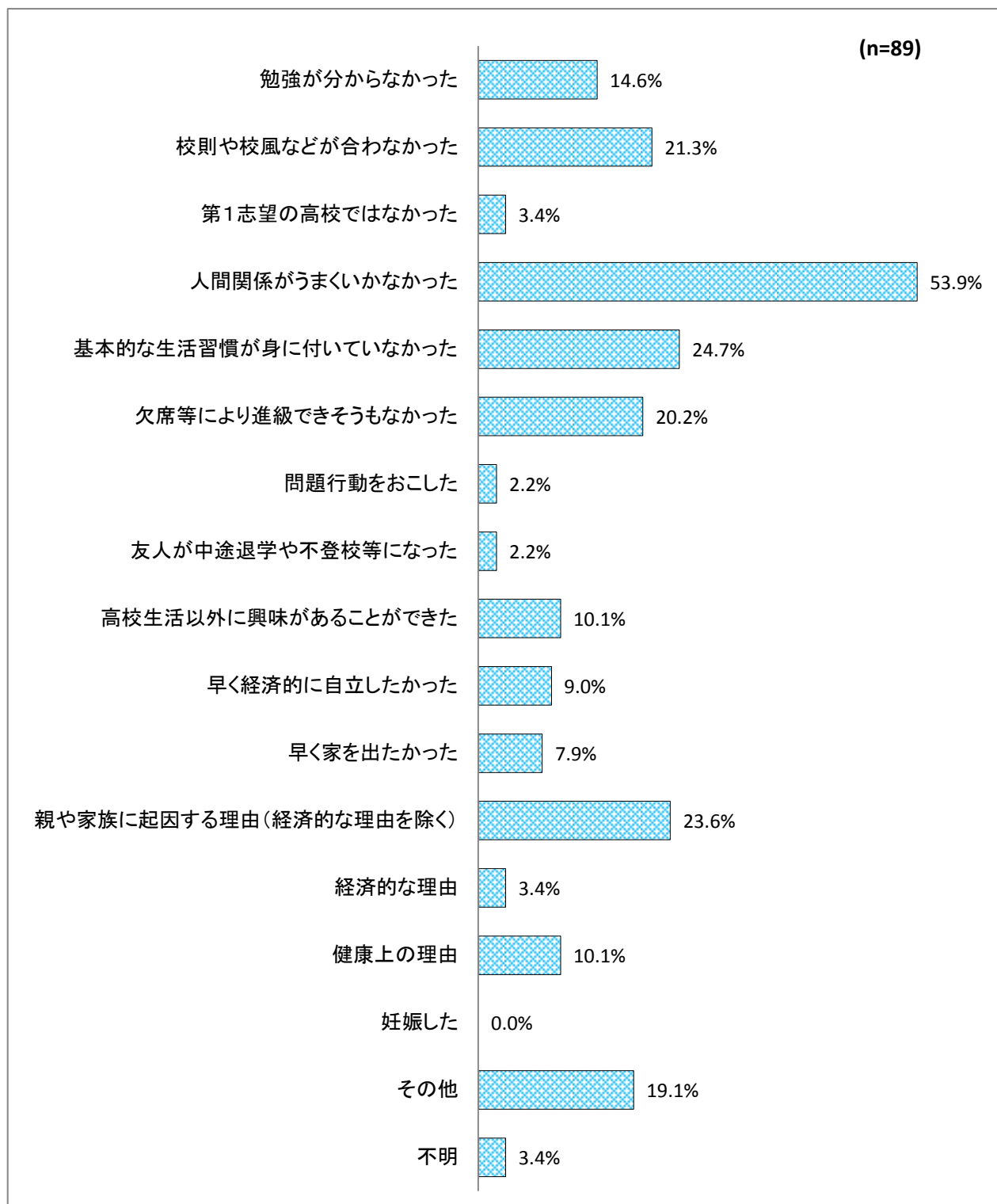
○ 全日制・定時制別の将来の見通し

	全日制	定時制
「はっきりした見通しを持っていなかった」・・・	① 41.1%	① 37.5%
「別の高校に入学するつもりだった」・・・	② 16.4%	② 12.5%
「正社員として働くつもりだった」・・・	③ 15.1%	③ 12.5%
「アルバイトとして働くつもりだった」・・・	④ 4.1%	④ 12.5%

○ 男女別の将来の見通し

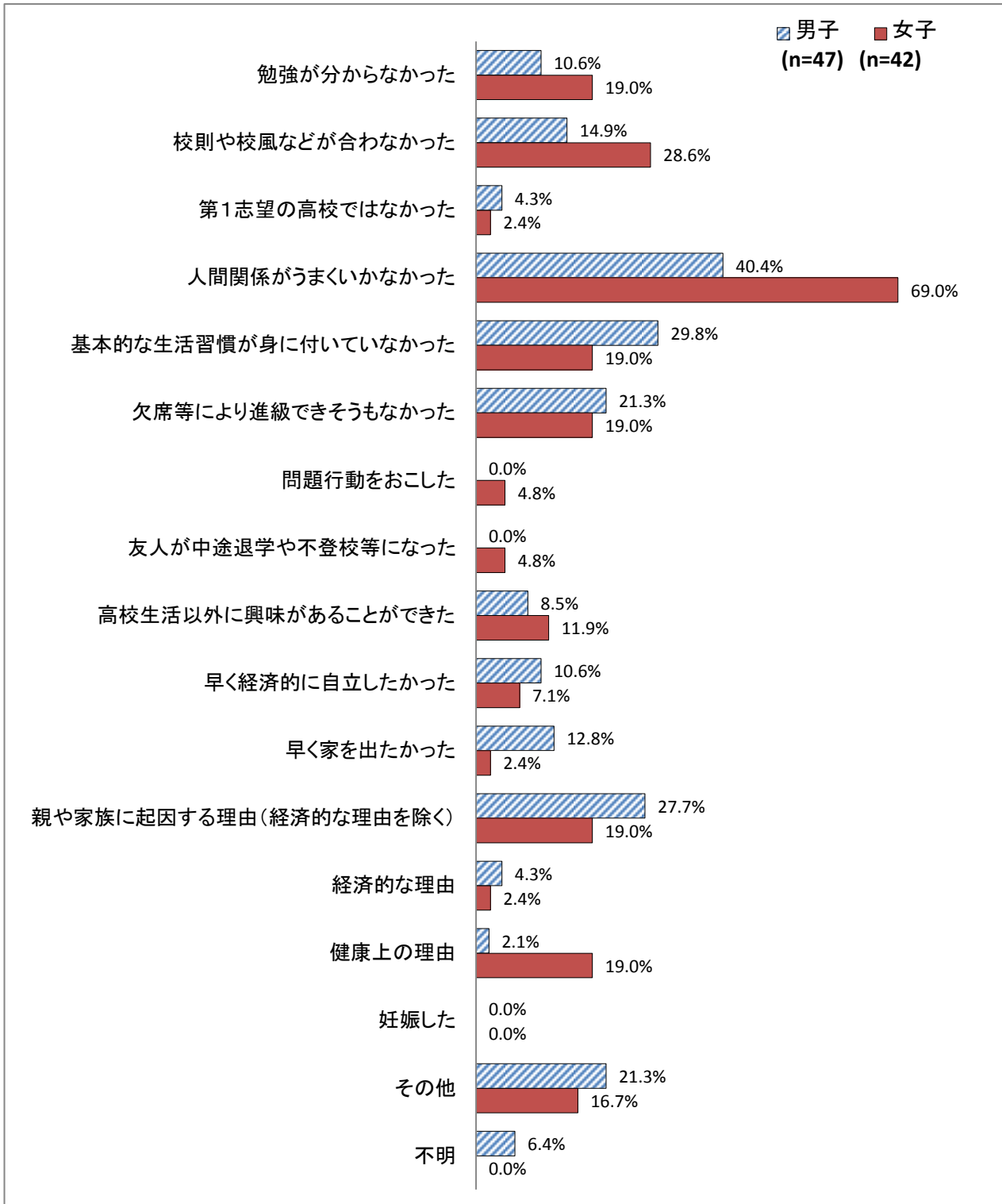
	男子	女子
「はっきりした見通しを持っていなかった」・・・	① 42.6%	① 38.1%
「正社員として働くつもりだった」・・・	② 19.1%	(9.5%)
「別の高校に入学するつもりだった」・・・	(8.5%)	② 23.8%

⑥ 本人(生徒)が困難を抱えるきっかけになったと考えられること〔複数回答〕



- 不登校から中途退学に至った生徒が、困難を抱えるきっかけになったと考えられること
- ① 「人間関係がうまくいかなかった」…………… 53.9%
 - ② 「基本的な生活習慣が身に付いていなかった」…………… 24.7%
 - ③ 「親や家族に起因する理由(経済的な理由を除く)…………… 23.6%
 - ④ 「校則や校風などが合わなかった」…………… 21.3%

【男女別】



- 男子は、次の3つについて4分の1以上だった。
 - ① 「人間関係がうまくいかなかった」 40.4%
 - ② 「基本的な生活習慣が身に付いていなかった」 29.8%
 - ③ 「親や家族に起因する理由(経済的な理由を除く)」 27.7%
- 女子は、次の2つについて4分の1以上だった。
 - ① 「人間関係がうまくいかなかった」 69.0%
 - ② 「校則や校風が合わなかった」 28.6%

《その他の内容》

【家庭環境】

- ・ 面倒を見ていた伯母が亡くなった(母はいるが出張が多い)
- ・ 結婚して子どもが生まれた

【生活習慣】

- ・ 生活リズムの乱れ

【高校入学】

- ・ 本人の意志で高校進学したわけでない
- ・ 高校生活の意義を見出せなかった
- ・ 環境の急激な変化(転校)
- ・ 中3に鬱の自覚症状(服薬)。本人は通信制希望だったが親の勧めで普通校受験

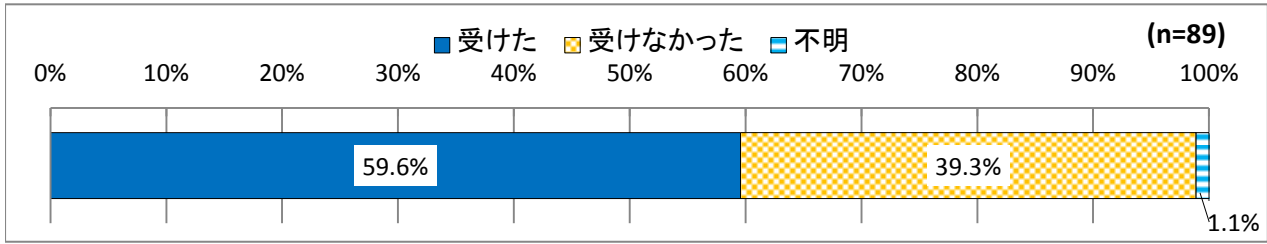
【学校生活に起因するもの】

- ・ 課題の量や部活の遠征により心身に疲れがたまった
- ・ 部活動で挫折を経験した
- ・ 部活動で燃え尽き症候群のようになった

【本人に起因するもの】

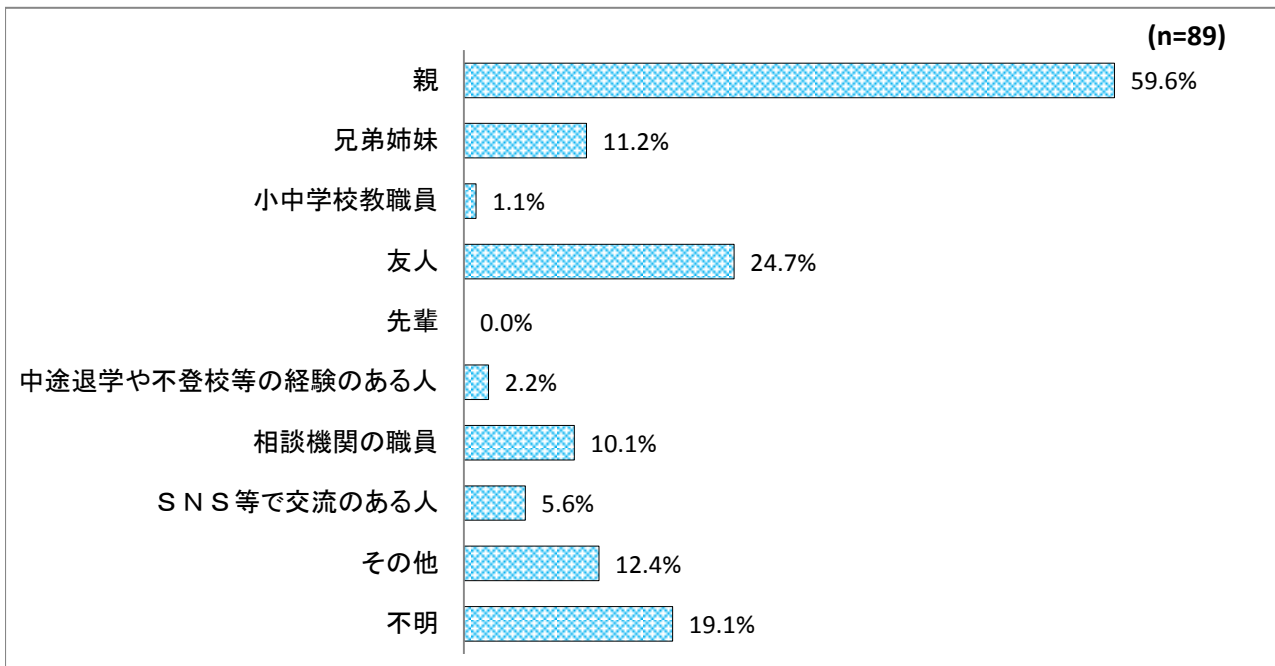
- ・ 生きる意味がわからなくなった
- ・ 小学校からの不登校による集団生活に対する不安
- ・ 集団生活に抵抗感。どう見られているのか過剰に気にし、「息苦しい」「吐きそう」な状態になる
- ・ 体調を崩しやすかった
- ・ アスペルガー症候群による対人コミュニケーション不安
- ・ 精神疾患(乖離性障害など)
- ・ 友人ができず昼食をひとりで食べていること(社会不安障害と診断)

⑦ (不登校から中途退学に至った) 当時、本人(生徒)から(教員は)相談を受けましたか。



○ 不登校から中途退学に至った当時、生徒から相談を「受けた」と回答した教員は、59.6%となっている。

⑧ (不登校から中途退学に至った) 当時、本人(生徒)は、高等学校以外の誰かに相談していましたか。〔複数回答〕



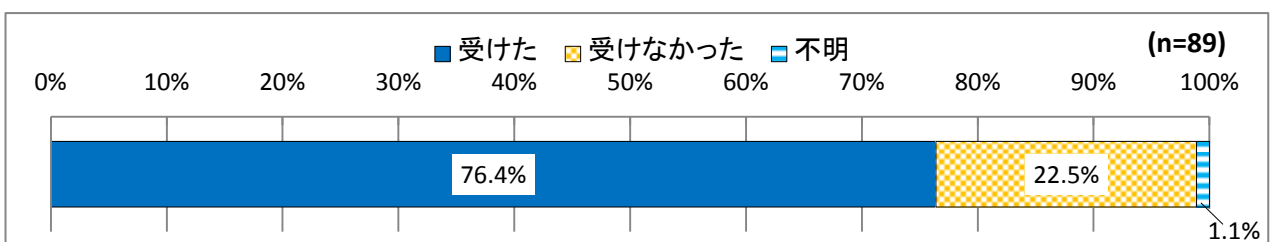
《その他の内容》

・医師(6.7%) ・祖母(3.4%) ・叔父 ・叔母 ・アルバイト先の店長

○ 不登校から中途退学した生徒の、当時の高等学校以外の相談先は、「親」が59.6%、次いで「友人」が24.7%、「兄弟姉妹」が11.2%となっている。

○ 「相談機関の職員」は、10.1%だった。

⑨ (不登校から中途退学に至った) 当時、本人(生徒)の家族から(教員は)相談を受けましたか。

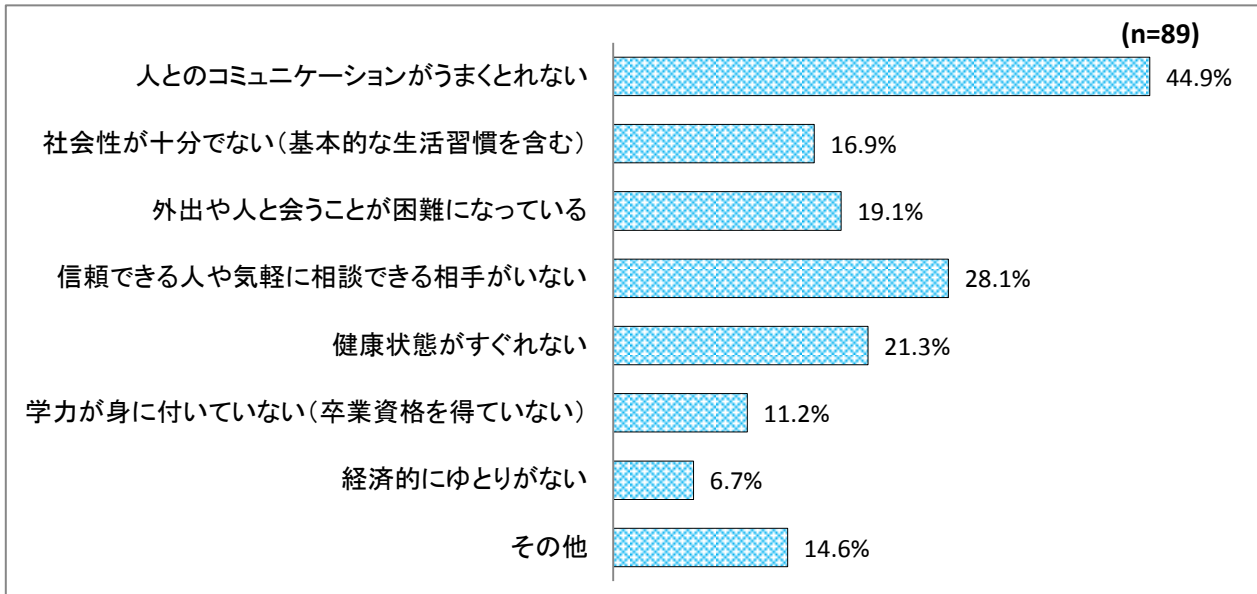


○ 当時、不登校から中途退学に至った生徒の家族から相談を「受けた」と回答した教員は、76.4%となっている。

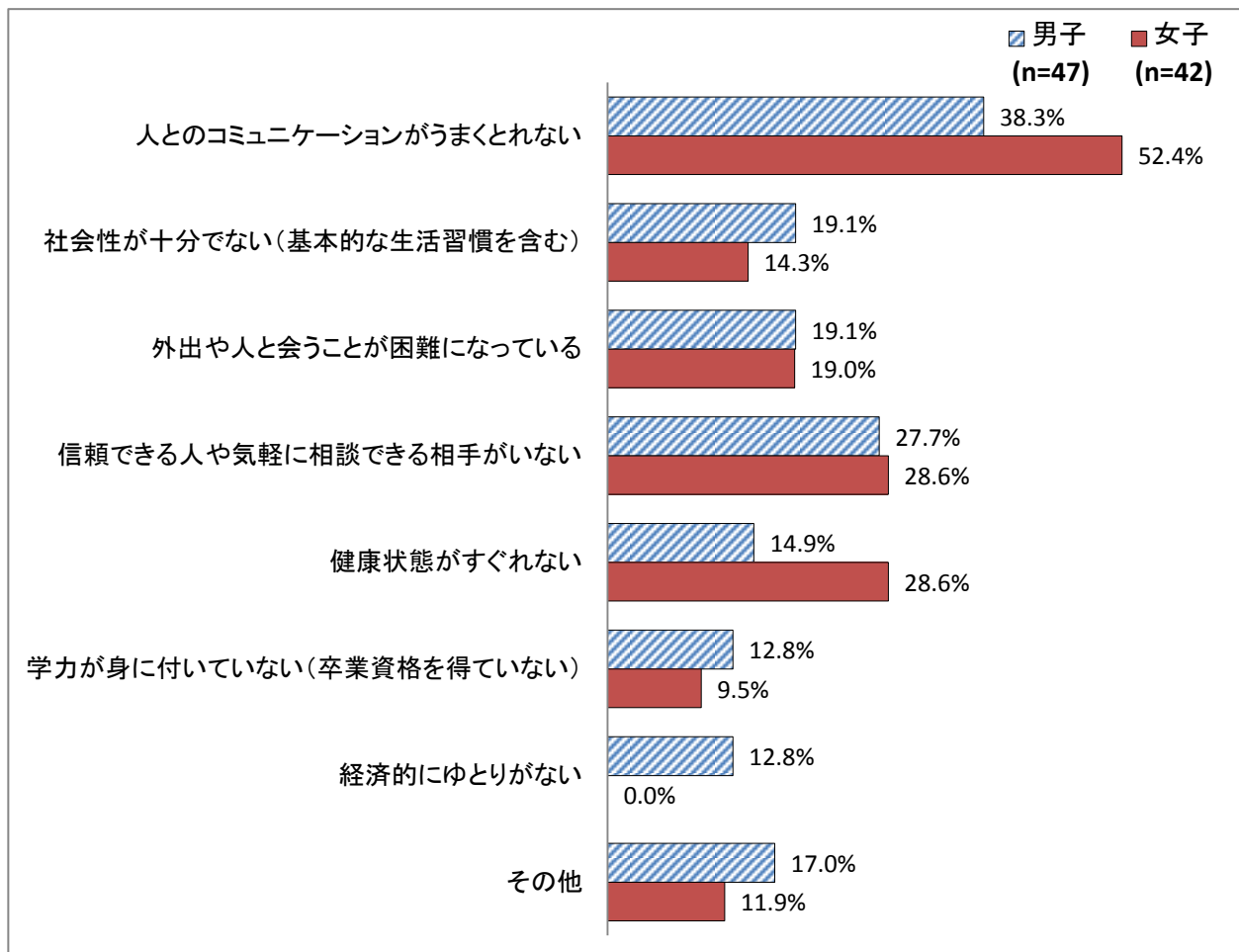
⑩ 当時、本人(生徒)の家族は、高等学校以外の誰かに相談していましたか。
〔複数回答〕

※ 設問設計が不適切のため、集計をしないこととした。

⑪ 本人(生徒)は、高校在学中、どのような悩みや不安を挙げていましたか。〔複数回答〕



【男女別】

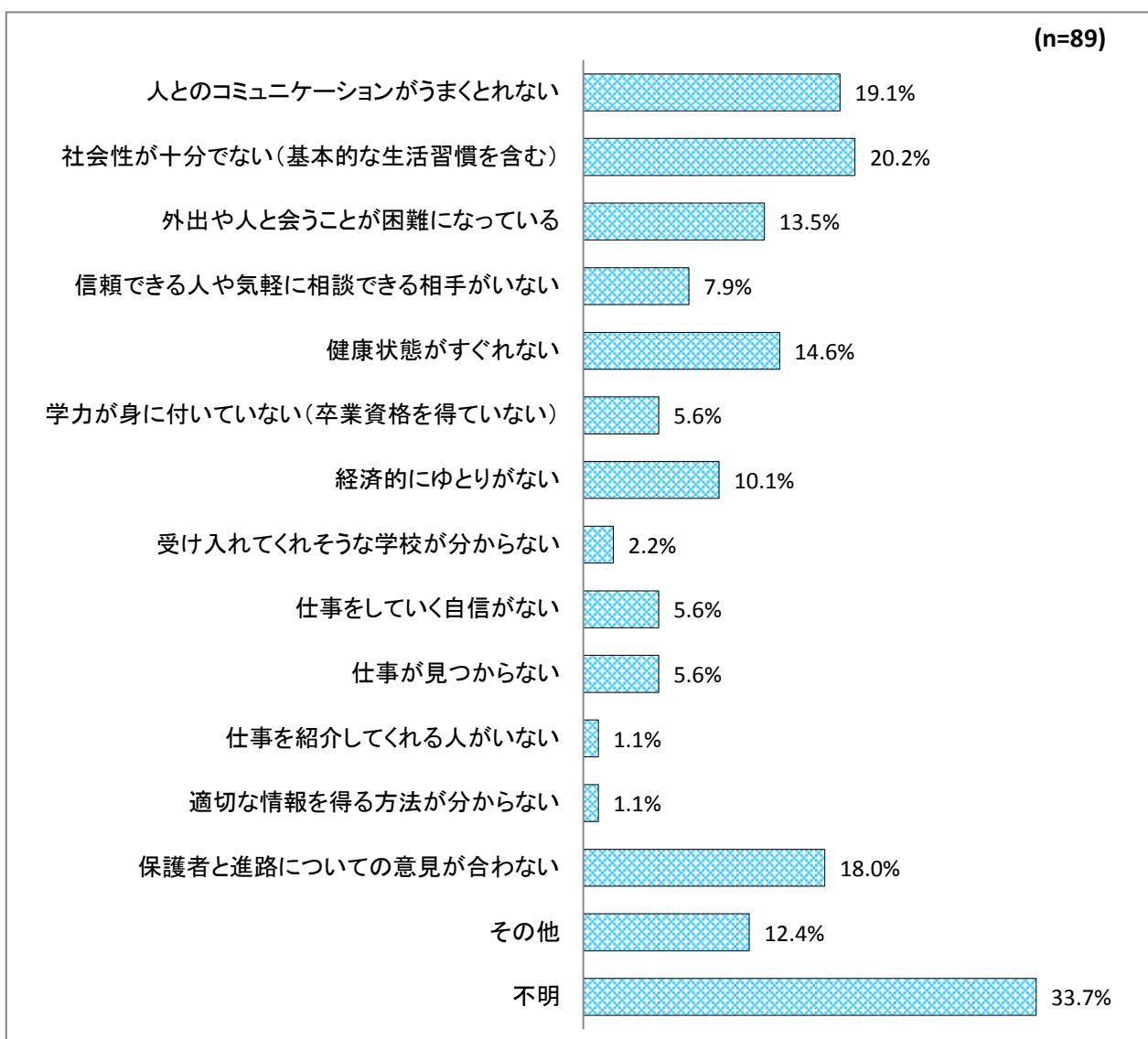


《その他の内容》	
【家庭に関する事】	
・ 通信制に移りたいが母親が拒否	・ 家庭の教育力がないこと
【学習・学校生活に関する事】	
・ 学校に対する不満(服装等への指導がうるさいなど)	・ 友人関係
・ 列車通学が負担	・ 寮生活になじめなかった
【本人に関する事】	
・ 無気力 生きていてもつまらない	・ 自分の学力について
・ 中学で不登校だったことを気にしていた	・ 精神的なこと
・ 周りに対する自分のイメージを壊したくない	・ 高い理想の自分になれない
	・ パニック障害
【その他】	
・ 悩みは特に無い	

- 不登校から中途退学に至った生徒が高校在学中に挙げていた悩みや不安
 - ①「人とのコミュニケーションがうまくとれない」……………44. 9%
 - ②「信頼できる人や気軽に相談できる相手がいない」……………28. 1%
 - ③「健康状態がすぐれない」……………21. 3%

- 男女別の悩みや不安
 - 男子 ①「人とのコミュニケーションがうまくとれない」……………38. 3%
 - 男子 ②「信頼できる人や気軽に相談できる相手がいない」……………27. 7%
 - 女子 ①「人とのコミュニケーションがうまくとれない」……………52. 4%
 - 女子 ②「信頼できる人や気軽に相談できる相手がいない」……………28. 6%
 - 女子 ③「健康状態がすぐれない」……………28. 6%

⑫ 本人(生徒)は、中退後の進路について、どのような悩みや不安を挙げていましたか。
〔複数回答可〕



《その他の内容》

【学習・学校生活に関する事】

- ・ 希望の大学に進学できるかどうか

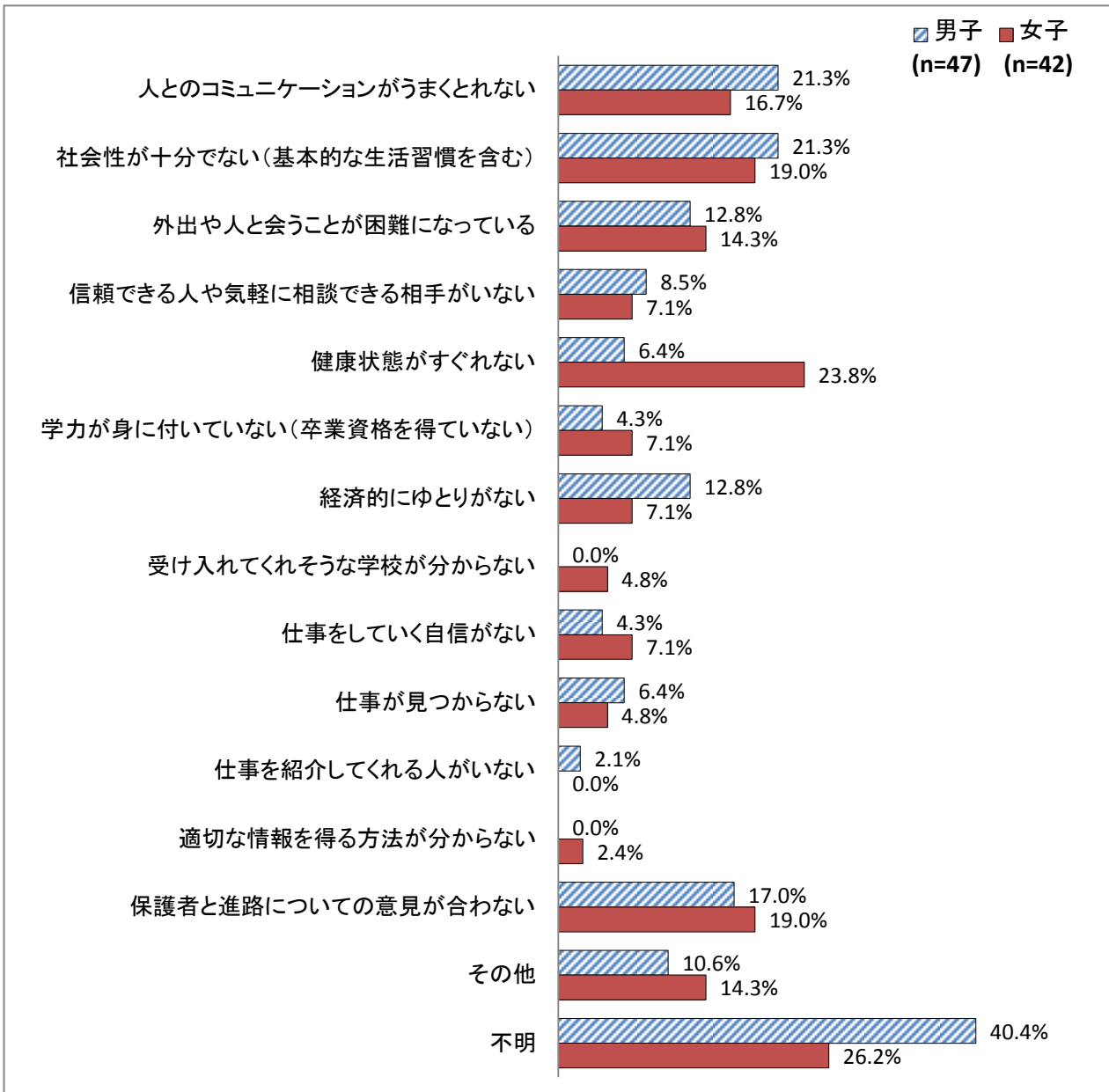
【本人に関する事】

- ・ お金を貯めたい
- ・ 無気力
- ・ 生きているのが辛い
- ・ 友人関係をうまく築いていけるか

【その他】

- ・ 悩み、不安無し
- ・ むしろ楽しみにしていた

【男女別】



○ 中退後の進路についての悩みや不安について、33.7%が「不明」と回答している。

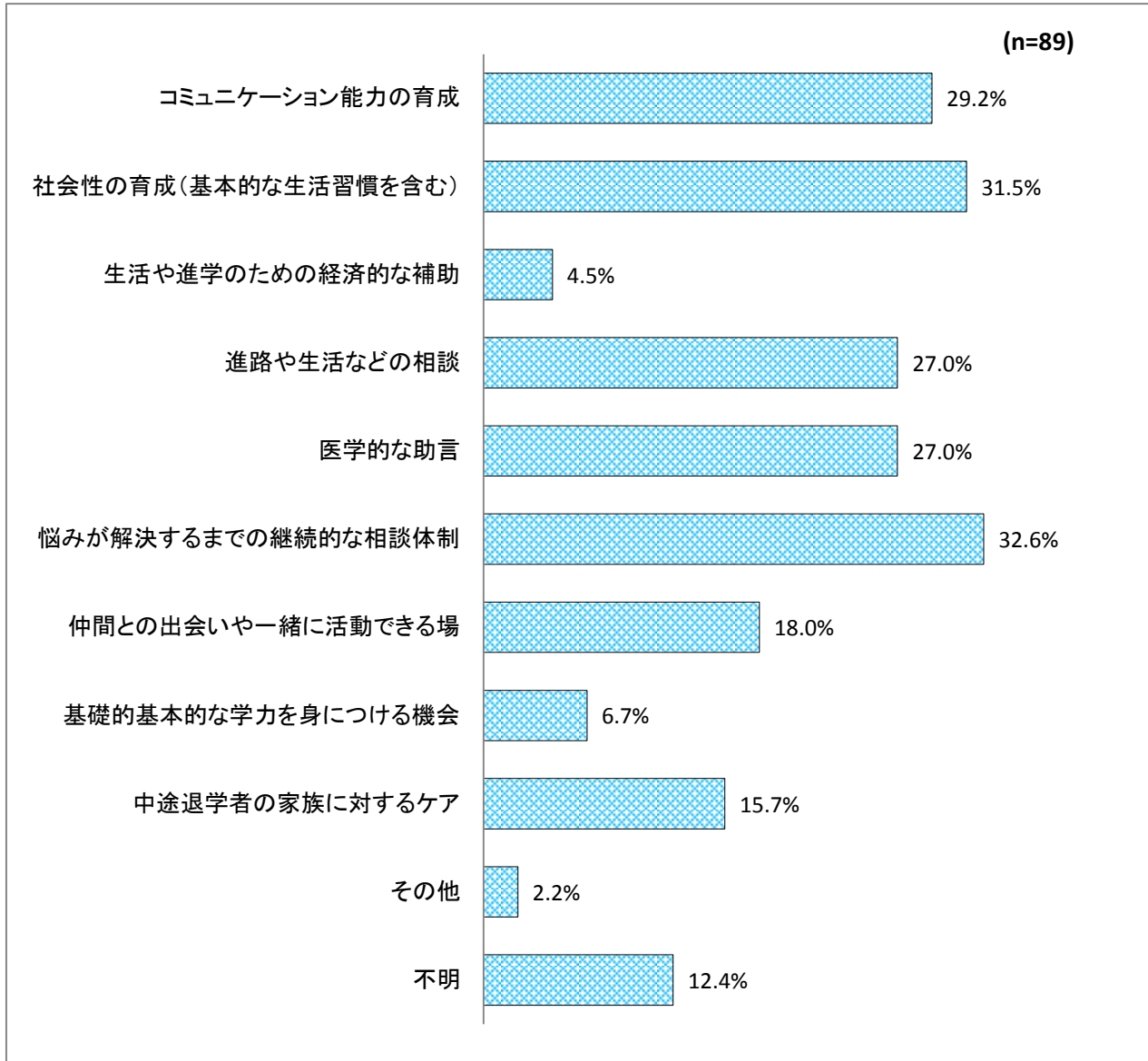
○ 中退後の進路についての悩みや不安

- ①「社会性が十分でない(基本的な生活習慣を含む)」……………20.2%
- ②「人とのコミュニケーションがうまくとれない」……………19.1%
- ③「保護者と進路についての意見が合わない」……………18.0%

○ 男女別の悩みや不安

- 男子
 - ①「人とのコミュニケーションがうまくとれない」……………21.3%
 - ①「社会性が十分でない(基本的な生活習慣を含む)」……………21.3%
 - ②「保護者と進路についての意見が合わない」……………17.0%
- 女子
 - ①「健康状態がすぐれない」……………23.8%
 - ②「社会性が十分でない(基本的な生活習慣を含む)」……………19.0%
 - ②「保護者と進路についての意見が合わない」……………19.0%

⑬ 本人(生徒)に対して、学校以外からどのような支援があればよいと(教員として)思いましたか。〔複数回答〕



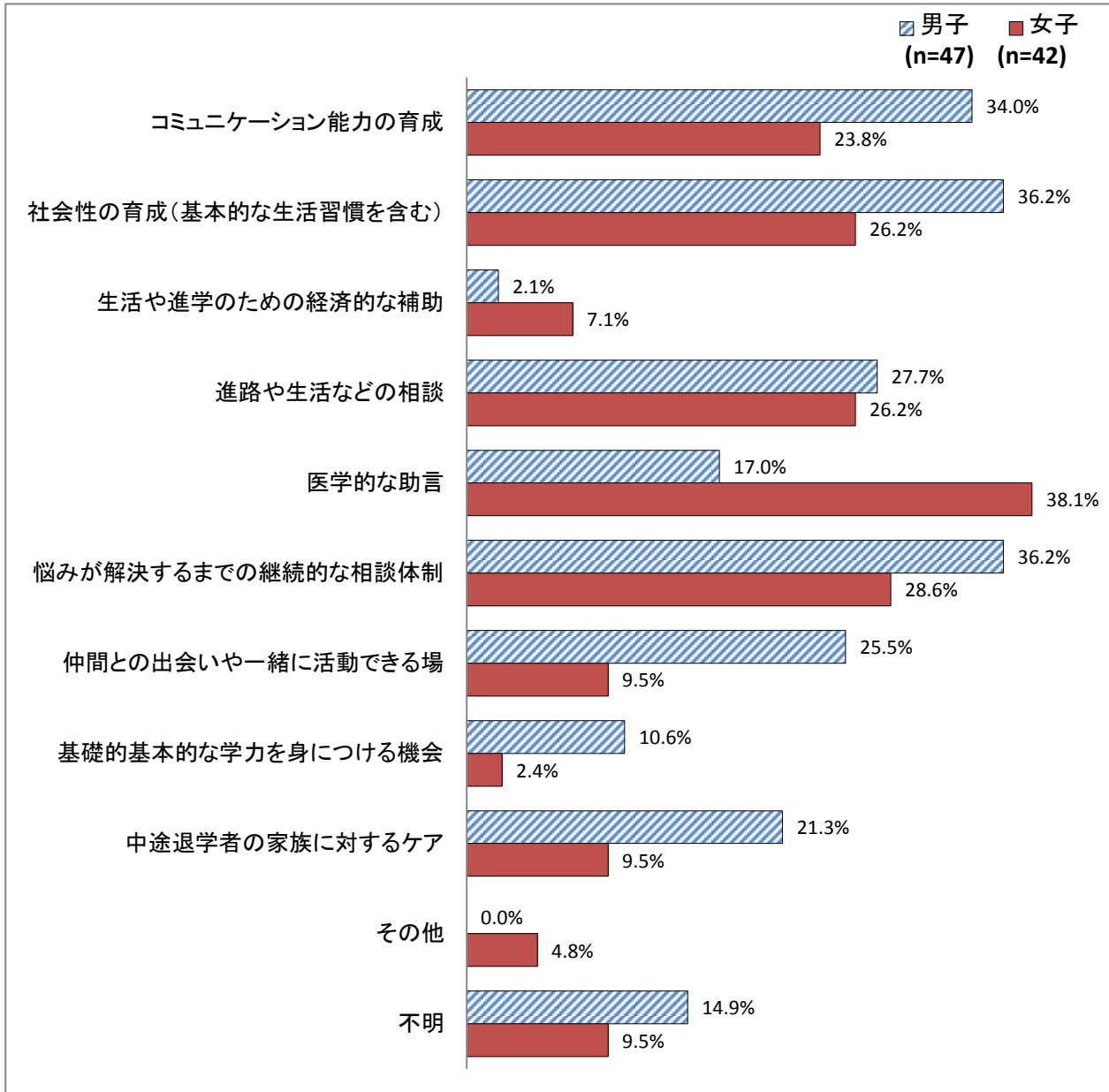
《その他の内容》

【保護者への教育・支援】

- ・ 家庭の基盤を整えること

- ・ 家庭での教育

【男女別】



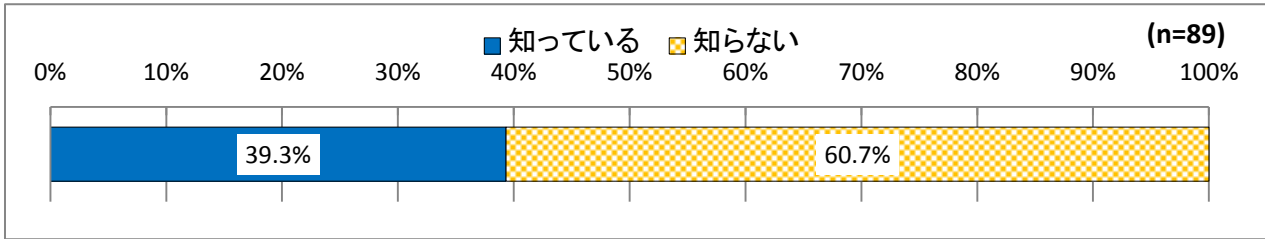
○ 高校教員としてあればよいと思う学校以外からの支援

- ① 「悩みが解決するまでの継続的な相談体制」 …… 32.6%
- ② 「社会性の育成(基本的な生活習慣を含む)」 …… 31.5%
- ③ 「コミュニケーション能力の育成」 …… 29.2%
- ④ 「進路や生活などの相談」 …… 27.0%
- ④ 「医学的な助言」 …… 27.0%

○ 男女別のあればよいと思う学校以外からの支援

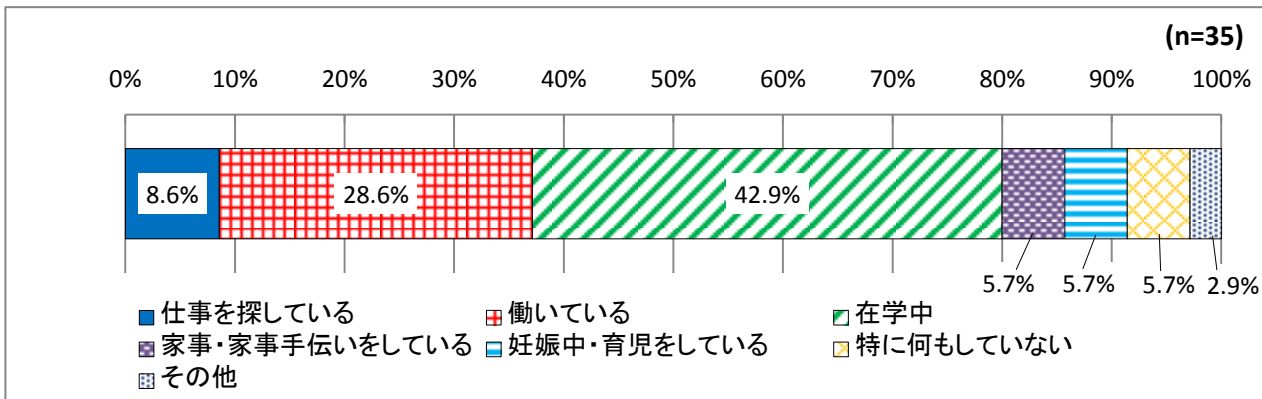
- 男子
 - ① 「社会性の育成(基本的な生活習慣を含む)」 …… 36.2%
 - ① 「悩みが解決するまでの継続的な相談体制」 …… 36.2%
 - ③ 「コミュニケーション能力の育成」 …… 34.0%
 - ④ 「進路や生活などの相談」 …… 27.7%
- 女子
 - ① 「医学的な助言」 …… 38.1%
 - ② 「悩みが解決するまでの継続的な相談体制」 …… 28.6%
 - ③ 「社会性の育成(基本的な生活習慣を含む)」 …… 26.2%
 - ③ 「進路や生活などの相談」 …… 26.2%

⑭ 本人(生徒)の現在の状況を知っていますか。

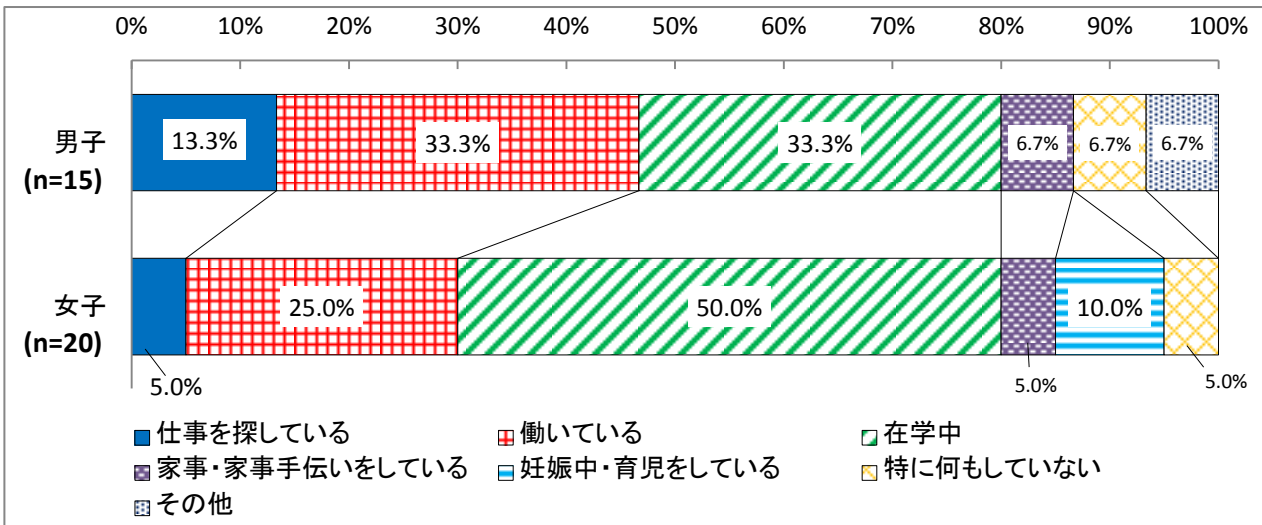


○ 不登校から中途退学に至った生徒の現在の状況について、指導した高校教員は、39.3%の生徒について「知っている」と回答している。

⑮ 本人(生徒)の現在の状況を教えてください。(※⑭で「知っている」と回答したものについて)



【男女別】



《その他の内容》

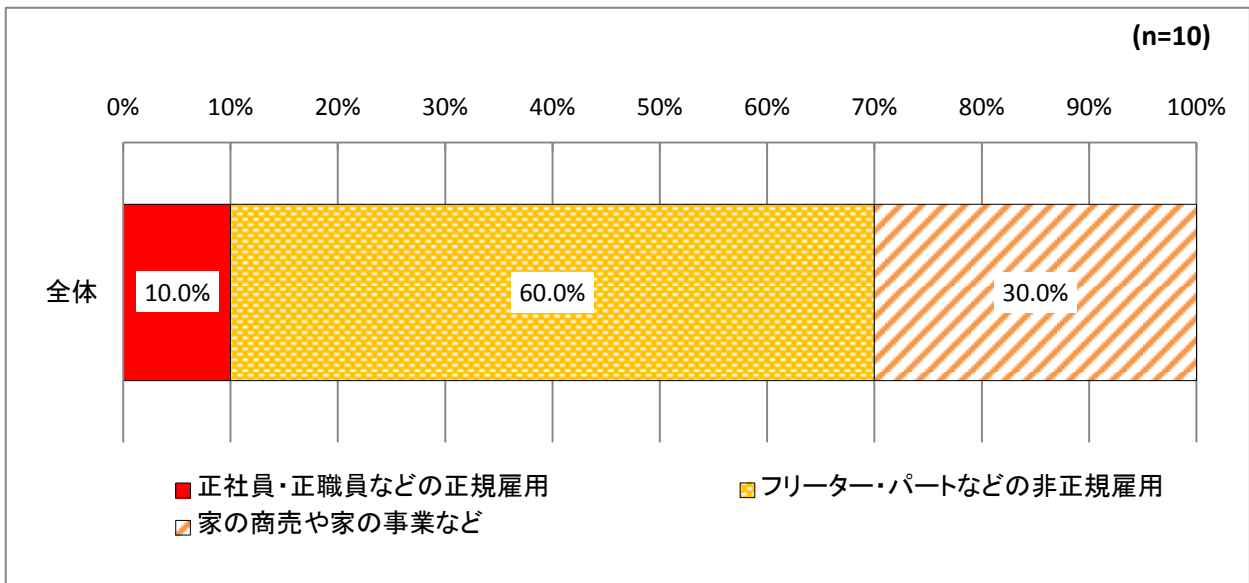
【学業】 ・ 進学を目指し浪人中(予備校)

○ 不登校から中途退学に至った生徒のうち、高校教員が把握している現在の状況については、「在学中」が42.9%、次いで「働いている」が28.6%となっている。

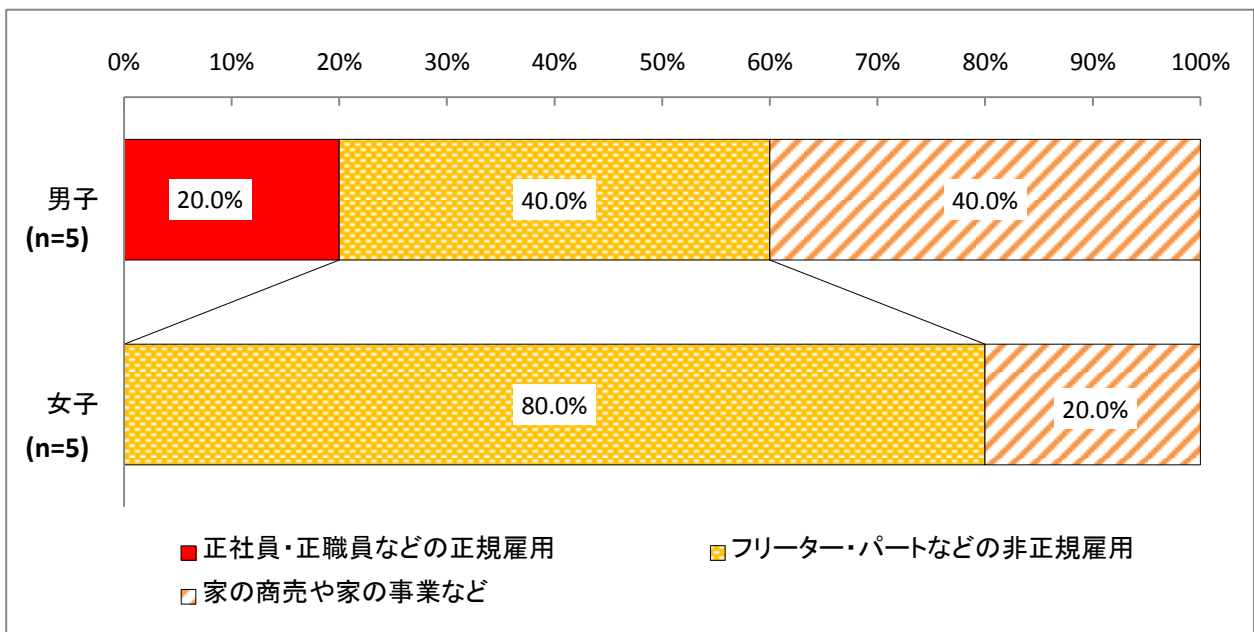
○ 男女別の現在の状況

- 男子 ①「働いている」……………33.3%
- 男子 ①「在学中」……………33.3%
- 女子 ①「在学中」……………50.0%
- 女子 ②「働いている」……………25.0%

⑩ ⑮で「働いている」と回答したものについて
本人(生徒)の現在働いている内容を教えてください。



【男女別】



○ 不登校から中途退学に至った生徒のうち、高校教員が把握している「働いている内容」

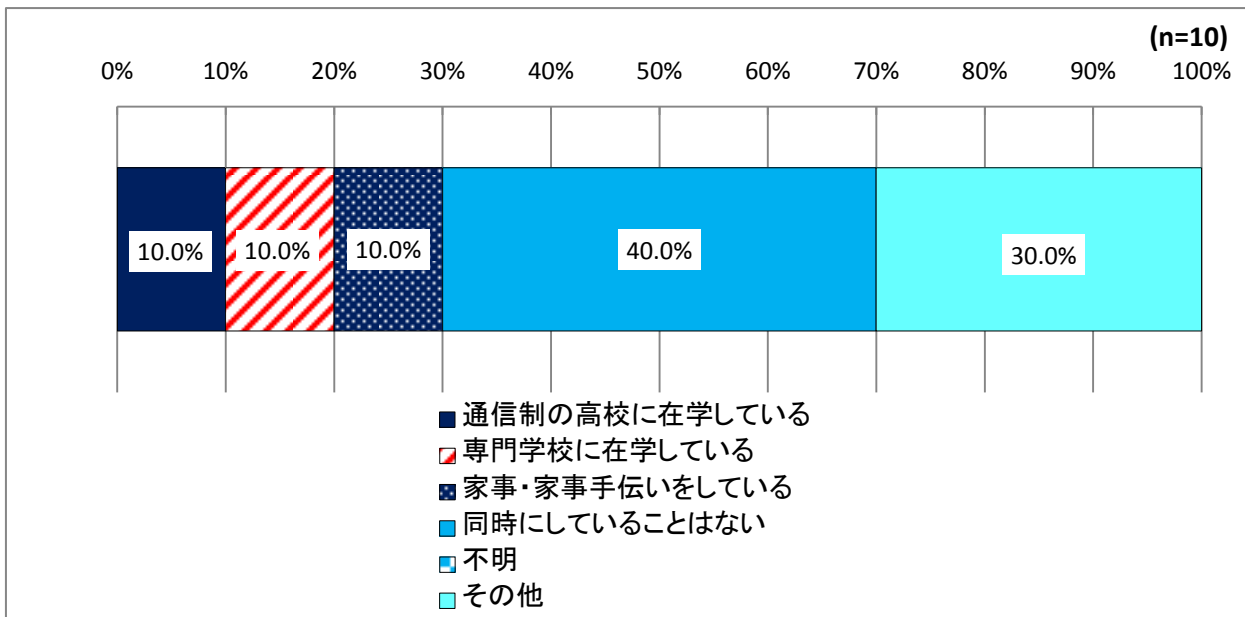
- ① 「フリーター・パートなどの非正規雇用」…………… 60.0%
- ② 「家の商売や事業など」…………… 30.0%
- ③ 「正社員・正職員などの正規雇用」…………… 10.0%

○ 男女別の「働いている内容」

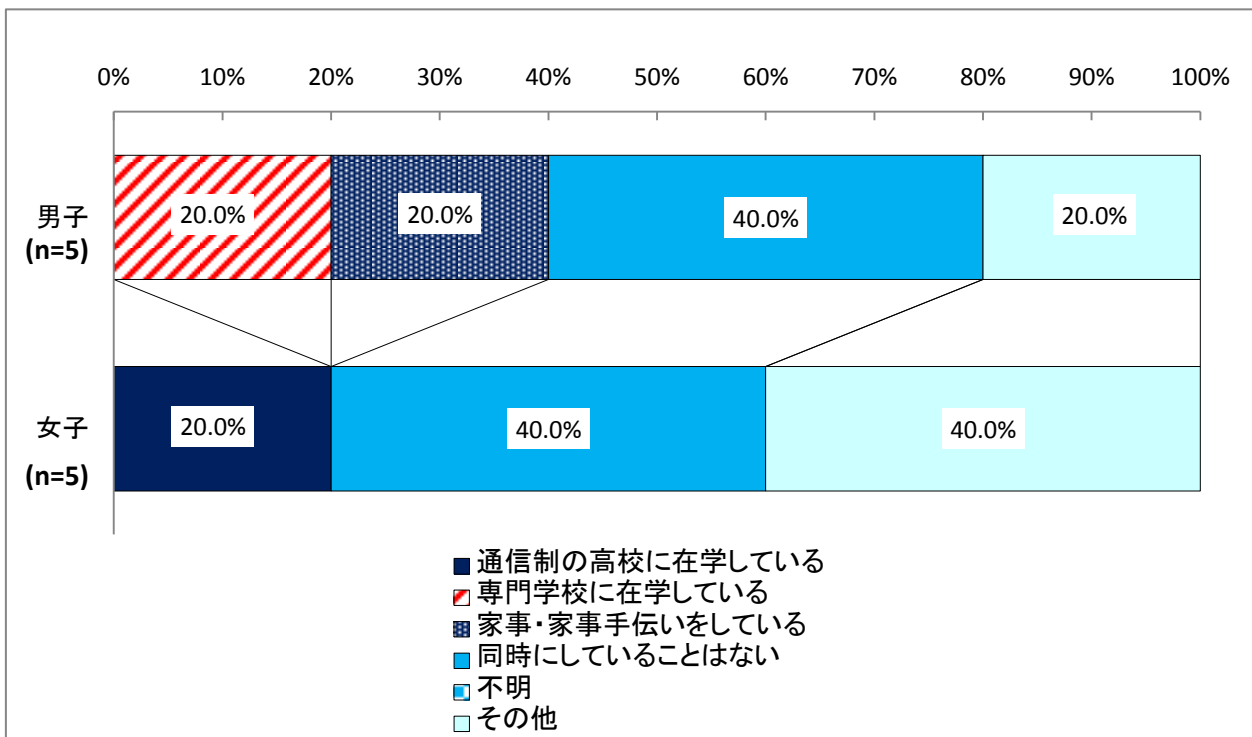
- 男子 ① 「フリーター・パートなどの非正規雇用」…………… 40.0%
- 男子 ② 「家の商売や事業など」…………… 40.0%
- 女子 ① 「フリーター・パートなどの非正規雇用」…………… 80.0%
- 女子 ② 「家の商売や事業など」…………… 20.0%

⑰ ⑮で「働いている」と回答したものについて

現在、本人(生徒)が同時に行っていることを教えてください。



【男女別】

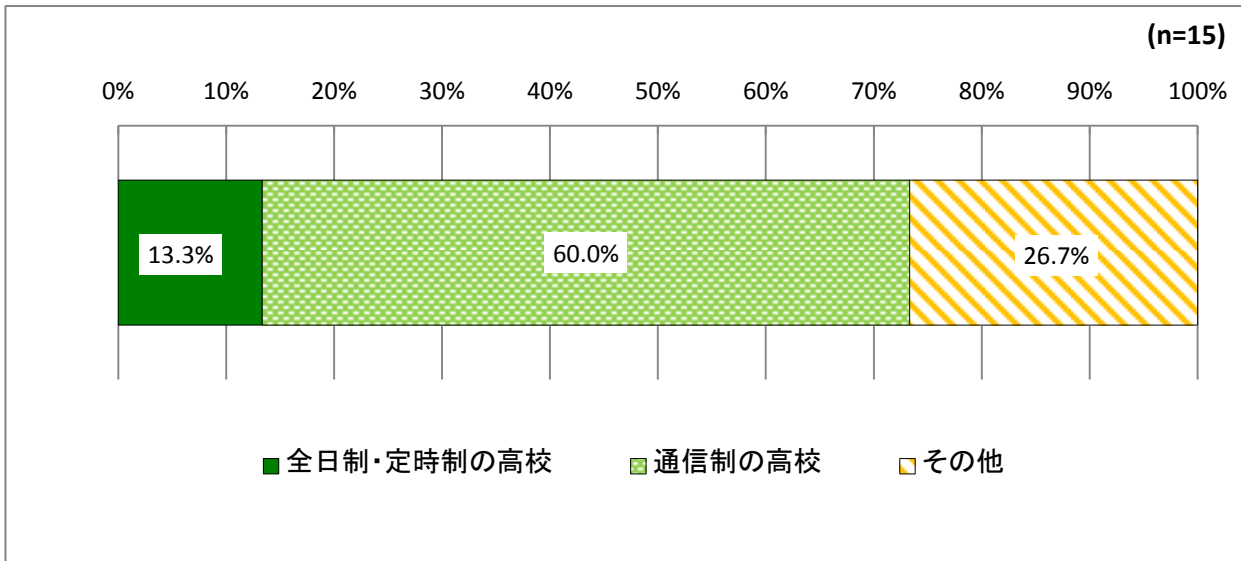


《その他の内容》

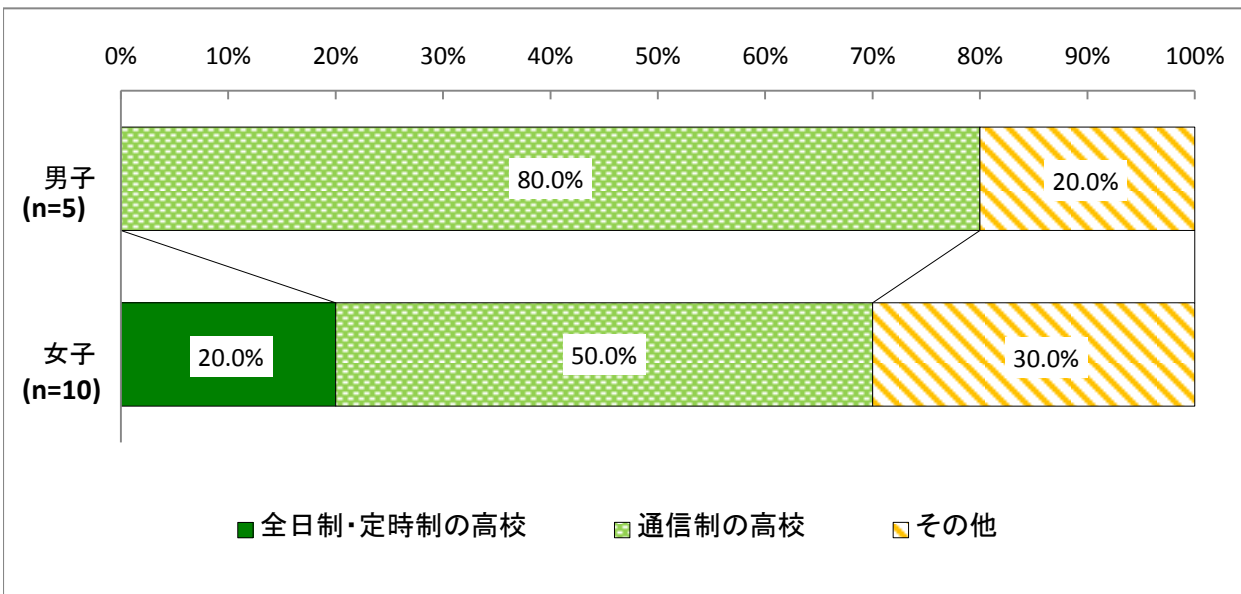
- ・ 通信制の高校を卒業した
- ・ 通信制の編入を目指し勉強
- ・ 音楽活動

○ 不登校から中途退学に至った生徒で、高校教員が把握している現在働いている者のうち、「同時にしていることはない」が40.0%となっている。
男女別に見ても、男女とも40.0%ずつとなっている。

⑩ ⑮で「在学中」と回答したものについて
本人(生徒)が在籍している校種等を教えてください。



【男女別】

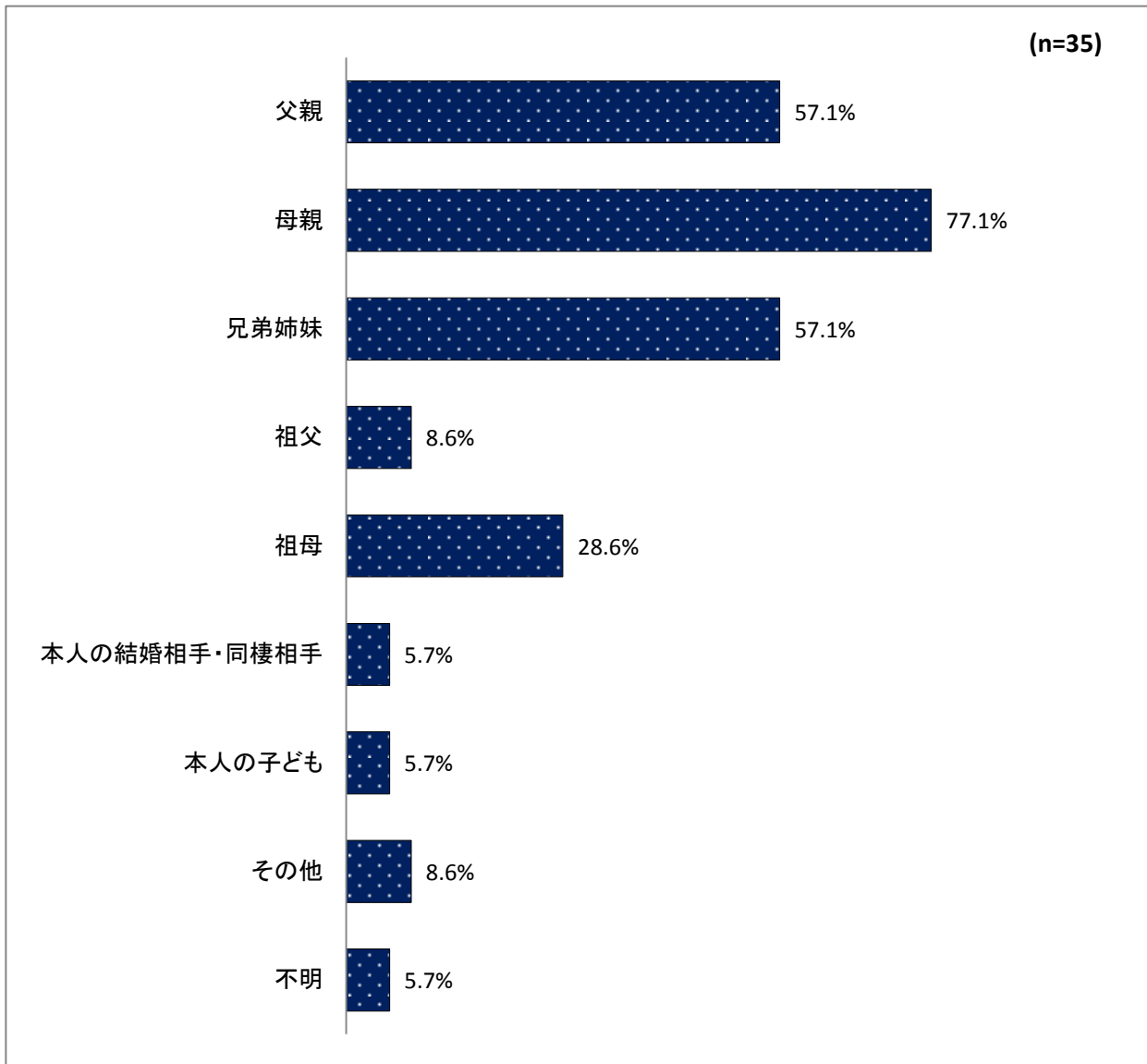


《その他の内容》
・大学 ・留学

- 不登校から中途退学に至った生徒うち、高校教員が把握している「在籍している校種」
 - ①「通信制」……………60.0%
 - ②「全日制・定時制」……………13.3%

- 男女別の「在籍している校種」
 - 男子
 - ①「通信制」……………80.0%
 - 女子
 - ①「通信制」……………50.0%
 - ②「全日制・定時制」……………20.0%

⑱ 現在、本人(生徒)が同居している家族の内訳を教えてください。(複数回答)



《その他の内容》

・叔母 ・ホームステイ

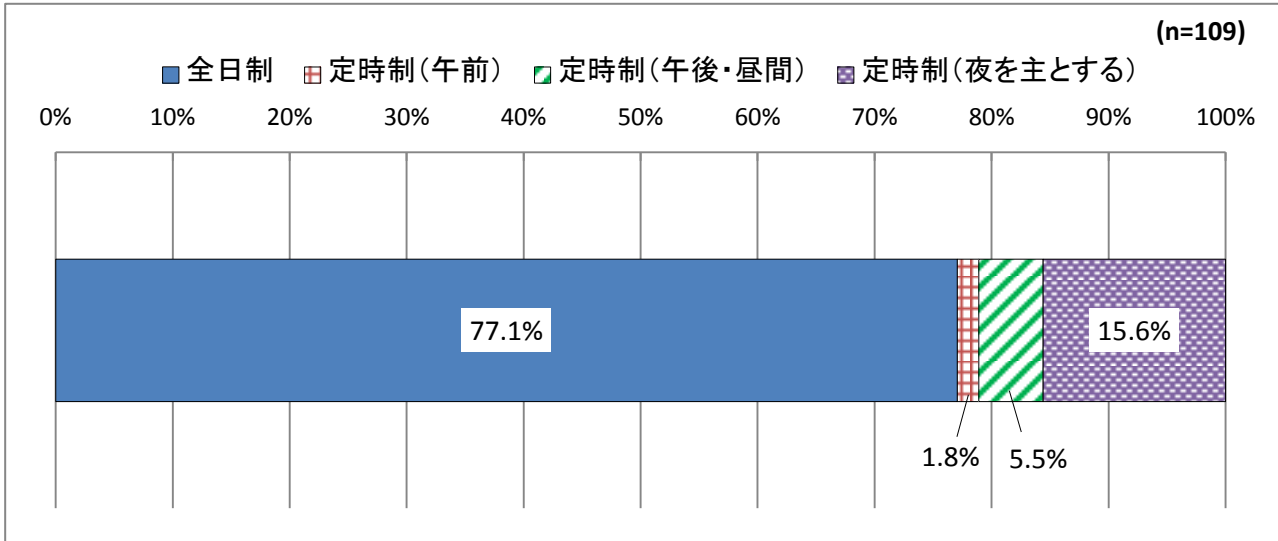
○ 不登校から中途退学に至った生徒のうち、高校教員が把握している同居している家族の様態

- ① 「母親」 77.1%
- ② 「父親」 57.1%
- ② 「兄弟姉妹」 57.1%

(3)不登校生徒に関する調査

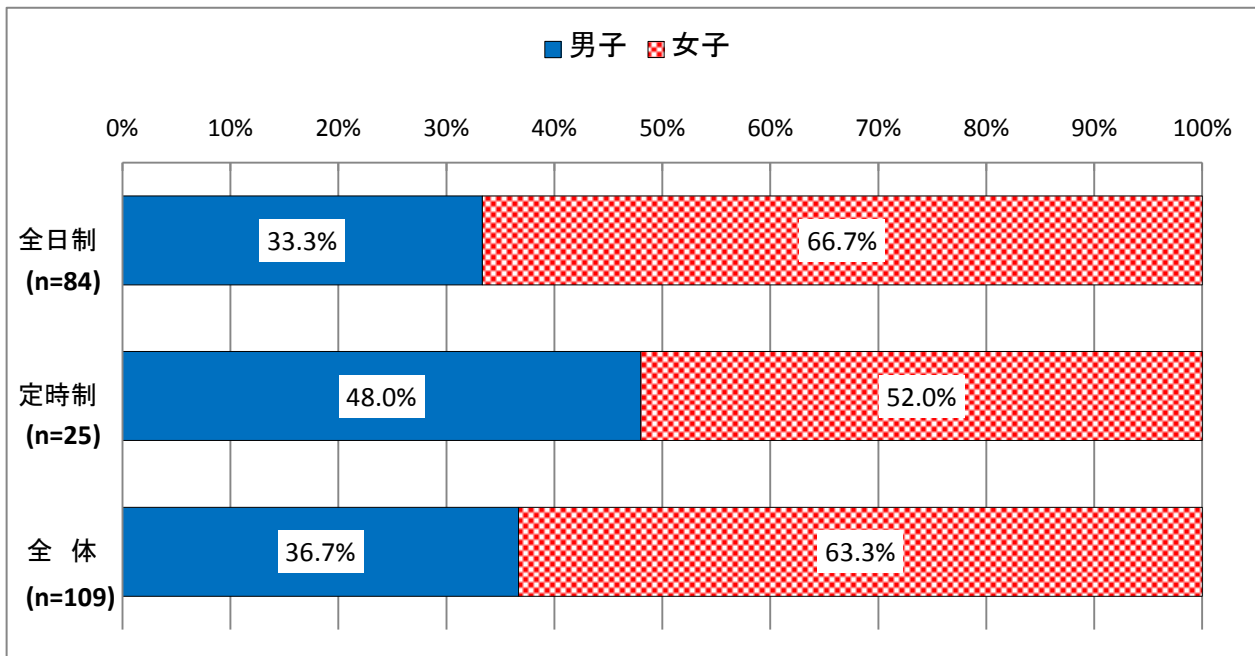
注)選択肢を一部省略しています。

① 本人(生徒)の課程を教えてください。



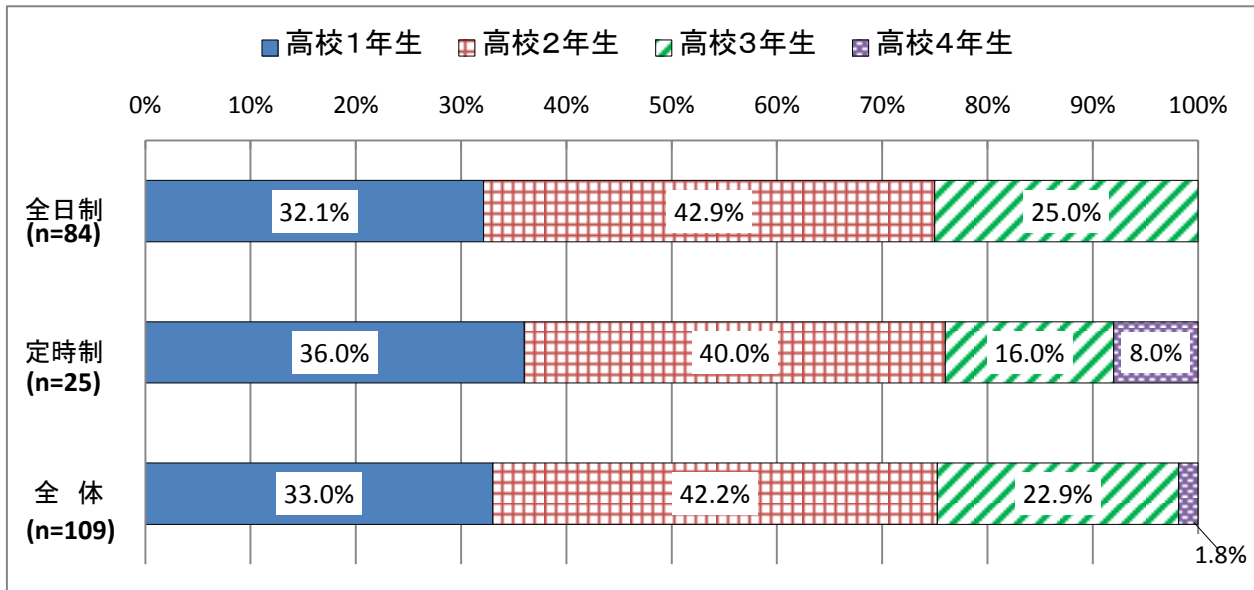
- 不登校生徒の在籍していた課程は、「全日制」が全体の77.1%となっている。次いで「定時制(夜を主とする)」が全体の15.6%となっている。

② 本人(生徒)の性別を教えてください。



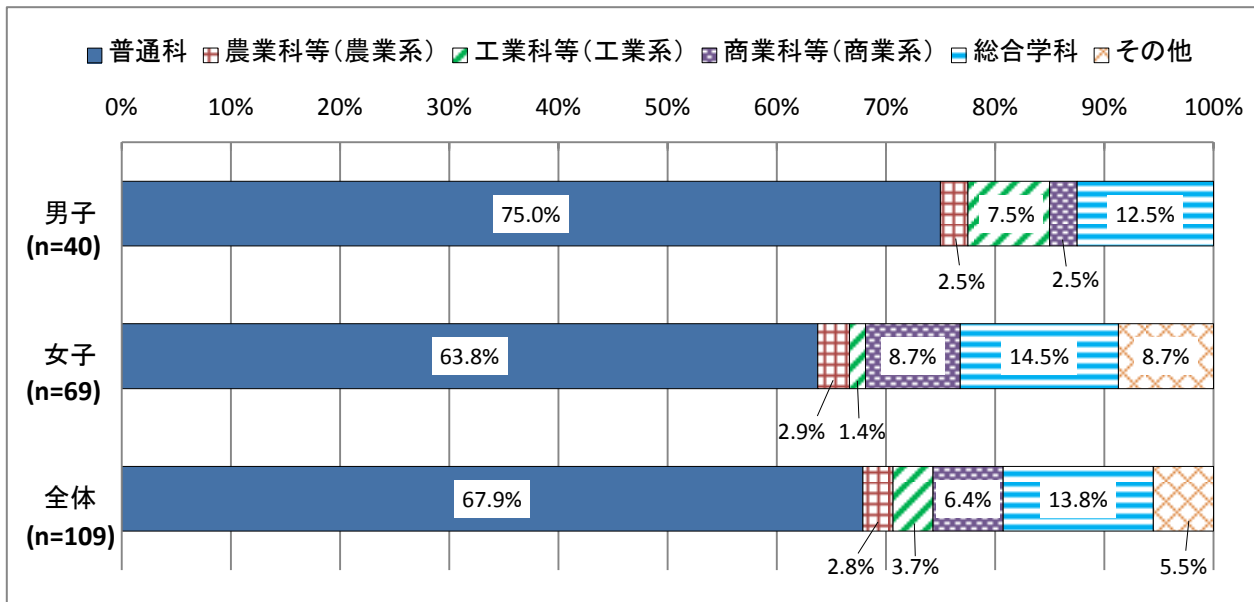
- 不登校生徒の性別は、「男子」は全体の36.7%、「女子」は63.3%となっている。
- 全日制・定時制別に見ると、全日制については「男子」は33.3%、「女子」は66.7%となっている。定時制については、「男子」は48%、「女子」は52%となっている。

③ 本人(生徒)の学年を教えてください。



- 不登校生徒の学年は、「高校1年生」が全体の33.0%、「高校2年生」が42.2%、「高校3年生」が22.9%となっている。
- 「高校1年生」と「高校2年生」の合計では、不登校者は全体の75.2%となっている。

④ 本人(生徒)の学科を教えてください。

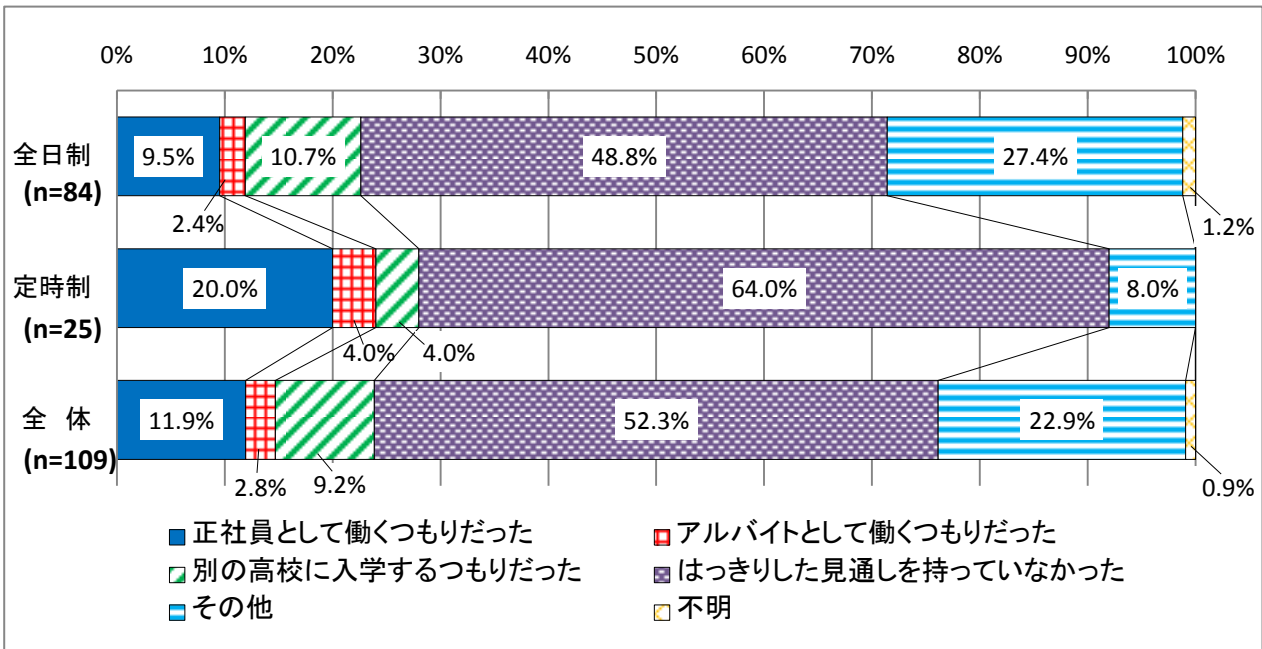


《その他の内容》

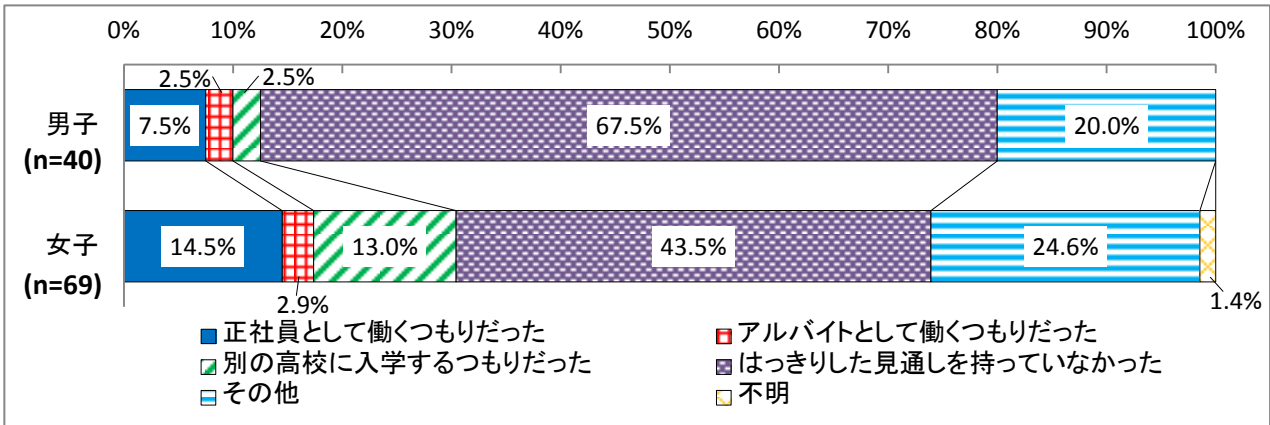
- ・国際経済科
- ・理数科
- ・外国語科
- ・看護科

- 不登校生徒の在籍していた学科は、「普通科」が全体の67.9%となっている。次いで「総合学科」の13.8%となっている。

⑤ (不登校していた) 当時、本人(生徒)は、どのような将来の見通しをもっていましたか。



【男女別】



《その他の内容》

【進学・入学・卒業】

・進学(大学進学(12%)、専門学校進学) ・再入学 ・高卒認定試験

【夢・就職】

・医療系に興味・関心があった ・美容師 ・声優
 ・農業に従事したい ・歌手

【その他】

・将来について考えることができない ・人のために何かするという感覚が持てない

○ 不登校生徒の将来の見通しについては、「はっきりした見通しを持っていなかった」が全体の52.3%となっている。

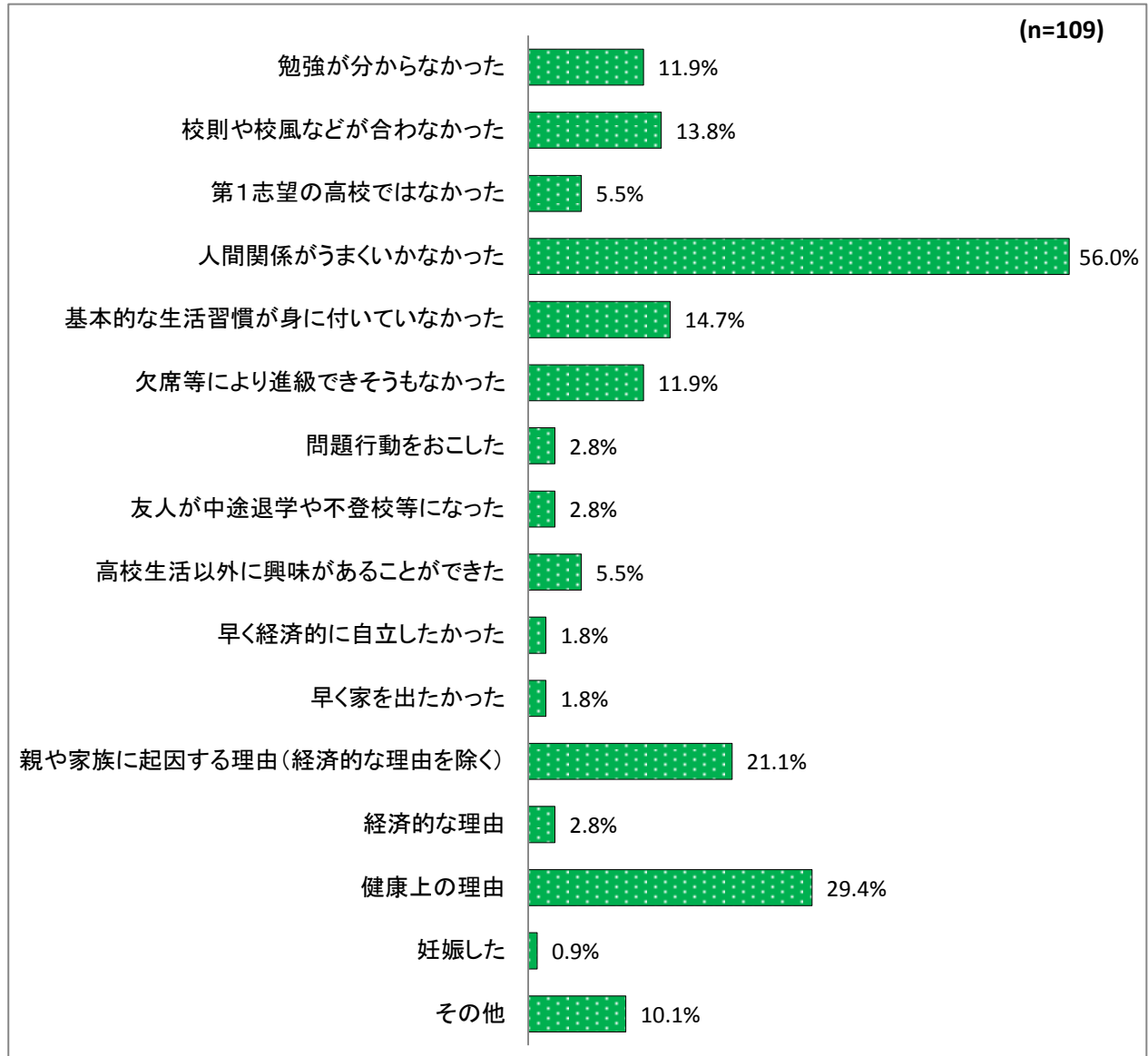
○ 全日制・定時制別の将来の見通し

	全日制	定時制
「はっきりした見通しを持っていなかった」	① 48.8%	① 64.0%
「別の高校に入学するつもりだった」	② 10.7%	(4.0%)
「正社員として働くつもりだった」	(9.5%)	② 20.0%

○ 男女別の将来の見通し

	男子	女子
① 「はっきりした見通しを持っていなかった」	67.5%	43.5%
② 「正社員として働くつもりだった」	7.5%	14.5%

⑥ 本人(生徒)が困難を抱えるきっかけになったと考えられること〔複数回答〕



《その他の内容》

【家庭環境】

- ・母親の逝去

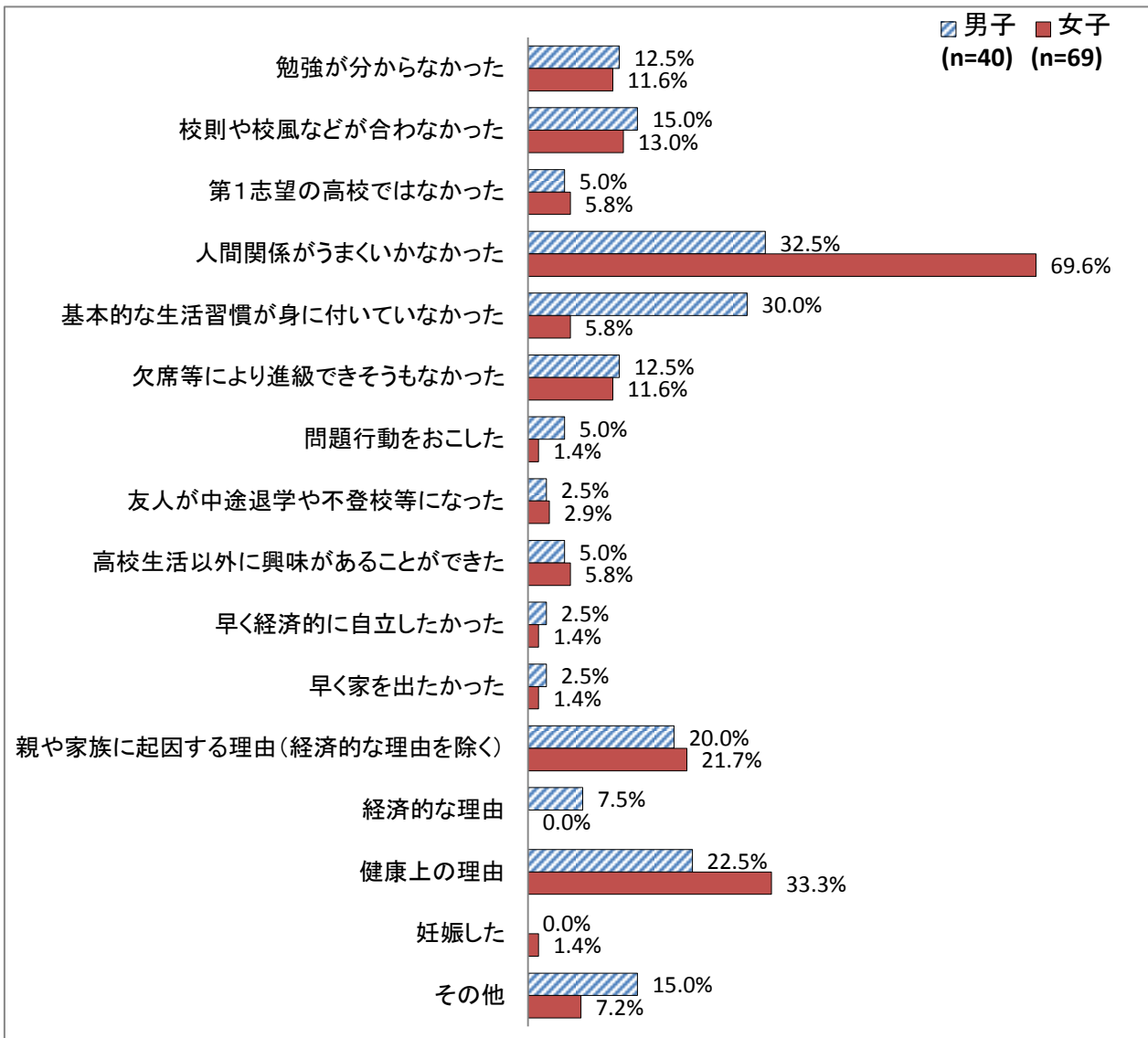
【学校生活に起因するもの】

- ・教師の発言でプライドが傷ついた(うつ傾向)
- ・担任教師と合わなかった

【本人に起因するもの】

- ・集団生活自体がストレス
- ・自分勝手な考え方・言動
- ・以前(小2・中学)からの不登校による不安感
- ・やる気が起きなかった
- ・自閉症
- ・精神疾患
- ・うつ状態

【男女別】



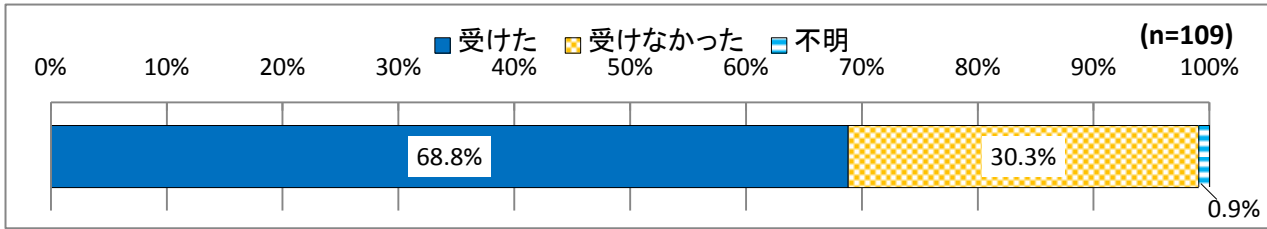
○ 不登校生徒が、困難を抱えるきっかけになったと考えられること

- ①「人間関係がうまくいかなかった」…………… 56. 0%
- ②「健康上の理由」…………… 29. 4%
- ③「親や家族に起因する理由(経済的な理由を除く)」…………… 21. 1%

○ 男女別の困難を抱えるきっかけ

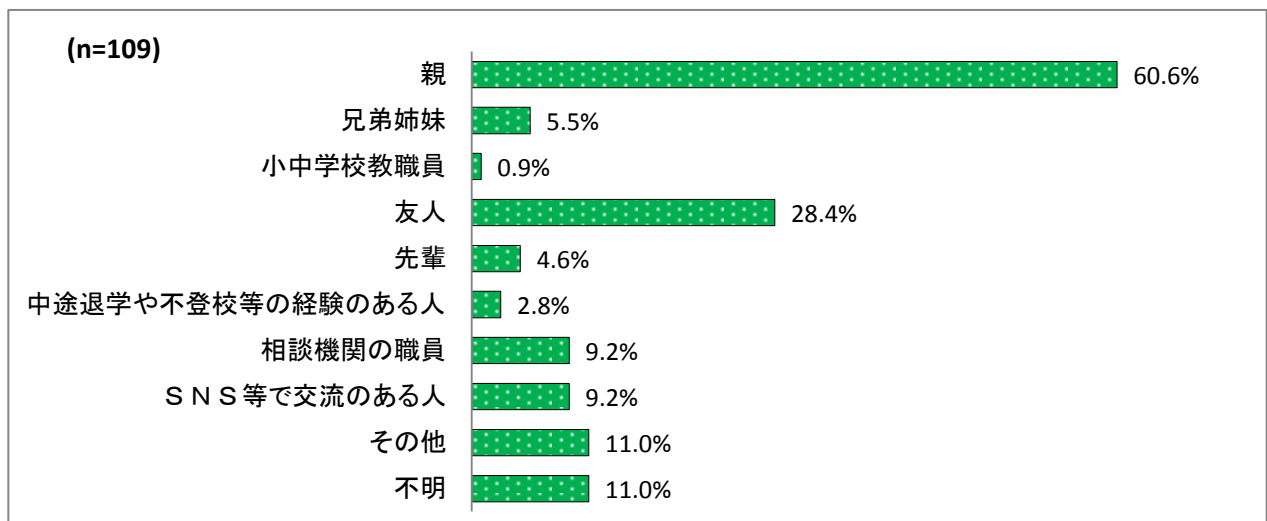
- 男子 ①「人間関係がうまくいかなかった」…………… 32. 5%
- 男子 ②「基本的な生活習慣が身に付いていなかった」…………… 30. 0%
- 男子 ③「健康上の理由」…………… 22. 5%
- 女子 ①「人間関係がうまくいかなかった」…………… 69. 6%
- 女子 ②「健康上の理由」…………… 33. 3%
- 女子 ③「親や家族に起因する理由(経済的な理由を除く)」…………… 21. 7%

⑦ (不登校していた)当時、本人(生徒)から(教員は)相談を受けましたか。



○ 当時、不登校生徒から相談を「受けた」と回答した教員は、68.8%だった。

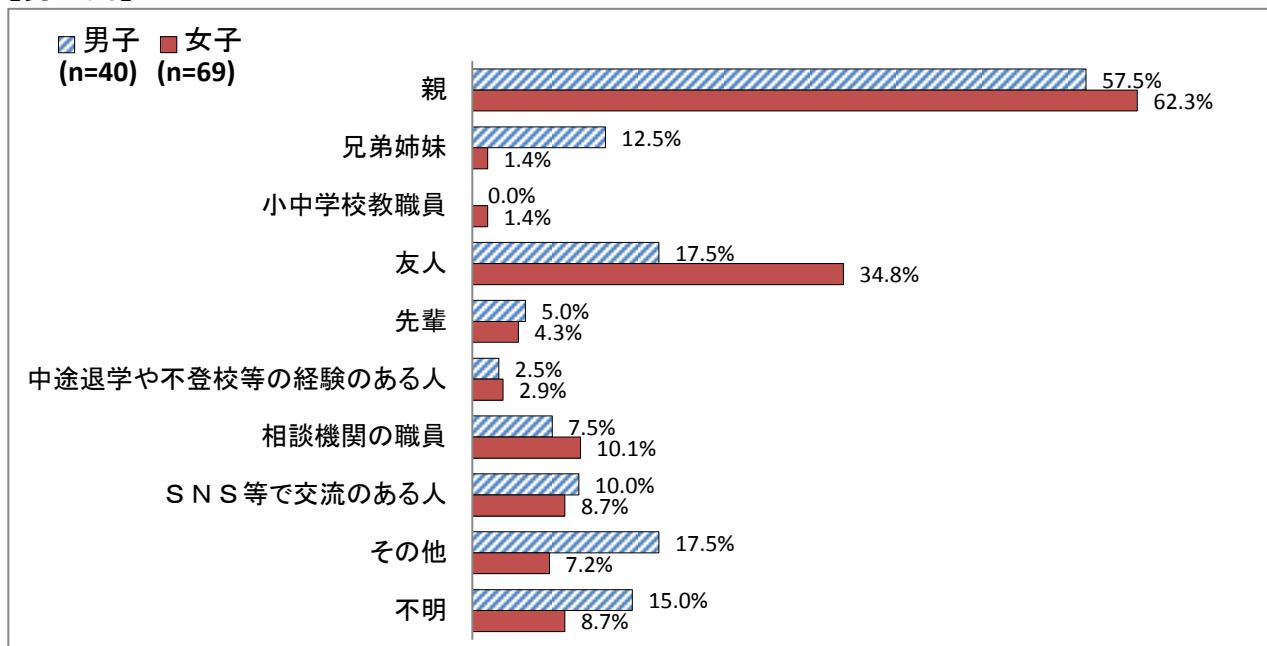
⑧ (不登校していた)当時、本人(生徒)は、高等学校以外の誰かに相談していましたか。〔複数回答〕



《その他の内容》

・医師(7.4%) ・叔父 ・養護教諭 ・ひとりで悩んでいた ・相談していない

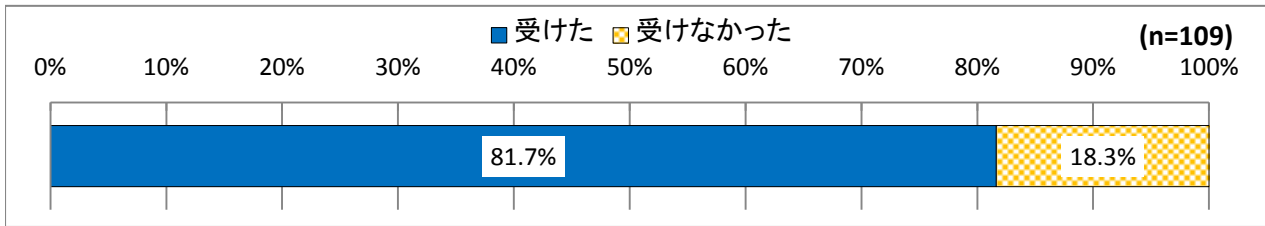
【男女別】



○ 不登校していた当時の高等学校以外の相談先は、「親」が60.6%、次いで「友人」が28.4%となっている。女子は、「友人」が34.8%となっている。

○ 「相談機関の職員」は、9.2%だった。

⑨ (不登校していた)当時、本人(生徒)の家族から(教員は)相談を受けましたか。

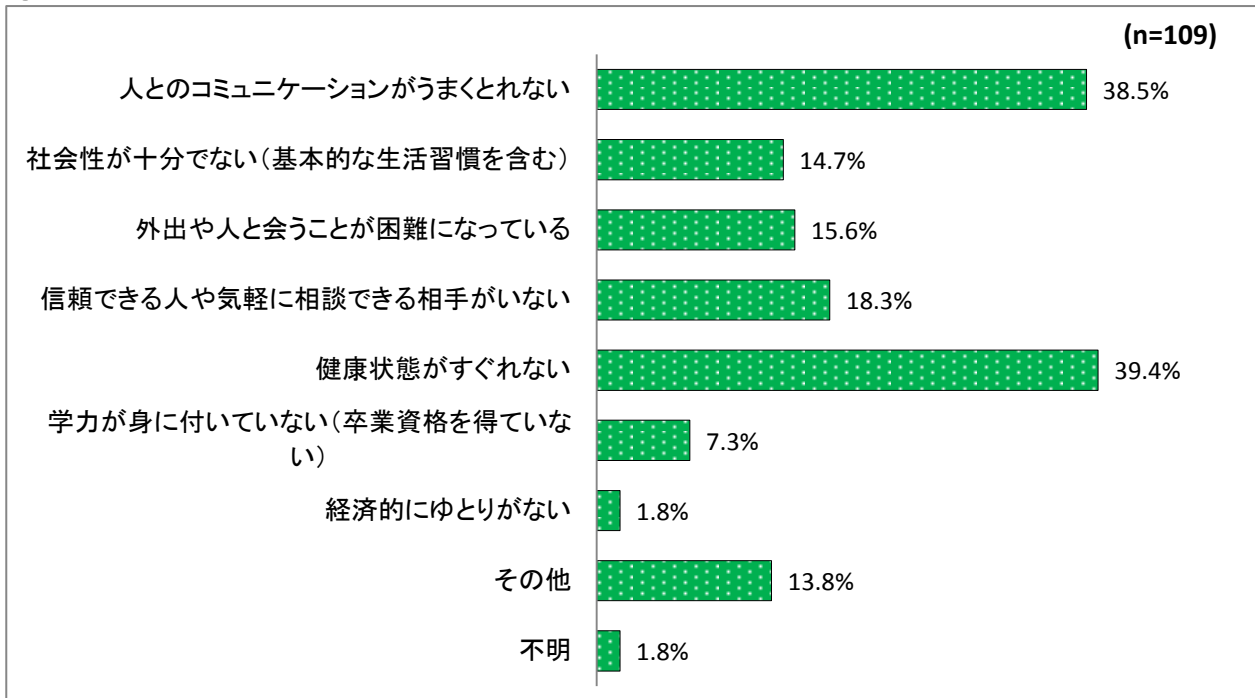


○ 当時、不登校生徒の家族から相談を「受けた」と回答した教員は、81.7%だった。

⑩ (不登校していた)当時、本人(生徒)の家族は、高等学校以外の誰かに相談していましたか。〔複数回答〕

※ 設問設計が不適切のため、集計をしないこととした。

⑪ 本人(生徒)は、高校在学中、どのような悩みや不安を挙げていましたか。〔複数回答〕



《その他の内容》

【家庭環境】

- ・家を出たいが親が許してくれない
- ・家族との関係

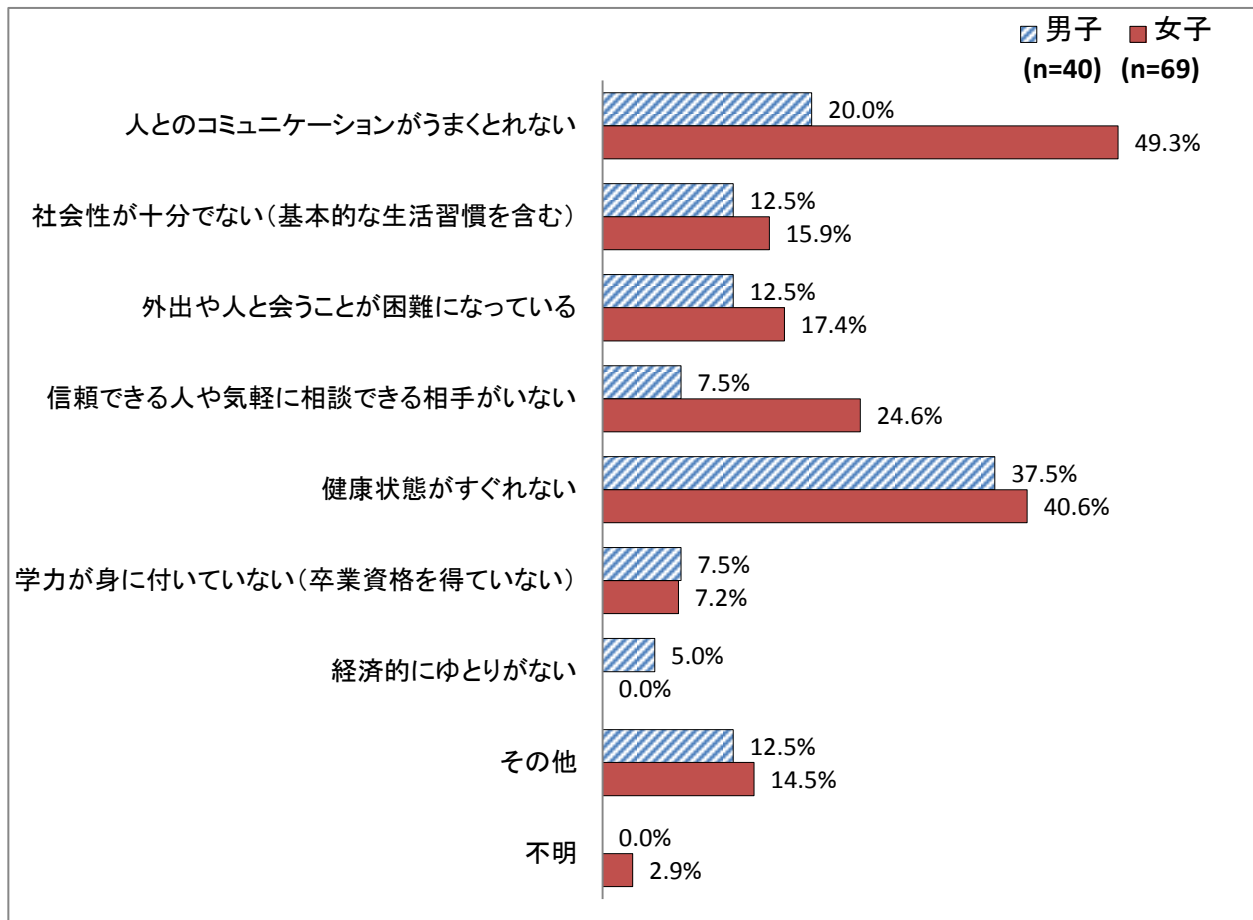
【学習・学校生活に関する事】

- ・担任や学校の指導が合わない

【本人に関する事】

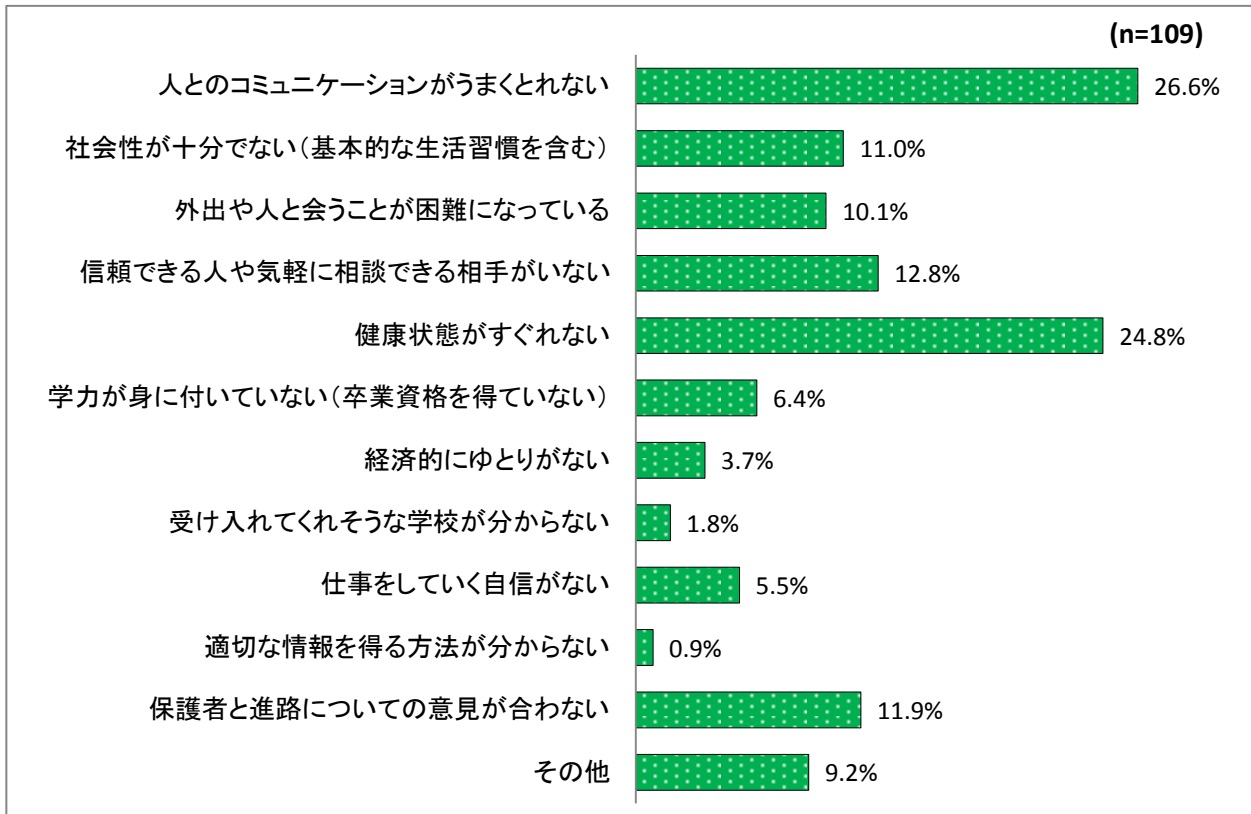
- ・自分のことを悪く言ったり、笑っていたりするような気がして教室に行けない
- ・大人数が苦手
- ・卒業したいが学校へ行けない
- ・人が怖い、嫌い、集団が苦手
- ・どのような仕事に就いたらよいかわからない

【男女別】



- 不登校生徒が高校在学中に挙げていた悩みや不安について
 - ①「健康状態がすぐれない」…………… 39. 4%
 - ②「人とのコミュニケーションがうまくとれない」…………… 38. 5%
- 男女別の悩みや不安
 - 男子
 - ①「健康状態がすぐれない」…………… 37. 5%
 - ②「人とのコミュニケーションがうまくとれない」…………… 20. 0%
 - 女子
 - ①「人とのコミュニケーションがうまくとれない」…………… 49. 3%
 - ②「健康状態がすぐれない」…………… 40. 6%
 - ③「信頼できる人や気軽に相談できる相手がいない」…………… 24. 6%

⑫ 本人(生徒)は、卒業後または中退後の進路について、どのような悩みや不安を挙げていましたか。〔複数回答可〕



《その他の内容》

【家庭環境】

- ・母が再婚し弟2人と共に祖母に預けられ今後の生活に不安
- ・親との意見の不一致

【学習・学校生活に関する事】

- ・高卒資格の取り方
- ・他校への転学
- ・原級留置となり新しい人間関係を築けるかどうか不安
- ・学校が合わない

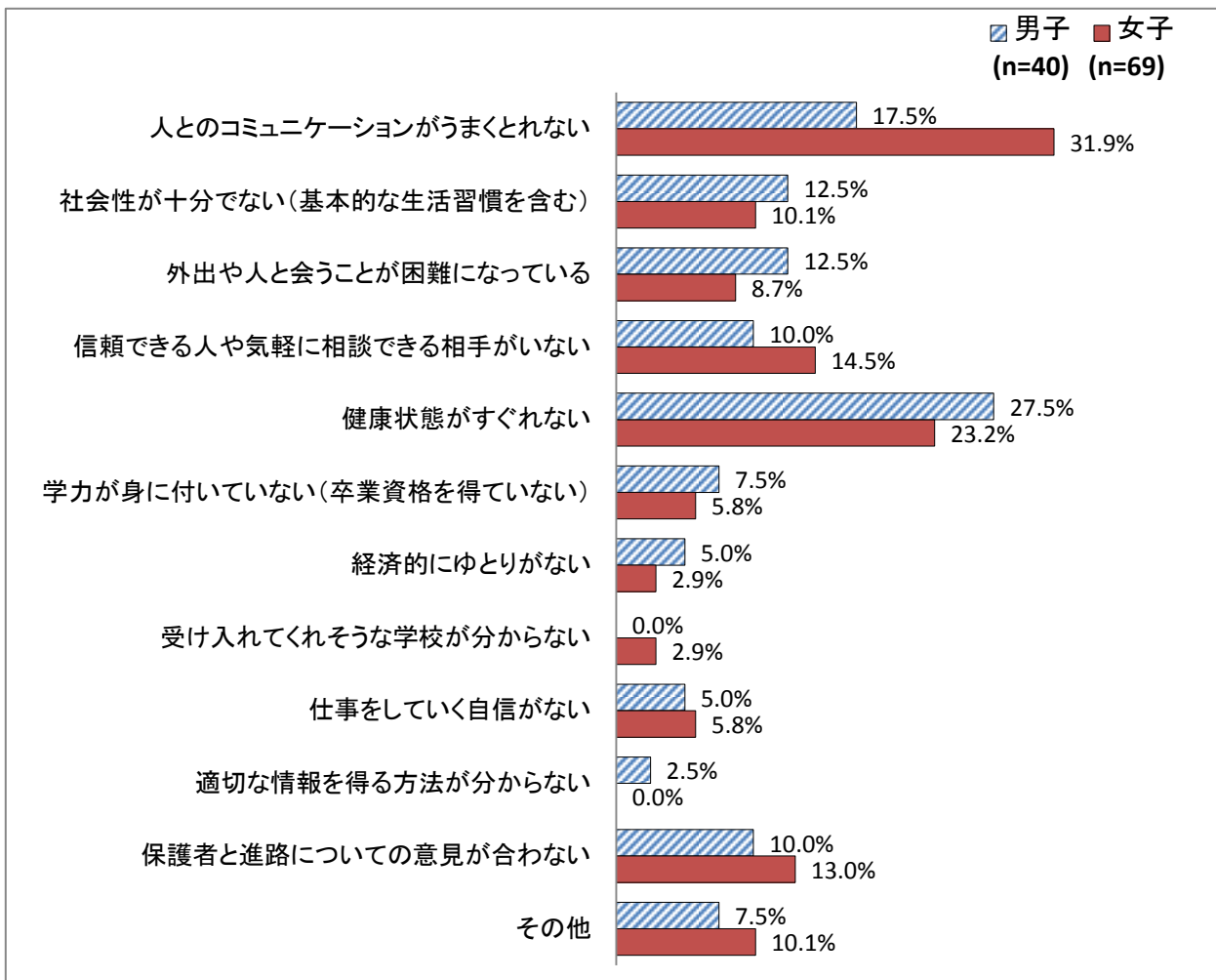
【本人に関する事】

- ・別の学校に進んだとしてもまた同じ事(無気力で学校に行かなくなる)が起きるのではないかと不安
- ・何をしてもいいか分からない

【その他】

- ・希望を持っていた

【男女別】

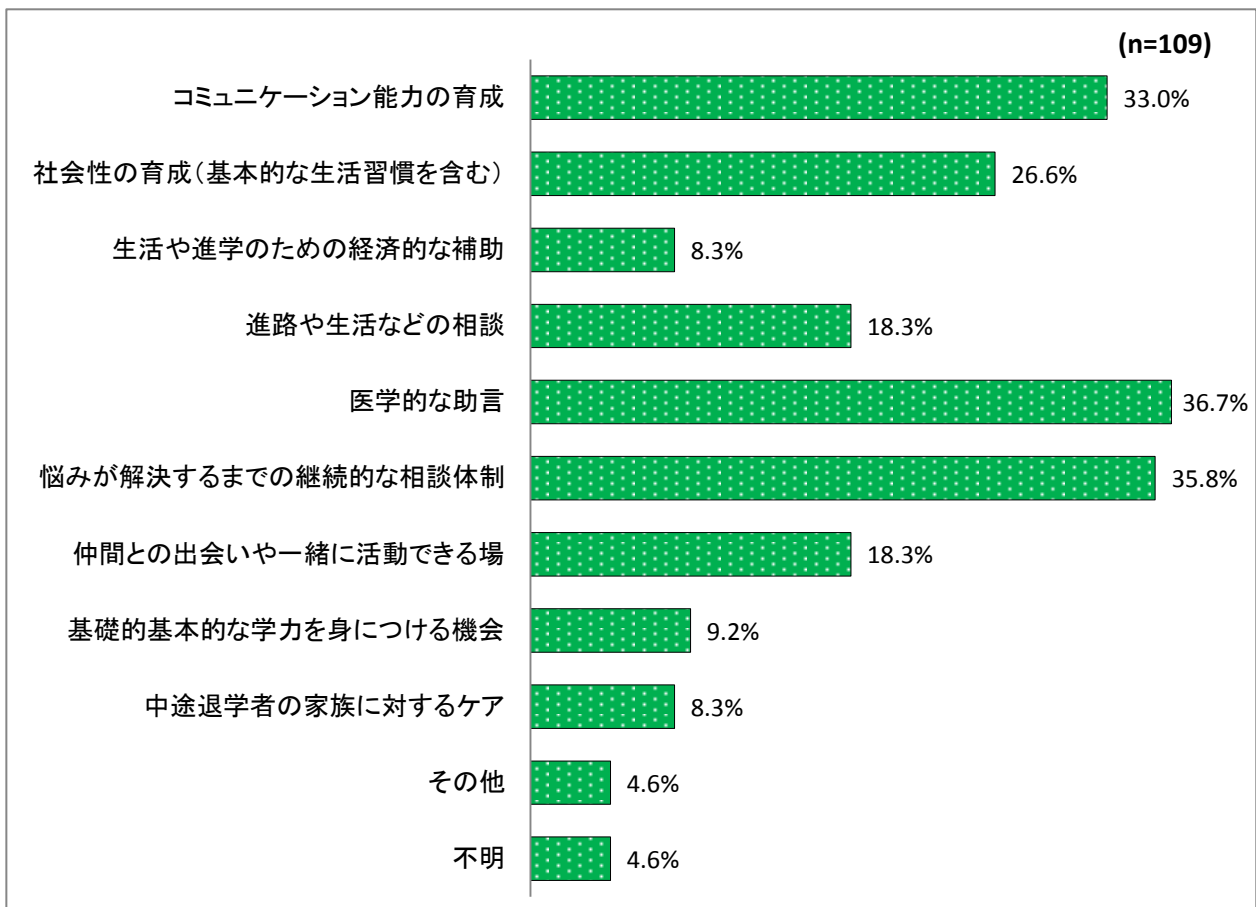


- 中退後または卒業後の進路についての悩みや不安
 - ①「人とのコミュニケーションがうまくとれない」…………… 26. 6%
 - ②「健康状態がすぐれない」…………… 24. 8%

- 男女別の悩みや不安
 - 男子
 - ①「健康状態がすぐれない」…………… 27. 5%
 - ②「人とのコミュニケーションがうまくとれない」…………… 17. 5%

 - 女子
 - ①「人とのコミュニケーションがうまくとれない」…………… 31. 9%
 - ②「健康状態がすぐれない」…………… 23. 2%

⑬ 本人(生徒)に対して、学校以外からどのような支援があればよいと(教員として)思いましたか。〔複数回答〕



《その他の内容》

【本人への教育支援】

- ・訪問してくれるスクールカウンセラーがいてくれるといい
- ・同じ悩み(モラトリアムとしての悩み)を抱えている人との出合い

※モラトリアム…大人になるための心理的な葛藤や乗り越えなくてはいけないことを先延ばしにしている状態のこと

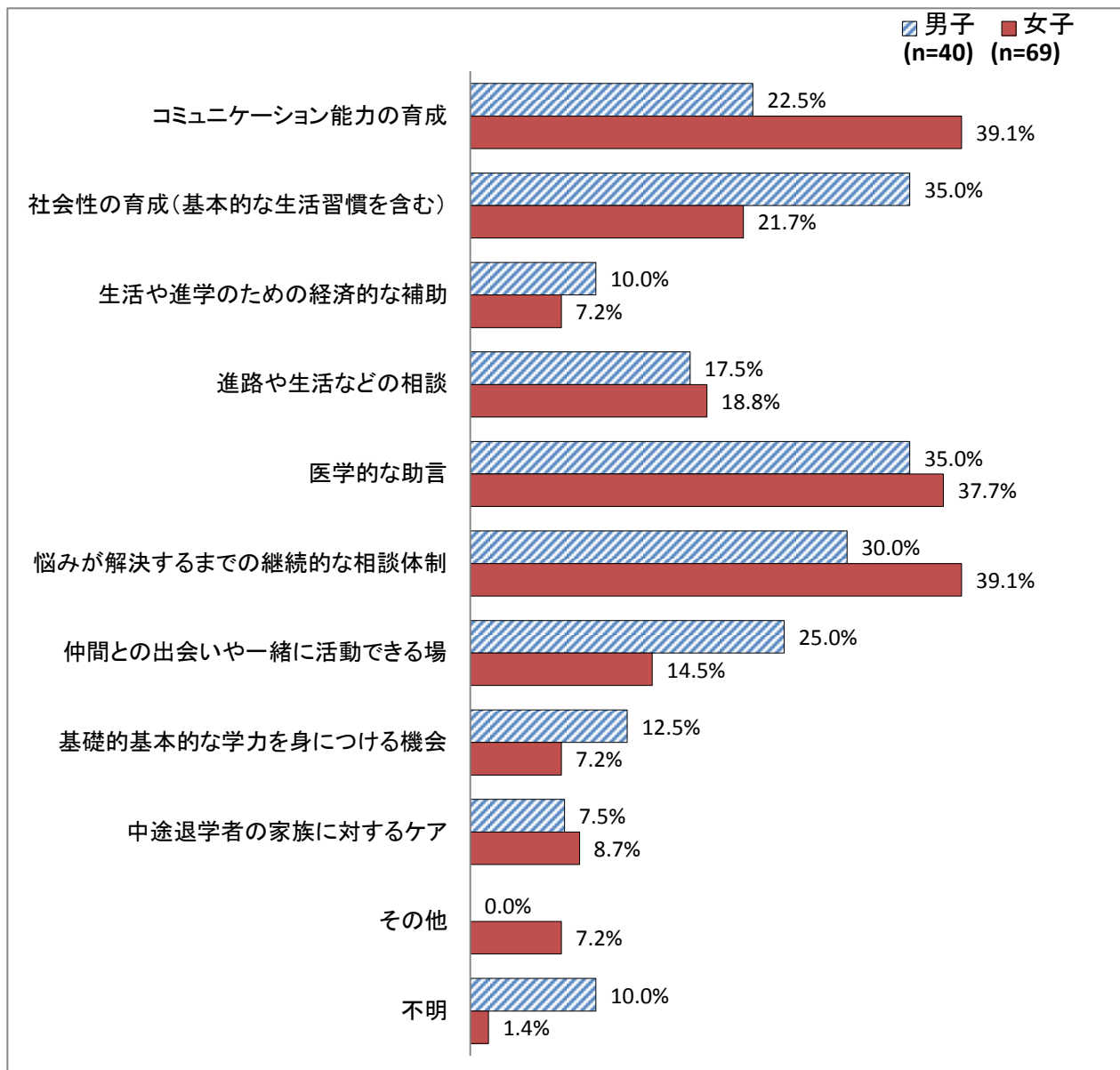
【保護者への教育・支援】

- ・家庭での教育
- ・家庭の基盤を整えること
- ・協力的でない家庭への指導体制
- ・心理的な問題を抱えている子どもに対する親の理解を得られるような機会や補助

【その他】

- ・通院していたので時間をかけて回復するのを待っていた

【男女別】



- 高校教員としてあればよいと思う学校以外からの支援
 - ① 「医学的な助言」 36. 7%
 - ② 「悩みが解決するまでの継続的な相談体制」 35. 8%
 - ③ 「コミュニケーション能力の育成」 33. 0%
 - ④ 「社会性の育成（基本的な生活習慣を含む）」 26. 6%

- 男女別のあればよいと思う学校以外からの支援
 - 男子
 - ① 「社会性の育成（基本的な生活習慣を含む）」 35. 0%
 - ① 「医学的な助言」 35. 0%
 - ② 「悩みが解決するまでの継続的な相談体制」 30. 0%

 - 女子
 - ① 「コミュニケーション能力の育成」 39. 1%
 - ① 「悩みが解決するまでの継続的な相談体制」 39. 1%
 - ② 「医学的な助言」 37. 7%

Ⅲ 資料

困難を有する若者等のニーズに関する調査 調査票

困難を有する若者等のニーズに関する調査

調査票

【この調査は、調査票1部につき対象となる生徒1人について記入します。】

1 調査の目的

高校生の中途退学（以下「中途退学」という）や不登校の生徒の状況を把握し、必要な支援の在り方を検討する上での基礎資料とする。

2 調査対象

県立学校（特別支援学校を除く）に在籍し、おおむね5年以内に中途退学や不登校の生徒（以下「本人」という）への指導経験がある教員。

※ただし、同一の生徒に対し複数の教員が指導した場合、複数名が回答せず、1名のみの回答とする。

※不登校は、年間30日以上欠席したものとする。

※中途退学や不登校の時期は、おおむね平成22年4月以降とする。

3 調査期間

平成27年4月27日～5月15日

4 調査結果の取り扱い

調査結果は、地域別・年齢別・支援の必要性などにより集計の上、取りまとめます。個々の調査対象の回答が公表されたり、取材等に応じる形で外に出ることはありません。

〈回答方法〉

- 質問は、19問あります。中途退学や不登校の生徒を担当等で受け持っていた時点での状況をご回答ください。
※お答えできる範囲で結構です。
- 回答は、調査票の当てはまる番号を○で囲んでください。また、設問によっては、具体的な内容を文章でご記入いただくところもあります。
- 回答後は、添付の返信用封筒に入れ、封をして平成27年5月15日（金）までにポストに投函してください。
- この調査で不明の点がございましたら、下記にお問い合わせください。

[問合せ先]

青森県教育庁生涯学習課地域連携推進グループ

「困難を有する若者等のニーズに関する調査」担当

TEL 017-734-9890 E-mail E-SHOGAI@pref.aomori.lg.jp

【 中途退学 ・ 不登校 】※該当するものに○を付けてください。(両方該当する場合は、両方に○を付けてください。)

問1 本人の性別を教えてください。

- A 男性
- B 女性

問2 本人の学年を教えてください。
〔※年度もお書きください〕

- A 高校1年生〔平成 年度〕
- B 高校2年生〔平成 年度〕
- C 高校3年生〔平成 年度〕
- D 不明

問3 本人が在籍していた学科を教えてください。

- A 普通科
- B 農業科等 (農業系)
- C 工業科等 (工業系)
- D 商業科等 (商業系)
- E 総合学科
- F その他

G 不明

問4 本人の課程を教えてください。

- A 全日制
- B 定時制 (午前部)
- C 定時制 (午後部)
- D 定時制 (夜間を主とする)
- E 通信制
- F その他

G 不明

問5 当時、本人は、どのような将来の見通しをもっていましたか。
(※当時とは、受け持っていた時点のこと)

- A 正社員として働くつもりだった
- B アルバイトとして働くつもりだった
- C 別の高校に入学するつもりだった
- D はっきりした見通しを持っていなかった
- E その他

F 不明

問6 当時、本人が困難を抱えるきっかけになったと考えられることを教えてください。(複数回答可)

- A 勉強が分からなかった
- B 校則や校風などが合わなかった
- C 第1志望の高校ではなかった
- D 人間関係がうまくいかなかった
- E 基本的な生活習慣が身に付いていなかった
- F 欠席等により進級できそうもなかった
- G 問題行動をおこした
- H 友人が中途退学や不登校等になった
- I 高校生活以外に興味があることができた
- J 早く経済的に自立したかった
- K 早く家を出たかった
- L 親や家族に起因する理由 (経済的な理由を除く)
- M 経済的な理由
- N 健康上の理由
- O 妊娠した
- P その他

Q 不明

問7 当時、本人から相談を受けましたか。

- A 受けた
- B 受けなかった
- C 不明

問8 当時、本人は、高等学校以外の誰かに相談していましたか。
(複数回答可)

- A 親
- B 兄弟姉妹
- C 小中学校教職員
- D 友人
- E 先輩
- F 中途退学や不登校等の経験のある人
- G 相談機関の職員
- H SNS等で交流のある人
- I その他

J 不明

問9 当時、本人の家族から相談を受けましたか。

- A 受けた →問10へ
- B 受けなかった →問11へ
- C 不明 →問11へ

問10 当時、本人の家族は、高等学校以外の誰かに相談していましたか。
(複数回答可)

- A 親
- B 兄弟姉妹
- C 小中学校教職員
- D 友人
- E 先輩
- F 中途退学や不登校等の経験のある人
- G 相談機関の職員
- H SNS等で交流のある人
- I その他

J 不明

問11 本人は、高等学校在学中に、どのような悩みや不安を挙げていましたか。
(複数回答可)

- A 人とのコミュニケーションがうまくとれない
- B 社会性が十分でない(基本的な生活習慣を含む)
- C 外出や人と会うことが困難になっている
- D 信頼できる人や気軽に相談できる相手がいらない
- E 健康状態がすぐれない
- F 学力が身に付いていない(卒業資格を得ていない)
- G 経済的にゆとりがない
- H その他

I 不明

問12 本人は、その後(中退後、卒業後)の進路について、どのような悩みや不安を挙げていましたか。(複数回答可)

- A 人とのコミュニケーションがうまくとれない
- B 社会性が十分でない(基本的な生活習慣を含む)
- C 外出や人と会うことが困難になっている
- D 信頼できる人や気軽に相談できる相手がいらない
- E 健康状態がすぐれない
- F 学力が身に付いていない(卒業資格を得ていない)
- G 経済的にゆとりがない
- H 受け入れてくれそうな学校が分からない
- I 仕事をしていく自信がない
- J 仕事が見つからない
- K 仕事を紹介してくれる人がいない
- L 適切な情報を得る方法が分からない
- M 保護者と進路についての意見が合わない
- N その他

O 不明

問13 本人に対して、学校以外からどのような支援があればよいと思いましたか。
(複数回答可)

- A コミュニケーション能力の育成
- B 社会性の育成(基本的な生活習慣を含む)
- C 生活や進学のための経済的な補助
- D 進路や生活などの相談
- E 医学的な助言
- F 悩みが解決するまでの継続的な相談体制
- G 仲間との出会いや一緒に活動できる場
- H 基礎的基本的な学力を身に付ける機会
- I 中途退学者の家族に対するケア
- J その他

K 不明

【以下の質問については、中途退学者についてお答えください。】

問14 本人の現在の状況を知っていますか。

- A 知っている →問15へ
- B 知らない →終了

問15 本人の現在の状況を教えてください。

- A しごとを探している →問19へ
- B 働いている →問16へ
- C 在学中 →問18へ
- D 家事・家事手伝いをしている
- E 妊娠中・育児をしている
- F その他

- G 特に何もしていない →問19へ

問16 問15でB「働いている」と回答した方について質問します。
本人の現在働いている内容を教えてください。

- A 正社員・正職員などの正規雇用
- B フリーター・パートなどの非正規雇用
- C 家の商売や家の事業など
- D その他

- E 不明 →問19へ

問17 問15でB「働いている」と回答した方について質問します。
現在、本人が同時に行っていることを教えてください。

- A 仕事を探している
- B 全日制・定時制の高校に在学している
- C 通信制の高校に在学している
- D 専門学校に在学している
- E 家事・家事手伝いをしている
- F 妊娠中・育児をしている
- G その他

- H 同時にしていることはない
- I 不明

→以上、問19へ

問18 問15でCの「在学中」と回答した方について質問します。
本人が在籍している校種等を教えてください。

- A 全日制・定時制の高校
- B 通信制の高校に在学中
- C 専門学校
- D その他

- E 不明

→以上、問19へ

問19 現在、本人が同居している家族の内訳を教えてください。(複数回答可)

- A 父親
- B 母親
- C 兄弟姉妹
- D 祖父
- E 祖母
- F 本人の結婚相手・同棲相手
- G 本人の子ども
- H その他

- I 不明

質問は以上です。
御協力ありがとうございました。

発行年月：平成27年12月

発行：青森県教育庁生涯学習課地域連携推進グループ

〒030-8540 青森市新町二丁目3番1号

TEL017-734-9890 FAX017-734-8272